

19103708

1990年度

水産業動向에 關한 年次報告書

水産庁	贈
水産庁	一九九〇年五月三十日
寄贈	

水 産 廳



이 年次報告書는 1989年度의 水産動向과 施策 및 1990
年의 水産施策에 관한 報告書로서 水産振興法 第16條의
規定에 의하여 1990年度 國會 定期會에 提出하기 위하여
作成하였음.

目 次

第1編 1989年度 水産業 動向	1
第1章 世界水産業 動向	3
第1節 水産物 生産	3
第2節 水産物 交易	4
第2章 우리나라 水産業 動向	7
第1節 水産業 構造	7
第2節 漁家經濟	26
第3節 水産物 生産	32
第4節 水産物 輸出入	43
第5節 水産物需給 및 價格	49
第6節 漁場環境變化	54
第2編 1989年度 水産施策	67
第1章 沿岸水産資源造成과 所得倍加	69
第1節 水産資源 造成	69
第2節 養殖漁場 開發	73
第3節 內水面漁業 開發	75
第4節 沿岸漁場 保全管理	78

第5節 漁業秩序確立 및 安全操業 指導	81
第6節 漁業外 所得源의 開發	85
第2章 沿近海漁業의 構造調整	88
第1節 漁業構造 調整	88
第2節 漁業制度의 整備·補完	89
第3章 遠洋漁場의 安定的 確保	93
第1節 水産外交 強化	93
第2節 新漁場 開發推進	98
第3節 遠洋漁業 育成指導	101
第4章 漁業基盤施設의 擴充	104
第1節 漁港開發 促進	104
第2節 漁撈施設의 現代化	106
第5章 水産物 需給 및 價格安定	108
第1節 水産物 流通 改善	108
第2節 水産物 價格安定	111
第3節 水産物 食糧化	115
第4節 水産物 檢査	119
第5節 水産物 輸出入 對策	120
第6章 研究機能強化와 技術開發普及	125
第1節 水産振興院의 活性化	125

第2節 所得과 直結되는 技術開發	128
第3節 基礎調査事業	134
第4節 水産技術 指導普及	137
第5節 漁業技術向上과 訓練	141
第7章 漁民支援 強化	144
第1節 水産資金 供給擴大	144
第2節 漁村開發 및 漁民後繼者 育成	149
第3節 水産團體 育成	152
第4節 災害補償 및 被害復舊	156
第5節 水産關聯 稅制支援	158
第3編 1990年度 水産施策	163
第1章 水産施策의 基本方向	165
第1節 指標과 重點施策	165
第2節 投融資 規模	167
第2章 水産資源의 造成과 保護	170
第1節 水産資源 造成	170
第2節 養殖漁業 開發	173
第3節 內水面漁業 開發	175
第4節 沿岸漁場 保全管理	177
第5節 漁業秩序 確立	179

第3章 沿海漁業의 構造調整	182
第1節 基本方向	182
第2節 推進計劃	183
第4章 遠洋漁場의 持續的 開發	184
第1節 漁業協力の 強化	184
第2節 既存漁場의 確保	185
第3節 新漁場 開發	190
第5章 漁業基盤施設의 擴充	191
第1節 漁港建設 促進	191
第2節 漁撈施設 現代化	193
第6章 水產物 價格安定과 食糧化	197
第1節 流通構造改善	197
第2節 價格安定對策	199
第3節 食糧化 推進	202
第4節 水產物 檢查	203
第5節 輸出入 對策	205
第7章 水產研究強化와 技術開發普及	207
第1節 水產研究의 技術開發	207
第2節 漁場環境 및 資源調查	212
第3節 研究機能強化	214
第4節 產學協同	217

第5節 技術指導普及	218
第6節 水産技術 訓練	222
第8章 漁村開発と 漁民支援 強化	224
第1節 漁村綜合開発	224
第2節 漁民福祉會館 建立	225
第3節 漁民後繼者 育成	225
第4節 漁業外 所得源 擴充	226
第5節 水産資金 供給擴大	228
第6節 漁民金融負擔 輕減	231
第7節 漁船 及び 船員 共濟制度 支援	234
第8節 養殖共濟制度 導入	236
統計呈 示 水産業 動向	237

表 目 次

〈表 1〉	世界 水産物 生産推移	4
〈表 2〉	世界 水産物 輸出推移	5
〈表 3〉	世界 水産物 輸入推移	6
〈表 4〉	漁家人口와 戶數	7
〈表 5〉	漁業從事者의 年齡, 性別 構成	8
〈表 6〉	漁業 形態別 漁業家口	9
〈表 7〉	專業 · 兼業別 漁業家口	9
〈表 8〉	漁業 産出額 現況	10
〈表 9〉	漁業總生産(附加價值)現況	11
〈表 10〉	漁船勢力 推移	12
〈表 11〉	漁業別 漁船勢力	13
〈表 12〉	船質別 漁船勢力	14
〈表 13〉	噸級別 漁船勢力	14
〈表 14〉	淺海 養殖漁場 開發面積	17
〈表 15〉	所有者別 養殖漁場面積	18
〈表 16〉	우리나라 內水面 構成	18
〈表 17〉	內水面 養魚場 現況	19
〈表 18〉	沿岸漁業 經營体 推移	20
〈表 19〉	近海漁業 經營体 推移	22
〈表 20〉	養殖漁業 經營体 構成	23

〈表 21〉	內水面漁業 經營体 推移	24
〈表 22〉	遠洋漁船 推移	25
〈表 23〉	漁家所得 推移	26
〈表 24〉	漁業外所得 構成	27
〈表 25〉	漁業 形態別 所得構成	27
〈表 26〉	可処分所得 與 家計費	28
〈表 27〉	家計費 支出内譯	29
〈表 28〉	漁家 資産 推移	29
〈表 29〉	漁家 負債 推移	30
〈表 30〉	漁家 文化用品 保有現況	31
〈表 31〉	漁業別 生産推移	33
〈表 32〉	沿近海漁業 業種別 生産推移	37
〈表 33〉	養殖漁業 品種別 生産推移	39
〈表 34〉	內水面漁業 品種別 生産推移	40
〈表 35〉	遠洋漁業 業種別 生産推移	43
〈表 36〉	水産物 輸出推移	44
〈表 37〉	品目別 輸出實績	44
〈表 38〉	主要魚種別 輸出實績	45
〈表 39〉	國家別 輸出實績	47
〈表 40〉	輸入 自由化 現況	48
〈表 41〉	水産物 輸入 實績	49
〈表 42〉	水産物 需給 動向	50
〈表 43〉	動物性 蛋白質 供給 推移	51
〈表 44〉	水産物 利用 動向	52
〈表 45〉	水産物 都売物價 騰落率	53

〈表 46〉	水産物 消費者物價 騰落率	54
〈表 47〉	大洋別 다랭이 資源評價	63
〈表 48〉	베링海 명태의 海域別 漁獲量	64
〈表 49〉	市·道別 人工魚礁施設 實績	69
〈表 50〉	水産種苗培養場 現況	70
〈表 51〉	民間種苗 買入 放流實績	71
〈表 52〉	대구 人工受精卵 放流實績	72
〈表 53〉	연어 放流 및 採捕實績	72
〈表 54〉	內水面 稚魚放養 實績	73
〈表 55〉	養殖漁場 生産基盤 施設 支援實績	75
〈表 56〉	內水面漁業 支援實績	76
〈表 57〉	淸淨海域 指定現況	79
〈表 58〉	漁業指導船 現況	82
〈表 59〉	不法漁業 團束實績	82
〈表 60〉	農工地區 指定 現況	85
〈表 61〉	附屬約定 更新 現況	93
〈表 62〉	直接쿼타 및 共同漁業 實績	95
〈表 63〉	年度別 뉴질랜드 쿼타 消費實績	96
〈表 64〉	對外 技術協力 現況	97
〈表 65〉	全國 漁港指定 現況	104
〈表 66〉	漁港開發 現況	105
〈表 67〉	漁撈施設 事業實績	107
〈表 68〉	水協共販場 現況	110
〈表 69〉	規格出荷事業 實績	111
〈表 70〉	政府備蓄事業 實績	112

〈表 71〉	民間 價格安定事業 實績	113
〈表 72〉	水產加工品 生産推移	116
〈表 73〉	施設資金 支援内譯	117
〈表 74〉	運営資金 支援内譯	117
〈表 75〉	水産物 消費動向(純食品)	118
〈表 76〉	水産物 検査推移	119
〈表 77〉	農水産物 輸入自由化 豫示 現況	122
〈表 78〉	輸出用 水産物 収買 促進資金 支援 現況	123
〈表 79〉	漁民後繼者 地域社會 活動 現況	139
〈表 80〉	漁村指導所 設置 吳 指導人力 確保 推移	140
〈表 81〉	國立水産技術訓練所 教育訓練 實績	142
〈表 82〉	韓國漁業技術訓練所 教育訓練 實績	143
〈表 83〉	營漁資金 供給 實績	144
〈表 84〉	水産振興資金 運用 實績	145
〈表 85〉	水産振興 財政資金 運用 實績	145
〈表 86〉	農漁村地域 開発基金 支援 内譯	146
〈表 87〉	水協 自体資金 造成 吳 運用實績	148
〈表 88〉	漁村 綜合開発事業 推進 實績	149
〈表 89〉	漁民後繼者 育成 實績	152
〈表 90〉	水協中央會 事業規模	153
〈表 91〉	水協中央會 収支狀況	153
〈表 92〉	會員組合 収支狀況	154
〈表 93〉	出資金 造成狀況	154
〈表 94〉	水産物 輸出團體 現況	155
〈表 95〉	被害狀況 吳 復舊費 支援内譯	156

〈表 96〉	船員共濟料 國庫補助金 支援 實績	157
〈表 97〉	零稅率適用 機資材 品目	159
〈表 98〉	水產業 分野 所得標準率 調整內譯	159
〈表 99〉	免稅油類 供給實績	160
〈表 100〉	'90 水產豫算	167
〈表 101〉	'90 事業別 豫算 內譯	168
〈表 102〉	'90 水產資金 支援計劃	169
〈表 103〉	人工魚礁 施設計劃	170
〈表 104〉	培養場別 種苗 生産計劃	172
〈表 105〉	水產増養殖 事業 支援計劃	174
〈表 106〉	內水面 稚魚 放養計劃	176
〈表 107〉	漁港 開發計劃	191
〈表 108〉	漁撈施設 事業計劃	191
〈表 109〉	規格出荷 事業計劃	198
〈表 110〉	農安基金(水産部門)運用計劃	199
〈表 111〉	政府備蓄 事業計劃	200
〈表 112〉	産學協同 補助 研究 課題	218
〈表 113〉	漁村綜合開發 事業計劃	224
〈表 114〉	漁民 福祉會館 建立計劃	225
〈表 115〉	漁民後繼者 育成 支援計劃	226
〈表 116〉	共同作業場 施設計劃	227
〈表 117〉	漁村觀光 開發事業計劃	227
〈表 118〉	營漁資金 供給計劃	229
〈表 119〉	水産振興財政資金 運用計劃	229
〈表 120〉	農漁村發展基金 運用規模	230

〈表 121〉	負債輕減 對象 資金 吳 '90 利子減免 内譯	232
〈表 122〉	各種 特別對策別 金利引下 吳 '90 利差補填額	234
〈表 123〉	漁船 吳 船員共濟 加入計劃	235

第 1 編

1989年度 水産業動向

여백

第 1 章 世界水産業의 動向

第 1 節 水産物 生産

'88年の 世界 水産物生産量은 '87年の 93,415千톤보다 4,570千톤이 增加한 97,985千톤으로서 전체적으로 0.5% 증가하였다.

國別로 보면 日本이 前年보다 0.5%가 增加한 11,897千톤을 漁獲하여 '77年 이래 여전히 世界 第1位를 차지하고 있고 蘇聯이 11,332千톤의 漁獲實績을 올려 第2位를 차지하고 있다.

그 다음 順位로 中國, 페루, 美國, 칠레 등이 차지하고 있으며 이들 順位 國家 漁獲實績은 美國을 除外하고 모두 增加되었다. 특히 페루는 前年보다 2,053千톤(45%)이 增加한 6,637千톤을 生産하여 世界 第6位에서 第4位로 浮上하였다.

魚種別 生産量을 살펴보면 베링海의 明太가 6,658千톤으로 全体 生産量의 首位를 차지하고 있으며 日本近海의 정어리가 5,429千톤, 南美近海의 정어리가 4,998千톤 漁獲되어 各各 第2·3位로서 前年度에 비해 順位에 變化가 없으며 南美 페루近海의 멸치 生産量이 2,101千톤에서 3,613千톤으로 대폭 增加된 것이 特徵的이다.

우리나라의 生産量은 前年度 生産量 2,876千톤보다 149千톤이 줄어든

2,727千톤으로서 세계에서 第8位를 차지하고 있으며, 世界全体 生産量에서 차지하는 比重은 前年の 3.1%에서 2.8%로 減少하였다.

〈表 1〉 世界水産物生産推移

單位：千톤

	'86	'87	'88	'88/'87(%)
計	92,612	93,415	97,985	100.5
日 本	11,976	11,849	11,897	100.4
蘇 聯	11,260	11,160	11,332	101.5
中 國	8,000	9,346	10,359	110.8
페 루	5,614	4,584	6,637	144.8
美 國	5,167	5,986	5,966	99.7
칠 레	5,712	4,815	5,210	108.2
印 度	2,923	2,908	3,146	108.2
韓 國	3,103	2,876	2,727	94.8
印 尼	2,457	2,585	2,703	104.6
泰 國	2,536	2,201	2,350	106.8
其 他	33,864	35,105	35,658	101.6

資料：FAO, Yearbook of fishery statistics, 1988.

註：고래, 불개 기타 수산포유동물 및 수산식물 제외

第 2 節 水産物 交易

'88年の 世界 水産物 輸出額은 前年보다 14.6%가 증가한 32,187百萬\$ 이었다. 이를 나라별로 보면 미국이 前年에 비하여 33.0% 증가한 2,441百萬\$을 達成하여 世界 第1位를 차지하였고 캐나다가 2,207百萬\$로 S72-5L-2-1.

서 第2位, 덴마크가 1,854百萬\$로서 第3位이며, 우리나라의 水産物 輸出 額은 前年 1,506百萬\$보다 18.5%가 증가한 1,784百萬\$로서 '87년에 이어 第4位를 維持하였다.

한편, 世界의 水産物 輸入 額은 35,247百萬\$로서 前年에 비하여 15.5%의 伸張을 보였다.

이를 나라별로 살펴보면 日本이 前年對比 28.3% 증가한 10,658百萬\$를 記錄하여 第1位를 유지하였으며, 美國이 5,389百萬\$로 第2位, 프랑스가 2,234百萬\$로 第3位, 이탈리아가 1,894百萬\$로 前年에 비하여 9.0%의 伸張을 보임으로써 계속 4位를 유지하고 있다.

<表 2> 世界水産物輸出推移

單位：百萬\$

	'85	'87	'88	'88/'87(%)
計	17,327	28,076	32,187	114.6
美 國	1,162	1,836	2,441	133.0
캐 나 다	1,359	2,092	2,207	105.5
덴 마 크	953	1,751	1,854	105.9
韓 國	797	1,506	1,784	118.5
泰 國	675	1,261	1,631	129.3
노르웨이	922	1,475	1,608	109.0
中 國	367	912	1,362	149.3
아이슬랜드	617	1,071	1,059	98.9
日 本	820	890	1,037	116.5
네델란드	544	953	948	99.5
其 他	9,111	14,329	16,256	113.4

資料：FAO, Yearbook of fishery statistics, 1985, 1987,

FAO of the United Nations-Yearbook of fishery statistics, 1988

註：고래, 물개, 기타 수산포유동물 및 수산식물, 어망 제외.

그 다음으로 스페인, 英國, 서독, 홍콩, 덴마크, 캐나다, 벨기에 등의

順으로 輸入側面에서는 先進國이 上位圈을 차지하고 있다. 특히 스웨인이 29.8%, 영국이 13.7%, 서독이 11.1%로 크게 증가하는 등 西方 肉類 消費國의 水産物 輸入이 크게 늘어났으며 上位 10個 나라가 전체의 77.6%를 輸入하였다.

우리나라의 水産物 輸入額은 前年の 212百萬\$에서 '88년에는 315百萬\$로 크게 증가하여 世界 19位를 유지하였다.

<表 3> 世界 水産物 輸入 推移

單位：百萬\$

	'85	'87	'88	'88/'87(%)
計	18,559	30,509	35,247	115.5
日 本	4,744	8,308	10,658	128.3
美 國	4,052	5,662	5,389	95.2
프 랑 스	1,040	2,022	2,234	110.5
이탈리아	985	1,738	1,894	109.0
스 웨 인	412	1,322	1,716	129.8
英 國	941	1,387	1,577	113.7
西 獨	820	1,270	1,411	111.1
홍 콩	472	794	1,030	129.7
덴 마 크	370	842	852	101.2
캐 나 다	356	512	593	115.8
벨 기 에	304	530	583	110.0
其 他	4,063	6,122	7,310	119.4

資料：FAO, Yearbook of fishery statistics, 1985, 1987,

FAO of the United Nations-Yearbook of fishery statistics, 1988.

第 2 章 우리나라 水産業 動向

第 1 節 水産業 構造

1. 漁家人口

'89年 總漁家 人口는 前年보다 6.8%(41千名)가 減少한 561千名으로 나타났으며 漁業家口는 134千戶로 前年보다 2.8%(4千戶) 減少하였다. 이는 干拓, 臨海工團 造成, 海洋汚染 등으로 인한 漁場 상실과 漁況 부진, 生活環境 落後 등으로 他産業으로의 轉業에 기인하며 특히 젊은 世代들이 學業, 就業, 結婚 등을 위해 都市로 進出하는 데에도 그 原因이 있는 것으로 分析된다.

〈表 4〉

漁家人口와 戶數

單位：千名, 千戶, %

	'79	'84	'88(A)	'89(B)	增減率(B/A)
漁 家 人 口	791	716	602	561	△ 6.8
· 總 人 口 對 比	2.1	1.8	1.4	1.3	
漁 家 戶 數	147	147	138	134	△ 2.8
· 家口當 人口(名)	5.4	4.9	4.4	4.2	

資料：農林水産部 漁業基本統計調查結果

한편 漁業従事者는 239千名으로 前年보다 4.1% 減少하였으며 年齡別 構成을 보면 20~49세의 靑·壯年層의 減少 現象이 顯著하여 前年보다 7.1%가 줄어들어 반면 50세 이상은 오히려 2.2%가 增加하였다. 女性 従事者의 比率도 '84年의 39.2%에서 '89년에는 42.3%로 높아져 漁村人力構造가 繼續 老齡化, 婦女化되어 가고 있음을 나타내 주고 있다.

〈表 5〉 漁業従事者의 年齡, 性別 構成

單位：千名, %

		'79	'84	'88(A)	'89(B)	增減率(B/A)
年 齡 別	14 ~ 19세	24.2	5.2	2.8	1.9	△ 32.1
	20 ~ 49세	194.3	181.2	154.6	143.6	△ 7.1
	50세 以上	80.9	77.2	91.2	93.0	2.2
	(構 成 比)	(27.0)	(29.3)	(36.7)	(39.0)	
従 事 者		299.4	263.6	248.6	238.5	△ 4.1
性 別	男 子	185.6	160.2	144.7	137.5	△ 5.0
	女 子	113.8	103.4	103.9	101.0	△ 2.8
	(構 成 比)	(38.0)	(39.2)	(41.8)	(42.3)	

資料：農林水産部 漁業基本統計調査結果

또 漁業形態別로는 총 134千家口 가운데 經營者 家口는 전체의 88.4%에 해당하는 119千戶, 被雇傭者家口는 15千家口로 나타났다. 經營者家口중 전체의 44.6%에 해당하는 53千家口가 養殖漁業을 경영하고 있으며 30.3%인 36千家口가 漁船漁業, 25.1%가 漁船非使用家口로 나타났다.

〈表 6〉 漁業形態別 漁業家口 單位：千戶，%

	'84	'88 (A)	'89 (B)	增減率(B/A)
總 漁 家	146.9 (100)	138.1 (100)	134.1 (100)	△ 2.9
經營者 家口	128.1 (87.2)	122.0 (88.3)	118.6(88.4)	△ 2.8
· 動力船 使用	23.6 (16.1)	31.9 (23.1)	33.7(25.1)	5.6
· 無動力船使用	11.4 (7.8)	2.8 (2.0)	2.2(1.7)	△ 21.4
· 漁船 非使用	34.9 (23.7)	30.4 (22.0)	29.8(22.2)	△ 2.0
· 養 殖 業	58.2 (39.6)	56.9 (41.2)	52.9(39.4)	△ 7.0
被雇傭者家口	18.8 (12.8)	16.1 (11.7)	15.5(11.6)	△ 3.7

資料：農林水産部 漁業基本統計調查結果

註：() 構成比임.

專·兼業別 家口現況을 살펴보면 全体漁家중 純粹專業家口는 19.5%에 不過한 26千家口로 나타난 반면 80.5%에 該當하는 108千家口가 農業이나 商工業, 一般勞動 等を 兼業하고 있는 것으로 나타났으며 兼業漁家の 主業種은 農業이 80.4%, 勞動이 9.5%, 商工業 5.3%, 事務員 4.8% 등으로 나타났다.

〈表 7〉 專業、兼業別 漁業家口 單位：千戶，%

	計 ('89)	經營者 家口			被雇傭者 家口		
		'88	'89	增減率	'88	'89	增減率
計	134.1	122.0	118.6	△ 2.9	16.1	15.5	△ 3.7
專 業	26.2	22.3	21.7	△ 3.1	4.4	4.5	2.3
兼 業	107.9	99.7	96.9	△ 2.8	11.7	11.0	△ 5.7
· 1 種	72.3	66.7	63.1	△ 5.4	9.7	9.2	△ 5.2
· 2 種	35.6	33.0	33.8	2.4	2.0	1.8	△10.0

資料：農林水産部 漁業基本統計 調查結果

2. 漁業總生産

'89年度 漁業産出額(粗生産額)은 2兆 6,823億원으로 前年에 비해 18.5%가 増加하였다. 이 중 遠洋漁業部門이 전년보다 30.6%가 증가하여 가장 큰 폭으로 늘어났으며 沿近海漁業은 18.2%, 養殖·內水面漁業은 각각 2.2%, 4.9%가 증가하였다.

〈表 8〉 漁業 産出額 現況

單位：千噸, 億원

	'88		'89		産出額 増加率(%)
	生産量	産出額	生産量	産出額	
計	3,209	22,644	3,319	26,823	18.5
沿 近 海	1,512	11,563	1,510	13,666	18.2
養 殖	887	3,914	848	3,999	2.2
內 水 面	36	781	31	819	4.9
遠 洋	774	6,386	930	8,339	30.6

資料：農村水産部 水産統計擔當官室

漁業産出額에서 中間投入額(油類, 漁網, 얼음代 等)을 공제한 '89年度 漁業 총생산액(附加價値)은 經常價格 基準으로 前年보다 20.9%가 増加한 1兆 8,876億원으로 暫定推計 되었으며 國民 總生産 (GNP)에서 차지하는 비중은 1.3%로 나타났다.

部門別로 보면 沿近海漁業이 前年보다 25.5%로 가장 크게 増加하였으며 養殖漁業은 7.9%, 遠洋漁業은 22.1%가 増加하였다.

이와같이 '88年보다 漁業 總 生産額이 크게 増加한 原因은 沿近海 水

産物 價格의 상승과 遠洋漁業이 好調를 보였기 때문에 分析된다.

〈表 9〉 漁業 總生産 (附加價値) 現況

單位 : 億원, %

	'88(A)		'89(B)		增減率(B/A)	
	經常	'85不變	經常	'85不變	經常	'85不變
國民總生産 (GNP)	1,262,305	1,119,799	1,410,663	1,195,348	11.8	6.7
農林漁業	134,939	109,026	145,458	108,253	7.8	△ 0.7
漁業	15,608	10,859	18,876	11,588	20.9	6.7
· 沿近海	8,949	6,033	11,229	6,030	25.5	△ 0.7
· 養殖	3,404	2,382	3,673	2,606	7.9	9.4
· 遠洋	3,255	2,454	3,974	2,952	22.1	20.3
GNP 構成比 (漁業)	1.2	1.0	1.3	1.0		

資料 : 韓國銀行

註 : 沿近海(內水面 漁獲 包含), 養殖(內水面 養殖 包含).

3. 漁船勢力

'89年末 漁船勢力은 98,455隻에 963,231톤으로 '88年末에 比하여 隻數는 0.6% 減少한 反面, 噸數는 1.6% 增加하였다. 이 中 動力船의 隻數는 79.5%, 噸數는 97.7%를 占有하고 있으며 漁船이 점차 大型化, 動力化되어 가고 있음을 보여주고 있다.

〈表 10〉

漁船勢力 推移

單位：隻, G/T, HP

		'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	隻 數	74,556	90,463	99,024	98,455	99.4
	噸 數	752,761	852,189	948,190	963,231	101.6
	平均噸數	10.0	9.4	9.6	9.8	102.1
動力船	隻 數	47,073	71,650	78,424	78,294	99.8
	噸 數	720,894	830,005	925,501	941,037	101.7
	馬力數	2,333,874	3,212,812	4,701,283	5,036,608	107.1
無動力船	隻 數	27,483	18,813	20,600	20,161	97.9
	噸 數	31,867	22,184	22,689	22,194	97.8
動力化率 (%)	隻 數	63.1	79.2	79.2	79.5	
	噸 數	95.8	97.4	97.6	97.7	

資料：農林水産部 農林水産統計年報

漁業別 隻數 構成比는 沿近海漁船이 57.9%, 養殖漁船이 38.0%, 內水面漁船이 3.0%, 遠洋漁船이 0.8%, 其他漁船이 0.3% 順으로 나타나고 있고 噸數로는 沿近海漁船이 46.4%, 遠洋漁船이 45.1%, 養殖漁船이 4.7%, 內水面漁船이 0.3%, 其他漁船이 3.5%를 차지하고 있다.

<表 11>

漁業別 漁船勢力

單位：隻, G/T

		'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	隻數	74,556	90,463	99,024	98,455	99.4
	噸數	752,671	852,189	948,190	963,231	101.6
沿 近 海	隻數	42,793	49,741	57,637	56,966	98.8
	噸數	375,355	433,035	458,528	447,365	97.6
養 殖	隻數	27,767	36,625	37,328	37,418	102.2
	噸數	31,658	44,825	45,248	45,587	100.8
內 水 面	隻數	2,720	2,993	2,951	2,955	100.1
	噸數	2,691	2,581	2,400	2,507	104.5
遠 洋	隻數	646	648	761	799	105.0
	噸數	310,509	334,024	406,979	434,429	106.7
其 他	隻數	630	456	347	317	91.4
	噸數	32,458	37,724	35,035	33,343	95.2

資料：農林水産部 農林水産統計年報

船實別로는 木船이 전체 漁船隻數의 90.5%를 차지하고 있으나 전체 漁船噸數의 25.2%에 지나지 않으며 大部分 5噸未滿의 小型漁船으로서 점차 減少趨勢에 있고 鋼船 역시 減少趨勢에 있는 반면 經濟性漁船인 合成樹脂船은 점차 늘어나고 있는 趨勢이다. 또한 噸級別로 보면 5噸未滿의 漁船은 전체 漁船隻數의 87.6%, 噸數의 13.3% 차지하고 5 ~ 50噸未滿 漁船은 隻數와 噸數가 9.0%, 14.3%를 차지하고 있으며 50噸以上の 大型漁船은 隻數 및 噸數가 전체 漁船의 3.4%, 72.4%를 차지하고 있다.

〈表 12〉 船質別 漁船勢力

單位：隻、G/T

		'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	隻數	74,556	90,463	99,024	98,455	99.4
	噸數	752,761	852,189	948,190	963,231	101.6
木 船	隻數	71,489	85,717	91,140	89,106	97.8
	噸數	249,971	253,054	252,552	242,351	96.0
鋼 船	隻數	2,907	3,660	4,022	4,006	99.6
	噸數	502,404	594,746	683,540	705,546	103.2
合成樹脂 (FRP)船	隻數	160	1,086	3,862	5,343	138.3
	噸數	386	4,389	12,098	15,334	126.7

資料：農林水産部 農林水産統計年報

〈表 13〉 噸級別 漁船勢力

單位：隻、G/T

	'79		'84		'89		'89/'88(%)	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
計	74,556	752,761	99,024	948,190	98,455	963,231	99.4	101.6
1噸 未満	21,815	16,355	33,252	23,659	33,440	23,590	100.6	99.7
1~5噸 未満	41,142	74,243	53,354	104,534	52,816	104,124	99.0	99.6
5~50噸 未満	8,815	146,137	9,019	142,628	8,855	137,906	98.2	96.7
50~100噸 未満	1,806	144,346	2,046	166,779	1,953	159,081	95.5	95.4
100~200噸 未満	417	58,173	613	82,885	618	84,177	100.8	101.6
200噸 以上	561	313,507	740	427,705	773	454,353	104.5	106.2

資料：農林水産部 農林水産統計年報

4. 利用漁場

가. 沿近海

우리나라 沿近海漁場의 範圍는 水産業法施行令(第28條第2項)에서 東海와 西海 및 北緯 25度線 以北과 東經140度線 以西의 太平洋海域으로 規定하고 있고 同 水域을 除外한 水域을 海外漁場으로 區分하여 遠洋漁船이 操業하는 漁場으로 區分하고 있다.

우리나라 沿近海漁業은 '60年代 濟州道 近海水域에서 소코트라漁場으로 '70年代에는 黃海·東中國海·東海의 大和堆漁場으로 操業漁場이 擴大되어 왔다.

그러나 이들 漁場은 우리나라는 물론 日本, 中國, 臺灣 등이 共同으로 利用하는 漁場으로서 沿近海水域은 그 一部가 韓·日, 日·中國 漁業協定 등에 의해 協定水域으로 管理되고 있으며 日本은 200海里 經濟水域을 宣布하고 있으나 우리나라와 中國에 대하여는 그 施行을 留保하고 있고, 北韓은 軍事 警戒水域 및 經濟水域을 宣布 施行하고 있다. 東, 西海의 漁撈限界線, 中國沿岸의 操業自制線 등으로 近海漁場의 利用制約은 날로 增大되어 왔고 隣接國家와의 操業競爭도 날로 深化되어 가고 있다. 따라서 漁場 및 漁業資源의 管理를 위해 周邊國家와의 共同管理體制의 確立이 切實히 要求되고 있다.

沿岸水域은 重要魚貝類의 産卵과 稚·仔魚의 成育場일 뿐만 아니라 共同漁場 및 養殖漁場이 집중적으로 開發되고 있어 多數漁民의 生業의 基幹으로서 매우 중요한 漁場이다. 그러므로 生産性이 높고 開發潛在力이 큰 沿岸漁場을 合理的으로 開發, 保全하고 高度利用을 圖謀하는 것은 水産業發展에 있어서 매우 중요한 課題이다.

그러나 沿岸漁場 역시 埋立·干拓, 汚染 등에 의한 漁場環境 變化는 물론 漁場縮小 등 漁場利用에 制約이 날로 擴大되고 있어 廣範圍한 水域에 生態系 變化를 招來하는 綜合開發事業, 汚染防止를 위한 海洋監視 體制 確立, 老朽漁場의 淨化 등 沿岸漁場의 保全 및 合理的인 管理도 매우 時急히 要請되고 있다.

나. 遠 洋

우리나라의 遠洋漁業은 1957년에 最初로 印度洋 참치漁業에 進出하면 서부터 시작되어 1970年代 中盤까지 急進의으로 伸張되었다. 그러나 1970年代 中盤에 들어서는 2次에 걸친 石油波動과 1977년부터 美·蘇를 비롯한 世界 沿岸國들이 自國의 領域擴大와 海洋資源 保護라는 名分으로 200海里 經濟水域을 宣布함으로써 遠洋漁場은 급격히 縮小 또는 規制되어 生産活動에 莫大한 制約을 받게 되었다.

그러하지만 美國水域에서는 韓·美 漁業協定을 통해 쿼타操業 및 共同事業 形態로 操業을 繼續하게 되었고 참치漁業은 南太平洋과 印度洋 海域에서 活氣를 되찾아 生産活動이 순조롭게 向上되었다.

또한 北太平洋 公海上에서의 오징어流刺網 漁業도 開發되어 安定的 成長을 이루었고 新漁場 開發 事業으로 1985년부터 進出한 南西大西洋 오징어채낚기漁業도 好調를 보여 '89年度 遠洋漁業 生産量은 930千톤에 달하였다.

한편 '89年末 遠洋漁船 隻數는 770隻으로 5大洋에 27個 基地를 根據로 操業을 하고 있으며 沿岸國 및 國際機構 등의 規制強化로 入漁料 引上은 물론 公海 操業도 規制가 強化되고 있어 遠洋漁業의 與件이 날로 어려워지고 있는 實情이다.

5. 養殖漁場

가. 淺海養殖

淺海養殖漁場은 '89年末 現在 適地面積 207,691ha의 54%인 112,959ha를 開發하여 每年 90萬톤內外의 水産物을 生産, 漁民所得增大에 크게 寄與하고 있다.

養殖品種에 있어서는 돔, 납치, 방어, 굴, 피조개, 꼬막, 홍합, 바지락, 김, 미역, 우렁쟁이, 새우 등 總 37種에 이르고 있으며 새로운 養殖品種의 開發로 養殖品種이 多樣化 되어가고 있다.

養殖漁場의 所有形態는 漁村契 爲主의 養殖免許 施策의 持續的인 推進으로 地先 多數漁民이 參與하고 있는 漁村契(水協) 漁場의 比重이 漸次 增大되어 '89年末 現在 漁村契 漁場面積이 全体漁場의 69%인 78,241ha에 이르고 있다.

業種別로는 養殖技術이 普遍化되고 小規模投資로 共同經營이 可能的한 海藻類에 있어서는 漁村契(水協) 漁場이 全体 漁場面積의 91%로 대부분

〈表 14〉 淺海養殖 漁場開發面積

單位 : ha

	'79	'84	'88	'89	增減率% ('89/'88)
計	79,165(100%)	89,557	112,432	112,959(100%)	0.5
魚 類	137(0.2)	225	586	946(0.8)	61
貝 類	50,353(63.6)	40,431	40,931	39,903(35.3)	△2.5
海藻類	28,279(35.7)	47,661	68,045	68,973(61.1)	1
其 他	396(0.5)	1,240	2,870	3,137(2.8)	9

資料 : 水産廳 增殖課

<表 15>

所有者別 養殖漁場 面積

單位 : ha

	'84	'88	'89	增減率% ('89/'88)
計	89,557(100%)	112,432(100%)	121,959(100%)	8.5
漁村契 및 水協	53,124(59)	74,539(66)	78,241(69)	5.0
個人 및 協業	36,433(41)	37,893(34)	43,718(31)	15.0

資料 : 水産廳 増殖課

을 차지하고 있으며 高度의 技術과 많은 資本이 所要되는 魚類 및 其他 養殖에 있어서는 個人 및 協業所有 漁業權이 높은比重을 차지하고 있다.

나. 內水面

우리나라 內水面 水面積은 全國土 面積(99千km²)의 2%에 該當하는 200千헥타로서 그 구성은 댐·湖가 66千헥타(33%), 江·河川이 92千헥타(46%), 貯水池가 41千헥타(20.5%), 늪이 1千헥타(0.5%)이다.

<表 16>

우리나라 內水面 構成

內水面 面積	댐 · 湖	江 · 河川	貯水池	늪
200千헥타(100%)	66(33)	92(46)	41(20.5)	1(0.5)

資料 : 水産廳 資源造成課

이와같은 內水面의 開發에 있어서는 700헥타以上の 댐·湖는 政府에서, 700헥타미만의 水面은 市·道에서 管掌하고 있으며, 政府 開發 대상인 댐·湖는 總 19個所 水面에 57千헥타이며 政府의 댐 新設 計劃에 따라 시공중인 水面이 3個所에 14千헥타로써 우리나라 內水面 面積은 점차 擴大되고 있어, 이의 開發을 계속 推進하고 있다.

한편, 內水面 養殖漁業은 1,524個所에서 1,482헥타를 開發하여 신선한 淡水魚를 生産하므로써 國民의 動物性 蛋白質供給과 農漁民 所得增大에 도 크게 寄與하고 있다. 이를 魚種別로보면 大單位水面이나 小規模 貯水池 등을 活用한 가두리式 항어養殖이 344個所에 308헥타를 개발하였고, 山間의 溪谷水나 地下水를 活用하는 송어養殖이 271個所에 64헥타, 溫泉水나 따뜻한 지하수를 利用, 加溫施設을 갖추어 養殖하는 뱀장어, 틸라피아 등과 비꾸라지, 쏘가리, 메기 등 養殖에 필요한 水面을 1,000헥타 以上 開發하므로써 淡水魚의 安定的인 生産을 도모하게 되었다.

<表 17> 內水面 養魚場現況

單位 : ha

市道別	계		뱀 장 어		항어(가두리)		무지개송어		기 타	
	個所	面積	個所	面積	個所	面積	個所	面積	個所	面積
	1,524	1,482.38	195	109.49	344	308.5	271	64.23	714	1,000.16
서울	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釜山	11	1.12	-	-	-	-	-	-	11	1.13
仁川	2	1.41	-	-	-	-	-	-	2	1.41
大邱	5	0.15	-	-	1	0.1	-	-	4	0.05
光州	15	15.82	3	5.28	-	-	-	-	12	10.54
大田	7	0.76	-	-	-	-	2	0.19	5	0.57
京畿	155	85.78	9	5.58	22	29.88	29	5.01	95	45.31
江原	179	226.85	1	0.05	28	73.00	128	44.0	22	109.8
忠北	120	25.53	1	0.23	70	12.2	35	2.56	14	10.54
忠南	156	117.11	36	21.63	36	28.9	8	1.26	76	65.31
全北	278	685.28	32	22.89	50	33.96	6	1.15	190	627.28
全南	240	144.32	92	48.69	49	70.56	10	1.26	89	23.81
慶北	153	69.21	-	-	68	54.0	41	5.34	44	9.87
慶南	182	72.6	17	3.7	20	5.9	8	2.2	137	60.8
濟州	21	36.44	4	1.44	-	-	4	1.25	13	33.75

資料 : 水産廳 資源造成課

6. 漁業經營體

가. 沿岸漁業

'89年末 現在 沿岸漁業 經營體數는 總 51,801個로써 '88年의 50,916個보다 885個가 늘어났으며 이는 每年 增加趨勢에 있다.

〈表 18〉 沿岸漁業 經營體 推移

單位：個

	'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	36,366	41,298	50,916	51,801	101.7
機船引網	143	133	121	117	96.7
帆船底引網	81	51	34	34	100
鮫 鱈 網	3,308	2,918	2,232	2,245	100.6
流 刺 網	13,540	14,913	17,526	17,779	101.4
潛 水 器	272	273	272	272	100
定 置 網	671	704	698	688	98.6
외 줄 낚 시	3,960	3,612	4,786	4,876	101.9
주 낚	6,753	8,594	10,923	11,125	101.8
第1種共同漁業	1,426	1,539	1,755	1,811	103.2
第2種共同漁業	99	64	64	61	95.3
第3種共同漁業	862	812	1,065	1,202	112.9
其他 漁業	5,251	7,685	11,440	11,591	101.3

資料：水産廳 沿近海課

이를 漁業別로 보면 許可漁業의 增加業種은 鮫鱈網, 流刺網, 외줄낚시, 주낙, 통발, 茨寄抄網등이나 이 가운데서 資源에 미치는 影響이 큰 漁業으로서 오래전부터 新規許可가 抑制되어 있는 沿岸鮫鱈網(囊長網, 醃船網) 漁業이 增加한 事由는 申告漁業인 浮船鮫鱈網을 申告漁業에서 削除하고 許可漁業으로 轉換措置하여 增加한 것으로 나타나고 있으나 實際로는 每年 減少趨勢에 있다. 또한 減少 및 前年水準을 유지한 業種으로는 帆船底引網, 海藻採取, 帆船旋網, 帆船桁網, 石操網, 揚操網漁業 등으로 나타나고 있다.

免許漁業을 보면 漁村契에 優先權이 있는 第1種 및 第3種共同漁業은 增加하였으나 消極的인 漁具漁法을 利用하는 第2種共同漁業과 定置漁業은 漁獲不振으로 약간씩 減少傾向을 나타내고 있다.

沿岸漁業은 家族單位로 運營하는 小規模漁業으로 兼業이 대부분이며 '80年代 들어와서는 限定된 漁場에 漁獲努力量을 增大함으로써 資源이 漸次 減少되고 臨海工團造成, 都市의 擴張 등으로 工場排水와 都市下水 등의 流入 및 大型船舶 또는 油槽船 등 事故에 의한 油類被害와 大單位干拓, 埋立事業으로 인한 漁場縮小 등 漁場環境이 날로 惡化되어 漁業經營에 어려움이 加重되고 있다.

나. 近海漁業

'89년의 近海漁業 經營體는 1,731個로서 前年보다 25個가 減少하였다.

이와 같은 近海漁業의 減少趨勢는 대부분의 近海漁業이 업종별로 許可定數가 설정되어 있으며 漁業調整 및 資源保護를 위해 新規許可를 억제하고 있기 때문인 것으로 분석된다. 이를 업종별로 보면 許可定數가 설정되어 있는 大型機船底引網, 中型機船底引網, 大型旋網, 東海區트롤, 大型트롤漁業은 '84년이후 큰 변화가 없으나 許可定數가 설정되어 있지

않은 近海채낚기 漁業은 '87.8.1 新規許可抑制措置로 전년보다 25個가 減少하였다.

〈表 19〉 近海漁業 經營體 推移

單位：個

	'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	1,767	1,883	1,756	1,731	98.6
大型機底	354	280	280	277	98.9
中型機底	107	107	106	107	100.9
大型旋網	49	48	46	48	104.4
東海區 트롤	43	43	42	43	102.4
大型 트롤	84	90	89	88	98.9
近海채낚기	1,130	1,315	1,193	1,168	97.9

資料：水産廳 沿近海課

다. 養殖漁業

'89年 養殖漁業 經營體는 8,324個로서 '88年보다 219個가 增加되었다. 品種別로는 貝養殖 經營體가 2,191個로 全體의 26.3%이며 다음이 굴養殖 999(12.0%), 피조개 856(10.3%), 바지락 682, 새꼬막 642, 미역623, 우렁쟁이 614個의 順이다.

經營形態別로는 漁村契 및 水協經營體가 4,102個로서 全 養殖漁業 經營體의 49%를 차지하고 있으며 다음이 協業經營體 2,207個(26%) 個人經營體 2,015個(25%)의 順으로 每年 漁村契 經營體가 增加하고 있는 趨勢이다.

品種別 經營形態를 보면 魚類 및 其他水産動物은 漁村契 및 水協 經營體보다 個人 및 協業經營體가 많은 반면 海藻類養殖은 漁村契 및 水協經營體가 대부분을 차지하고 있다. 이는 김, 미역 등 海藻類 養殖은 대부분 漁村契 및 水協所有 漁業權을 地先의 多數漁民이 共同으로 經營하고 있으나 魚類, 其他 水産動物은 많은 資本과 高度의 技術이 所要되어 開發能力者인 個人이 經營하고 있기 때문으로 분석된다.

<表 20>

養殖漁業 經營體 構成

單位：個所

		計	漁村契	水協	協業	個人
計		8,324	3,390	712	2,207	2,015
魚 類		563	52	23	149	339
貝 類	小 計	4,231	1,250	189	1,456	1,336
	굴	999	232	58	355	354
	피조개	856	121	16	333	386
	바지락	682	271	39	226	146
	새꼬막	642	241	6	209	186
	기타	1,052	385	70	333	264
海 藻 類	小 計	2,867	1,904	470	334	159
	김	2,191	1,417	437	245	92
	미역	623	455	29	81	58
	기타	53	32	4	8	9
其他水産動物		663	184	30	268	181

資料：水産廳 增殖課

라. 內水面漁業

'89年 內水面 經營體數는 1,524個所로 前年보다 388個所가 增加되었다. 이는 가두리식 養魚의 主宗을 이루고 있는 향어를 비롯하여 송어, 민물돔(틸라피야) 등의 養魚技術 開發과 아울러 淡水魚 需要 漸增에 따라 民資에 의한 養魚場 施設이 擴張된 것으로 推定된다.

魚種別 構成은 가두리식 養魚場에서 향어 등 잉어類의 養魚와 부지개 송어, 뱀장어, 민물돔 등의 養魚가 增加趨勢에 있다.

<表 21> 內水面漁業 經營體 推移

單位：個所

	'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	324	403	1,136	1,524	134
잉 어	204	215	232	275	118.5
향 어	-	58	293	344	117.4
뱀 장 어	82	91	170	195	114.7
송 어	10	27	180	271	150.5
기 타	28	12	261	439	168.1

資料：水産廳 資源造成課

마. 遠洋漁業

우리나라 遠洋漁業은 沿岸國의 漁業資源 自國化政策 深化에 따른 入漁條件의 強化와 美國의 共同事業物量 激減等 國際漁業 環境의 變化로 因하여 經費負擔의 增加, 漁場의 確保難 등으로 漁業經營에 많은 어려움을 겪어왔다.

遠洋漁業의 安定的 成長과 어려운 國際漁業 環境의 克服을 위하여 政

府에서는 遠洋出漁資金 590億원을 適期 支援하여 出漁 資金의 壓迫을 解消토록 努力하였으며 國際水産機構와 沿岸國의 入漁 및 規制 活動을 分析, 弘報하는 등 遠洋漁場 確保를 위하여 積極 支援하였다. 또한 老朽 漁船의 代替와 漁船員의 勤勞福祉 環境을 改善하여 生産性 向上도 注力 하였으며 遠洋漁業의 經費중 큰몫을 차지하는 油類價格이 安定되고 魚 價도 緩慢한 上昇勢를 維持하여 經營에 도움을 주었다.

'89年末 遠洋漁船은 前年度에 比하여 다랭이漁船 13隻, 오징어漁船 9 隻, 其他漁船 3隻이 增加된 반면 트롤漁船 9隻이 減隻되어 全体 隻數는 16隻이 增加하여 總 770隻이 되었으며 遠洋漁業의 經營體는 200개 業體 였다.

〈表 22〉

遠洋漁船 推移

單位：隻

	'87	'88	'89	'89/'88(%)
計	712	754	770	102.1
○ 다랭이漁業	269	293	306	104.4
- 獨航延繩	189	199	195	98.0
- 基地延繩	61	69	77	111.6
- 旋刺網	20	23	30	130.4
- 流刺網	-	2	4	150.0
○ 오징어漁業	207	218	227	104.1
- 流刺網	140	150	157	104.7
- 채낚기	67	68	70	102.9
○ 트롤漁業	232	239	230	96.2
- 獨航	43	47	49	104.3
- 基地	96	102	109	106.7
- 새우	93	90	72	67.3
○ 其他漁業	4	4	7	175.0

資料：水産廳 遠洋開發擔當室

註：其他漁業은 遠洋뽕말, 상어流刺網, 콩치棒受網 等임.

第 2 節 漁家 經濟

1. 漁家 所得

'89年 漁家所得은 8,079千원으로 '88年보다 18.4%가 增加하여 最近 5年間 平均 增加率 10.7%를 上廻하였다. 이 중 漁業所得은 4,152千원, 漁業外所得은 3,927千원으로 각각 20.3%, 16.5%가 增加하였다.

이와같이 漁業所得이 크게 增加한 것은 沿近海 漁獲量은 前年보다 1.7% 減少하였으나 魚價가 18.2% 상승하였고 高價魚種 (방어, 넙치, 참돔 등)의 養殖生産이 전년보다 크게 늘어났으며 漁業組收入이 前年보다 12.4% 增加한데 비해 漁業經營費는 6.3% 增加에 그쳤기 때문으로 分析된다.

〈表 23〉

漁家所得 推移

單位：千원, %

	'79	'84	'88(A)	'89(B)	增減率(B/A)
漁家所得	1,923	4,508	6,821	8,079	18.4
漁業所得	1,296	2,582	3,451	4,152	20.3
· 漁業組收入	2,519	5,589	7,882	8,863	12.4
· 漁業經營費	1,223	3,007	4,431	4,711	6.3
漁業外所得	627	1,926	3,370	3,927	16.5
(構成比)	(32.6)	(42.7)	(49.4)	(48.6)	
農家所得	2,227	5,549	8,130	9,437	16.1
都市家計所得	2,337	4,828	7,887	9,659	22.5

資料：農林水産部 農林水産主要統計

한편, 漁業外所得이 增加한 것은 '89年 政府 夏·秋穀 收買價 引上, 畜産物 價格上昇에 따라 農業所得이 12.0% 增加되고 商工서비스收入이 늘어났으며 事業外所得인 勞賃 및 就業所得이 28.8% 增加하였기 때문이다.

<表 24> 漁業外 所得構成

單位：千원, %

	'84	'88 (A)	'89 (B)	增減率 (B/A)
漁業外 所得	1,926	3,370	3,927	16.5
· 農業 所得	930	1,386	1,553	12.0
· 其他兼業所得	121	211	231	9.5
· 事業外 所得	875	562	724	28.8
· 移轉 所得	-	1,211	1,419	17.2

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

漁業形態別로는 漁船非使用家口의 所得이 前年에 比해 28.1%가 增加하여 가장 큰 폭의 伸張率을 보였으며 養殖業, 無動力船 使用家口 所得은 각각 12.7%, 8.4%가 增加하였으나 가장 所得이 높은 動力船使用家口 所得은 前年에 比해 4.8%가 減少한 9,479千원으로 나타났다.

<表 25> 漁業形態別 所得構成

單位：千원, %

	'88	%	'89	%	增減率 ('89/'88)
全 國 平 均	6,821	100	8,079	100	18.4
· 漁船非使用	5,645	83	7,232	90	28.1
· 動力船使用	9,955	146	9,479	117	△ 4.8
· 養 殖 業	6,707	98	7,557	94	12.7

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

2. 消費支出

'89年 漁家所得 8,079千원 가운데서 租稅公課金 44千원을 控除한 可処分所得은 '88年보다 18.8%가 늘어난 8,035千원이며 이 중 가계비는 6,190千원으로 32.2%가 늘었다.

이에 따라 漁家經濟 剩餘는 前年보다 16.2%가 줄어든 1,682千원으로 나타난 반면 平均消費性向은 69.3%에서 76.6%로 높아졌다.

〈表 26〉 可處分所得 및 家計費

單位：千원, %

	'84	'88(A)	'89(B)	增減率(B/A)
漁家所得	4,508	6,821	8,079	18.4
可處分所得(A)	4,266	6,762	8,035	18.8
家計費(B)	3,330	4,684	6,190	32.2
分家支出	141	70	163	132.9
經濟剩餘	795	2,008	1,682	△ 16.2
平均消費性向(B/A)	78.1	69.3	76.6	

資料：農林水産部 漁家經濟調査結果

한편 '89年 漁家の 가계비 支出內譯을 보면 의료비, 被服費, 住居費, 換上제비 등이 상대적으로 크게 증가한 반면 飲食物費는 1,551千원으로 前年보다 21.0% 增加하였다. 이에 따라 가계비중 食物비가 차지하는 比중을 나타내는 엔겔계수는 25.1%로 계속 낮아지는 趨勢를 보이고 있다.

〈表 27〉

家計費 支出內譯

單位：千원, %

	'84	'88(A)	'89(B)	增減率(B/A)
家計費	3,330	4,684	6,190	32.2
飲食物費	1,078	1,282	1,551	21.0
住居費	278	348	481	38.2
被服費	196	308	431	39.9
光熱·水道費	182	216	238	10.2
教育費	483	606	703	16.0
醫療費	-	309	435	40.8
冠婚喪祭費	-	466	637	36.7
其他	1,113	1,149	1,714	49.3
영끌係數	32.4	27.4	25.1	

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

3. 漁家資産

漁家資産은 51,253千원으로 '88年の 26,405千원보다 94.1% 增加되었다.

〈表 28〉

漁家資産推移

單位：千원, %

	'84	'88(A)	'89(B)	增減率(B/A)
漁家資産	17,708	26,405	51,253	94.1
固定資産	13,548	18,539	43,333	133.7
流動資産	2,616	3,319	3,866	16.5
· 流通資産	1,544	4,547	4,054	△ 10.8
· 現金	221	407	345	△ 15.2
· 預貯金	522	2,707	2,080	△ 23.2

資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

이와같이 漁家資産이 급격히 增加한 要因을 살펴보면 沿岸開發地域의 地價上昇으로 인한 評價額의 增加와 農漁業用 資材, 在庫 農水産物의 評價額 增加에 基因한 것으로 나타났다.

4. 漁家負債

漁家負債는 '88年보다 38.2%가 增加한 5,276千원으로 나타났으며 이는 漁船購入 및 養殖加工施設 등에 投資한 漁業生産 資金의 負債가 37.7% 增加하였고 農機械, 農地 등 兼業資金이 대폭 增加한 것이 主要 原因으로 分析된다.

用途別 負債 내역을 살펴보면 生産性 負債가 78.3%, 家計性 負債가 16.4%로 構成되어 있으며, 生産性 負債는 前年보다 54.0% 增加되고 家計性 負債는 前年에 비해 10.5% 減少되고 있어 生産性 負債의 增加가 두드러지고 있다.

〈表 29〉

漁家負債 推移

單位：千원, %

	'84	'88(A)	'89(B)	增減率(B/A)
漁 家 負 債	2,361	3,818	5,276	38.2
債 入 類 別				
金 融 機 關	1,249	2,736	3,966	45.0
私	1,112	1,082	1,310	21.1
用 途 別				
生 産 性	1,658	2,683	4,131	54.0
· 漁業資金	1,455	2,220	3,057	37.7
· 兼業資金	203	463	1,074	132.0
家 計 性	648	970	868	△ 10.5
債 務 償 還 用	55	165	277	67.9

資料：農林水産部 漁家經濟調査結果

한편 借入처別로는 農·水·畜協 등의 金融機關 負債가 전체의 75.2%를 차지하고 있으며 個人借入이 1,310千원으로 24.8%로 나타났으며 金融機關의 負債는 3,966千원으로 '88年보다 45.0% 增加하였고 個人 借入은 21.1% 增加하는데 그쳤다.

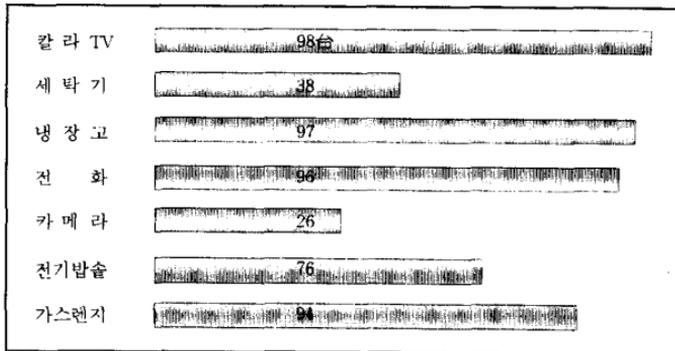
5. 文化水準

漁家の 文化用品 保有現況를 살펴보면 漁家 1百戶當 칼라 TV 98臺, 세탁기 38臺, 냉장고 97臺, 전화 96臺 등으로 어가문화용품 보유가 많아져 文化生活 수준이 向上되고 있음을 나타내고 있다.

<表 30>

漁家文化用品 保有現況

(單位：百家口當 替及)



資料：農林水産部 漁家經濟調查結果

第 3 節 水産物 生産

1. 全體動向

'89年度 우리나라 水産物 總生産은 前年の 3,209千톤보다 110千톤이 増加된 3,319千톤을 生産하였다.

이는 養殖漁業과 內水面漁業은 減少하였으나 遠洋漁業의 好況에 힘입은 것으로 나타나고 있다.

漁業別로는 沿近海漁業은 旋網漁業의 勞使紛糾('89. 4. 26~5. 17)로 인한 감소요인에도 불구하고 1,510千톤 生産으로 前年水準을 維持하였고, 養殖漁業은 '88年度 異常海況에 의한 成長不振과 種苗斃死 등의 영향으로 前年對比 95.7%인 848千톤으로 生産이 감소되었으며, 內水面漁業은 洛東江하구 漁場喪失, 上半期中의 가뭄에 따른 어장환경악화 등의 영향으로 漁撈漁業이 극히 不振하여 前年對比 85.3%인 31千톤으로 生産이 減少되었다.

遠洋漁業은 참치基地, 참치獨航, 새우트물을 제외한 全 業種이 전반적으로 生産이 順調로왔으며 특히 오징어채낚기의 好調로 인하여 前年對比 120.2%로 生産이 增加되었다.

魚種別로는 쥐치, 전갱이, 삼치, 송어, 아귀, 밴댕이, 망둥이, 굴, 피조개, 다시마, 재첩, 잉어, 붕어 등은 前년에 比하여 生産이 不振한 반면 정어리, 고등어, 오징어, 청어, 꽂치, 강달이, 뱀어, 갯새우, 김, 바지락, 우렁쟁이, 송어, 향이 등은 生産이 順調로왔다.

〈表 31〉

漁業別 生産推移

單位：톤

	'79	'84	'88	'89	'89 / '88(%)
計	2,422,163	2,909,811	3,209,135	3,319,395	103.4
沿 近 海	1,414,366	1,523,117	1,512,481	1,510,262	99.9
養 殖	480,414	678,321	886,605	848,246	95.7
內 水 面	41,300	50,121	35,809	30,554	85.3
遠 洋	486,083	658,252	774,240	930,333	120.2

資料：農林水産部 農林水産統計年報

2. 沿近海漁業

'89年度 沿近海漁業 生産量은 1,510,262톤으로 우리나라 水産物 總生産量 3,319,395톤의 45.5%를 차지하였다.

海·漁況을 살펴보면 東海岸에서는 冬季에 北上하는 暖流勢力의 強勢로 暖流가 擴散됨으로써 冷水性 魚種인 명태는 來游量이 減少되어 生産이 不振하였으나 暖流性魚種인 오징어는 秋季以後 大和堆漁場에 水溫前線이 長期間 形成되어 順調로운 漁況을 유지하였다.

南海岸에서는 冬季 濟州道 周邊海域에 水溫前線 형성으로 고등어, 정어리 生産이 順調로왔으나 夏季以後 暖流強勢에 따른 漁獲 適水溫域 擴散으로 인하여 쥐치는 魚群이 分散되어 生産이 低調하였다.

西海岸에서는 暖流域擴散 및 底層 冷水弱勢 持續으로 갑오징어의 生産이 低調하였으나 秋季以後 濟州道 西方側에 水溫前線이 堯達하여 不振하였던 조기漁場이 形成되어 조기生産은 前年水準으로 회복되었다.

業種別로는 고등어, 정어리, 오징어, 멸치, 명어, 대구, 붕장어 등을 主對象으로 하는 大型旋網, 近海채남기, 中型機船底引網, 鮫鱈網, 機船權現網漁業 등은 生産이 增加하였으나 쥐치, 명태, 전갱이, 꽃게, 키조개 등을 主對象으로 하는 大型機船底引網, 流刺網, 潛水器, 定置網 漁業 등은 減少되었다.

가. 大型旋網漁業

大型旋網漁業은 沿近海漁業중 가장 규모가 크며 70~150톤급漁船으로 東中國海, 濟州道, 對馬島를 連結하는 海域에서 정어리, 고등어, 쥐치, 전갱이 등을 주로 漁獲하는 漁業이다.

生産量은 每年 增加趨勢에 있으며 '89年 生産量은 春季 勞使紛糾發生 (4.26~5.17)에도 불구하고 고등어의 유래없는 最大 生産과 정어리 生産 順調로 前年 409,708톤보다 1.4%가 增加한 415,603톤을 生産하였다.

나. 大型機船底引網漁業

大型機船底引網漁業은 1척으로 操業하는 외갈이와 2척으로 操業하는 쌍갈이로 구분되고 漁船의 규모는 50~170톤급으로서 西,南海와 東中國海에서 갈치, 조기, 가자미, 쥐치 등을 漁獲하고 있으며 生産量은 '78年 以後 每年 20萬톤을 上廻하고 있다.

'89년에는 夏季以後 暖流強勢에 따른 漁獲適水温의 擴散과 例年比 다소 빠른 主魚群의 北上回游로 多獲性魚種인 쥐치生産이 減少됨으로써 前年 279,998톤보다 14.3%가 減少한 239,723톤을 生産하였다.

다. 中型機船底引網漁業

中型機船底引網漁業은 20~80톤급 漁船으로 東海一圓에서 명태, 대구,

새우류 등을 대상으로 하는 東海區機船底引網漁業과 西·南海에서 쥐치, 가자미, 갈치, 꽃게, 갑오징어 등을 漁獲對象으로 하는 西·南海區機船底引網漁業으로 구분되고 있다.

生産량은 '77年以後 減少趨勢에 있으나 '89年度 生産량은 명태, 노가리, 대구 등의 增加로 前年 24,843톤에 비해 49.9%가 增加된 37,245톤을 生産하였다.

라. 近海채낚기漁業

近海채낚기漁業은 10~100톤급 漁船으로 오징어를 漁獲對象으로 하고 있으며 漁場은 魚群의 北上時期에 따라 東·西·南 全海域에서 形成되는데 南海는 濟州道 - 對馬島間 海域을 中心으로 12월부터 翌年 5월까지, 西海는 格列飛列島를 中心으로 7~11월까지, 東海는 鬱陵島近海 및 大和堆 近海에서 6~12월에 漁場이 形成된다. 오징어는 1년생으로 海況與件에 따라 不規則的인 生産을 보이고 있다.

'89년에는 가을철以後 大和堆近海에 水溫前線이 長期間 形成되어 順調로운 漁況을 維持함으로써 前年度 33,451톤에 비해 37.5%가 增加된 45,987톤을 生産하였다.

마. 鮫鱧網漁業

鮫鱧網漁業은 10~100톤급 漁船으로 西海 및 東中國海域에서 갈치, 조기, 병어, 갑오징어, 꽃게 등을 漁獲對象으로 하고 있다.

生産량은 每年 20萬톤을 生産하고 있으나 最近에는 生産量이 점차 減少되고 있는 趨勢이다.

'89년에도 병어, 강달이, 병어 등의 生産順調로 前年 229,756톤보다 1.6%가 增加한 233,329톤을 生産하였다.

바. 機船船引網(權現網) 漁業

機船船引網漁業은 沿岸漁業중 규모가 가장 큰 業種으로 50분음 미만의 漁船으로 南海岸에서 멸치를 漁獲하고 있다.

멸치는 沿岸 회유성 魚種으로 海況의 影響을 크게 받기 때문에 生産量은 海況與件에 따라 增減現象을 나타내고 있다.

'89년에는 春季 降雨에 의한 沿岸漁場 生産性增大로 멸치魚群의 接岸來游가 活潑하여 前年 72,687톤에 비해 21.2%가 增加된 88,114톤을 生産하였다.

사. 流刺網漁業

流刺網漁業은 東·西·南 全海域에서 조기, 멸치, 콩치, 명태, 꽃게 등을 漁獲對象으로 하고 있다. '80年代에 들면서 每年 10만톤을 生産하고 있으나 最近 生産量은 多少 減少傾向을 보여 10萬톤이하의 生産量을 보이고 있다.

'89年度 生産量은 조기, 꽃게 등의 生産減少로 前年 91,019톤보다 5.9%가 減少한 85,622톤을 生産하였다.

아. 共同漁業

共同漁業은 일정한 水面을 專用하여 貝類, 海藻類 등 定着性 水産動植物을 採捕하는 第1種 共同漁業과 地引網, 船引網, 焚奇抄網, 들網 등을 使用하는 第2種 共同漁業, 囊長網, 해신망, 柱木網 등을 使用하는 第3種 共同漁業이 있다.

'89年度 生産量은 沿岸水溫 上昇으로 인한 接岸魚群 分散회유로 前年 145,596톤보다 16.0%가 減少한 122,294톤을 生産하였다.

〈表 32〉 沿近海漁業 業種別 生産推移

單位：톤

區 分	'79	'84	'88	'89	'89 / '88(%)
計	1,414,366	1,523,117	1,512,481	1,510,262	99.9
大型 旋 網	186,656	349,325	409,708	415,603	101.4
大型 機 底	225,146	237,986	279,728	239,723	85.7
中 型 機 底	68,064	66,905	24,843	37,245	149.9
近海 채낚기	20,613	29,604	33,451	45,987	137.5
鮫 鱈 網	251,224	279,559	229,756	233,329	101.6
船 引 網	137,126	101,564	72,687	88,114	121.2
流 刺 網	99,531	101,673	91,019	85,622	94.1
共 同 漁 業	129,389	132,560	145,596	122,294	84.0
其 他	296,617	223,941	225,693	242,345	107.4

資料：農林水産部 農林水産統計年報

3. 養殖漁業

養殖漁場擴大 開發과 漁場管理徹底 및 養殖技術發達로 養殖漁業의 生産은 增加趨勢에 있으나 '89年度에는 夏季 高水溫과 漁場環境 惡化 등으로 南海岸의 굴, 피조개, 홍합 등의 作況이 不振하여 生産計劃의 91%인 848千톤을 生産하여 3,999億원의 生産高를 올렸다.

가. 魚類養殖

魚類養殖은 '83年以後 政府의 積極的인 開發育성과 技術發達에 의한 養殖方法 및 品種의 多樣化 등으로 '89年 魚類養殖은 2,661톤을 生産하

여 '88년에 비해 1,371톤이 增産되었다. 이는 남치養殖을 위한 陸上養殖 漁場의 擴大와 농어, 볼락, 복어 등 魚種多樣化에 기인한 것이다.

나. 貝類養殖

南·西海岸의 淺海 및 干潟地를 利用하고 있는 굴, 피조개, 꼬막, 바지락 등 貝類養殖은 '89年 夏季 高水溫 등 海況不適과 漁場環境 惡化 등으로 굴, 피조개, 홍합 등의 生産不振으로 '88년에 비해 67千톤이 減少된 353千톤을 生産하였다.

品種別로는 굴이 243千톤으로 貝類生産量의 68.3%를 차지하고 있으며 바지락 65千톤(18.4%), 피조개, 꼬막류, 홍합 등이 主種을 이루고 있다.

다. 海藻類養殖

대부분 地先 多數漁民이 參與하고 있는 海藻類養殖은 김과 미역이 主種을 이루고 있으며 '89年度에는 김養殖 生産好調로 '88年보다 14千톤이 增加된 455千톤을 生産하였다.

라. 其他 水産動物養殖

其他水産動物養殖은 우렁쟁이, 새우 등이 主種을 이루고 있는 高所得 品種으로서 '88年度보다 14千톤이 增産된 37千톤을 生産하였다.

특히 每年 生産增加 趨勢에 있는 우렁쟁이는 '88年보다 10千톤이 增産되어 東·南海岸 漁民所得 增大에 크게 寄與하고 있다.

<表 33>

養殖漁業 品種別 生産推移

單位 : 噸

		'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計		480,414	678,321	886,605	848,246	96
魚 類		62	331	1,290	2,661	206
貝 類	小 計	284,565	282,588	420,687	353,175	84
	굴	157,591	203,312	284,472	242,956	85
	홍합	86,509	25,041	15,693	7,925	51
	피조개	1,548	23,019	49,013	16,947	35
	주요패류	35,896	27,889	67,749	76,582	113
	기타	3,021	3,327	3,760	8,765	233
海 藻 類	小 計	195,662	383,661	441,569	455,336	103
	미역	143,305	230,188	281,657	280,856	100
	김	43,787	136,484	115,749	141,355	122
	다시마	5,192	7,927	11,612	2,617	23
	기타	3,378	9,062	32,551	30,508	94
其他水産動物		125	11,741	23,059	37,074	161

資料 : 農林水産部 農林水産統計年報

註 : (1) 主要貝類는 꼬막, 바지락, 가무락

(2) 其他水産動物은 우렁챙이, 새우, 꽃게 等

4. 內水面漁業

'89年 內水面漁業 生産은 前年 36千톤보다 5千톤이 減少된 31千톤을 生産하였다.

이는 漁撈漁業중 多獲性 品種인 재첩의 主産地인 낙동강 漁場의 環境 與件變化에 따른 減少에 기인한 것으로 分析되고 있다.

〈表 34〉 內水面漁業 品種別 生産推移

單位：톤

	'79	'84	'88	'89	89 / '88(%)
計	41,300	50,121	35,809	30,554	85.3
漁 撈	39,882	48,645	24,681	18,958	76.8
잉 어	1,882	2,839	1,798	1,567	87.2
붕 어	6,858	12,949	6,944	6,802	98.0
미 구 리	3,858	3,285	941	1,117	118.7
백 장 어	491	495	248	181	73.0
가 물 치	713	752	587	452	77.0
메 기	924	1,196	484	344	71.1
송 어	447	748	517	139	26.9
피 라 미	-	-	1,554	2,090	134.5
패류(재첩등)	19,234	16,682	5,909	2,063	34.9
其 他	5,475	9,699	5,699	4,203	73.7
養 殖	1,418	1,476	11,128	11,596	104.2
잉 어	209	448	1,177	1,181	100.3
향 어	-	-	5,198	6,119	117.7
송 어	9	150	878	1,257	143.2
뱀 장 어	200	448	602	1,047	173.9
가 물 치	82	124	256	351	137.1
민 물 돍	-	-	92	334	363.0
其 他	918	306	2,925	1,307	44.7

資料：農林水産部 農林水産統計年報

註：피라미는 '84以前까지 其他에 包含.

이와같이 漁撈漁業의 生産減少에도 불구하고 養殖漁業 生産은 每年 增加趨勢로써 '89年에도 12千톤을 生産하므로써 前年 對比 4.2% 增加를 보았는데 이는 養魚技術 開發 普及에 따른 養魚場 施設增加로 향어, 송어, 백장어, 민물뚝 등 高級 魚種의 量産體制가 確立되었다고 할 수 있겠다.

5. 遠洋漁業

沿岸國의 資源 自國化政策에 따른 規制強化로 生産活動에 많은 制約을 받고 있는 중에서도 '89년에는 참치漁業 및 南西大西洋 오징어 채낚기漁業과 北太平洋 公海漁場에서의 生産好調 및 트롤漁業의 安定的 増産 등으로 全業種이 好調를 보여 930千톤을 生産하였다.

가. 다랭이漁業

다랭이漁業은 延繩과 旋網漁業으로 나눌 수 있으며 延繩漁業은 날개 다랭이를 주로 漁獲하여 통조림 原料로 供給하는 海外基地式 操業方法과 눈다랭이, 황다랭이를 주로 漁獲하여 획감용으로 供給하는 獨航式 方法으로 區分된다. '89년에는 272隻의 다랭이 延繩漁船이 出漁하여 64千톤을 漁獲, 前年對比 78.6% 水準이었다. 그러나 가다랭이를 主 對象으로 하는 旋網漁船은 30隻이 出漁하여 前年の 146.0% 水準인 116千톤을 漁獲하여 輸出 및 內需통조림 原料로 供給하였다.

나. 오징어漁業

오징어漁業은 流刺網과 채낚기漁業으로 區分되는데 '89年度 流刺網漁業은 北太平洋에 157隻이 出漁하여 112千톤을 漁獲하였고 채낚기 漁船은 南西大西洋 및 뉴질랜드 漁場에 出漁하여 121千톤을 漁獲하였다.

南西大西洋 漁場은 英國政府의 오징어 資源 管理政策에 따라 保存水域 入漁 隻數가 27隻으로 '88年 22隻에 비해 5隻이 늘었으나 入漁時期 將 3.1~5.30로 短縮하였으며 채낚기漁船 55隻과 트롤漁船 14隻이 出漁하여 總 69隻이 操業하였다.

트롤을 包含하여 隻當 生産量을 分析해 보면 保存水域 入漁船舶의 경우 隻當 2,656톤으로 公海 操業 船舶의 隻當 生産量 1,744톤보다 912톤을 더 漁獲하였다.

한편 뉴질랜드 水域 오징어 채낚기 漁船의 경우 許可船 17隻중 11隻이 出漁하여 6,608톤을 漁獲하였으며 政府 許可 操業에 의한 트롤 및 채 낚기 漁船에서 2,095톤 및 個別入漁로 트롤에서 混獲으로 漁獲된 오징어가 8,527톤으로 總 17,230톤을 漁獲한 바 있다. 이러한 오징어는 全量 搬入되어 國內에서 消費되었다.

다. 트롤漁業

트롤漁業은 遠洋漁業중 比重이 가장 큰 業種으로서 遠洋生産量의 55%를 차지하고 있는 代表的인 業種이다.

이 중 北洋트롤漁業은 명태, 가지미類를 主 對象으로 하고 있으며 美國의 對外國 漁獲쿼타량이 '88年度부터 終熄된 반면, 公海上 操業은 多少 活潑하여 前年對比 119% 水準인 362千톤을 生産하였다.

한편 87.5.1부터 輸入으로 分類되고 있는 韓·美共同漁業事業은 美國의 資源自國化政策 推進으로 操業物量이 減少하여 142千톤을 生産하였다.

또한 海外基地 트롤漁業은 라스팔마스 基地를 中心으로 中西部 大西洋 및 北西·南西大西洋 漁場과 뉴질랜드 漁場 및 인도네시아, 中東 등에서 149千톤을 漁獲하였으며 새우트롤漁業은 中南美의 수리남과 中東의 사우디 漁場에서 1,786톤을 漁獲하여 全量을 輸出하였다.

〈表 35〉

遠洋漁業 業種別 生産推移

單位：톤

	'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	486,083	658,252	774,240	930,333	120
참 치 延 繩	121,793	65,476	81,668	64,213	78.6
참 치 旋 網	-	14,183	79,397	115,754	146
가다랭이 채낚기 ('88~'89: 참치流刺網)	19,473	969	342	950	277
오징어流刺網 및 채낚기	278	48,923	176,342	233,077	132
상 어 流 刺 網	-	2,141	24	-	
北 洋 트 룰	246,008	449,805	304,343	362,099	119
基 地 트 룰	96,331	71,755	126,855	149,142	118
새 우 트 룰	2,261	4,952	2,821	1,786	63
其 他	1,737	48	2,448	3,312	135

資料：水産廳 遠洋生産擔當室

第 4 節 水産物 輸出入

1. 輸 出

'89年 水産物 輸出은 前年에 비해 11.0% 減少한 1,821 百萬\$을 達成 하였다.

이와같이 輸出이 減少한 主要原因으로는 主要 水産物 輸出對象國인 日本과 美國의 一時的인 需要減少에 기인한 바도 있으나 보다 根本的

要因으로는 主 輸出對象 魚種인 삼치, 전갱이, 피조개 등 主要인근해 水産物의 生産減少에 따른 國內 內需價格의 상승과 賃金인상 및 原料인상에 의한 輸出採算性 惡化 등에 기인된 것으로 分析된다.

<表 36>

水産物 輸出 推移

單位：百萬\$

	'79	'84	'88	'89	'89/'88 (%)
總 輸 出	15,055	29,245	60,696	62,377	102.8
水 産 物	936	955	2,047	1,821	89.0
構成比 (%)	6.2	3.3	3.4	2.9	

資料：水産廳 貿易課

가. 品目別 實績

品目別 輸出實績을 살펴보면 活鮮魚의 경우는 生産不振과 輸出競爭力 弱化등으로 主市場인 日本에 바지락, 피조개, 꽃게, 복어 등의 수출이 不

<表 37>

品目別 輸出 實績

單位：千\$

	'79	'84	'88	'89	'89/'88 (%)
계	935,994	955,232	2,047,306	1,821,183	89.0
水 産 物	855,539	877,518	1,911,052	1,690,375	88.4
· 活 鮮 魚	119,126	152,032	475,667	391,081	82.2
· 冷 凍 品	123,479	124,359	259,777	251,953	97.0
· 海産鹽干品	60,075	82,549	150,479	167,076	111.0
· 農 産 品	25,940	60,727	137,241	114,399	83.4
· 기타水産物	70,410	103,877	269,696	225,910	83.8
· 遠洋魚類	456,509	353,974	618,192	539,956	87.3
漁 網	80,455	77,714	136,254	130,808	96.0

資料：水産廳 貿易課

振하여 전년보다 17.8% 減少하였으며 冷凍品은 봉장어, 고등어 등이 增加한 반면 필레트, 삼치, 전갱이 등이 日本, 美州地域에 原料切上 등에 따른 採算性 惡化와 生産不振으로 前年對比 3.0%의 減少를 보이고 있다.

<表 38>

主要魚種別輸出實績

單位：千\$

魚種別	'87	'88	'89	'89/'88 (%)
참치	258,499	289,184	333,705	115.4
피조개	141,703	152,494	105,317	69.1
봉장어	57,415	74,542	89,148	119.6
조미오징어	40,305	73,018	38,139	52.2
삼치	16,077	62,016	27,883	45.0
쥐치포	46,591	59,541	32,084	53.9
바지락	25,957	57,624	54,583	94.7
원양명란	45,158	55,313	38,820	70.2
굴뿔조림	31,174	46,183	51,128	110.7
새조개	20,431	39,897	33,985	85.2
간미역	40,139	38,431	52,060	135.5
뚝뚝	32,029	34,240	34,808	101.7
꽃게	23,301	32,189	27,380	85.1
원양필레트	54,830	32,077	18,913	59.0
가자미	49,016	32,035	29,182	91.1
굴류	32,689	29,140	28,090	96.4
패주(貝柱)	18,569	22,829	14,522	63.6
갑오징어	23,519	20,197	28,767	142.4
뱀장어	8,577	20,121	9,792	48.7
복어	6,844	17,561	10,131	57.7
전갱이	6,786	14,523	4,933	34.0
청어알	17,814	14,259	13,026	91.4
오징어	25,464	11,919	6,548	54.9
갯지렁이	11,745	11,730	14,703	125.3
멸치	11,606	6,487	4,866	75.0
연어통조림	13,215	6,415	4,672	72.8

資料：水産廳 貿易課.

또한, 海産鹽辛品은 간미역, 뭇 등의 對日地域 輸出好調로 前年보다 11.0% 増加한 167百萬\$를 達成하였다. 凍조림은 主原料魚의 生産不振과 貨金引上 등에 따른 輸出採算性 惡化 등으로 정어리, 고등어 凍조림의 輸出이 不振하여 前年보다 16.6%가 減少하였으며 乾魚物 및 海産加工品이 大部分인 其他 水産物도 輸出單價 上昇 및 內需增加로 인한 조비오징어의 輸出不振과 生産不振에 의한 쥐치포 등의 輸出이 不振하여 前年 對比 16.2%가 減少한 226百萬\$를 達成하였다. 遠洋魚類의 경우 참치는 日本地域에서의 畵 감용 輸出單價의 上昇과 我國 旋網漁業의 好調로 輸出이 増加한 反面, 對美地域 輸出 主宗品인 필레트, 명란 등은 輸出採算性 惡化로 低調한 輸出實績을 보임으로써 전년보다 12.7% 減少한 水準에 그쳤다. 한편 漁網類는 元貨切上 및 貨金引上 등 國內外的 어려운 條件으로 인하여 前年보다 4.0% 감소한 131百萬\$를 달성하였다.

나. 國家別 實績

'89年 水産物 輸出對象國은 '88年의 82個國에서 6個國이 줄어든 76個國으로 主要 國別 輸出實績을 보면 日本이 전체의 71.5%를 차지하는 1,303百萬\$로써 '88年보다 11.5%가 減少하였고 臺灣은 바지락, 軟体動物, 冷凍煉肉, 鹽藏미역 등의 輸出不振으로 '88年보다 39.6%가 減少하였다. 또한 美國은 필레트 등의 輸出不振으로 15.1%가 減少하였으며 스페인은 大西洋 水域의 遠洋魚類 生産 好調로 9.2%가 増加하였다.

'89年 國別 輸出順位는 日本, 美國에 이어 스페인, 臺灣, 濠洲, 캐나다, 싱가포르 순이며 濠洲가 '88년에는 6位 이었으나 캐나다와 순위가 바뀌었다.

<表 39>

國家別 輸 出 實 績

單位：千\$

	'79	'84	'88	'89	'89/'88 (%)
계	935,994	955,232	2,047,306	1,821,183	89.0
일 본	612,315	663,106	1,471,470	1,302,702	88.5
미 국	103,669	123,825	230,124	195,389	84.9
스 페 인	40,024	25,620	34,808	38,026	109.2
대 만	12,680	5,464	31,231	18,864	60.4
호 주	4,322	9,961	19,392	18,566	95.7
캐 나 다	8,502	10,308	20,225	18,518	91.6
싱 가 폴	8,734	10,273	16,408	13,450	82.0
사우디아라비아	9,717	11,274	7,238	4,779	66.0
기 타	136,031	95,401	216,410	210,889	97.4

資料：水産廳 貿易課

註：漁網 輸出實績이 포함됨.

2. 輸 入

가. 輸入開放

水産物의 輸入自由化 措置는 '89년에 연어(新鮮 冷蔵), 대구(新鮮 冷蔵), 단새우류(新鮮 冷蔵), 콩치(鹽藏, 鹽水藏), 기타 갑각류조제품(통조림)등 26個 品目과 '90년에 송어(新鮮 冷蔵), 날개다랭이(冷凍), 명태(鹽藏, 鹽水藏), 기타 軟体動物(鹽藏, 鹽水藏)등 32個 品目を 追加함으로써 지금까지 輸入開放品目이 '90. 1.1 基準 195個로 늘어나게 되었고 輸入自由化率은 57.5%로 擴大되었다. 이는 우리나라 全体 輸入自由化

率이 96.3%인데 비하여 가장 낮은 開放率을 유지하고 있다.

<表 40> 輸入 自由化 現況

	總 品 目 數	自由化品目數 ('90.1.1)	自由化率(%)
全 體	10,241	9,898	96.3
農畜水産物	1,785	1,438	80.3
水 産 物	339	195	57.5

資料：水産廳 貿易課

나. 輸入實績

'89年 水産物 輸入實績은 322百萬\$로 '88년에 비해 10.3%가 增加하였다.

이와같이 輸入이 增加한 原因은 輸出用 原資材에 있어서 物量은 14.9%가 減少하였으나 單價上昇으로 金額面에서는 前年對比 5.8%가 增加하였으며 共同漁業事業 漁獲物은 韓·美 共同事業 減少에 따라 前年對比 物量이 24.4%의 減少를 나타내게 되었다. 또한 新漁場開發 擴大에 따른 合作 漁獲物 輸入은 15.7%, 기타 內需用 輸入은 總物量面에서 26.2%, 觀賞魚類는 881千\$로서 前年對比 90.7%, 魚類의 油脂등 非食用 水産物은 25.4%가 增加하였다.

<表 41>

水産物輸入實績

單位：톤, 千\$

		'87	'88	'89	'89/'88(%)	
계	物量	286,223	345,732	291,640	84.4	
	金額	214,855	291,646	321,610	110.3	
輸出用原資材	物量	129,833	111,765	95,153	85.1	
	金額	131,082	134,909	142,729	105.8	
內	共同 漁業	物量	115,418	190,896	144,319	75.6
	專業漁獲物	金額	53,439	84,992	114,613	134.9
需	合作漁獲物	物量	4,817	8,764	8,888	101.4
		金額	3,339	7,402	8,563	115.7
用	觀光用	物量	-	-	-	-
	食資材	金額	1,687	3,018	2,133	70.7
用	기타內需用	物量	36,155	34,307	43,280	126.2
		金額	25,308	61,325	53,572	87.4

資料：水産廳 貿易課

註：物量은 製品物量임.

第 5 節 水産物需給 및 價格

1. 需 給

'89年度의 水産物 總需給量은 3,922千톤으로 前年에 비해 2.2%가 增加하였다.

供給部門에서는 遠洋漁業의 호조에 따라 生産이 前年보다 3.4%로 增加한 反面 輸入은 共同事業 및 輸出用 原資材의 減少에 따라 10.6%가 減少하였다.

需要部門에서는 國內消費量이 前년에 비해 8.1%가 늘어남 反面 輸出은 國內外 與件惡化로 前年보다 14.0%가 減少하였다.

이에 따라 國民 1人當 年間 水産物 消費量은 前年보다 2.4kg 增加한 36.0kg으로 추정되며 이 중 魚貝類가 29.3kg, 海藻類는 6.7kg이 消費된 것으로 나타났다.

한편 韓國農村經濟研究院에서 分析한 '88년의 國民 1日 1人當 水産物의 動物性 蛋白質 供給量은 13.27g으로 動物性 蛋白質 總供給量 29.16g

<表 42> 水産物 需給 動向

單位：千噸

		'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
供給	生 産	2,422	2,910	3,209	3,319	103.4
	輸 入	55	84	452	404	89.4
	前年在庫	-	100	177	199	112.4
計		2,477	3,094	3,838	3,922	102.2
需要	國內消費	1,689	2,245	2,336	2,526	108.1
	輸 出	788	764	1,303	1,120	86.0
	在庫移越	-	85	199	276	138.7
1人當 年間消費量 (kg)		25.9	37.7	33.6	36.0	107.1
- 魚 貝 類		22.7	31.1	26.4	29.3	111.0
- 海 藻 類		3.2	6.6	7.2	6.7	93.1

資料：水産廳 漁政課、韓國農村經濟研究院 「食品需給表」

註：1人當 消費量은 純食品 基準임 ('89年은 推定値)

〈表 43〉

動物性 蛋白質 供給推移

單位：g/1人, 1H

	'78	'83	'86	'87	'88	'88/'87(%)
計	18.56	29.08	30.64	30.72	29.16	94.9
畜産物	7.82	10.09	12.93	14.81	15.89	107.3
魚貝類	10.74	18.18	17.71	15.91	13.27	83.4
(占有比%)	(57.9)	(62.5)	(57.8)	(51.8)	(45.5)	

資料：韓國農村經濟研究院 「食品需給表」(1988)

의 45.5%를 차지하고 있다.

이는 '87년에 비해 供給比重이 다소 낮아졌는데 그 원인은 水産物 生産 減少로 魚貝類의 供給量이 減少한 반면 相對的으로 畜産物의 供給量이 增加한 데 기인된 것이다.

2. 消 費

國民의 所得水準向上에 따라 食生活 양상도 成人病 豫防과 健康食 爲 主로 變化되어 가고 있다.

이러한 趨勢에 따라 水産物에는 核酸과 不飽和 脂肪酸이 多量 含有되어 있어 健康食品으로 認識됨으로써 水産物의 消費는 漸次 增加하여 '88年度에는 1人 年間 34kg에 이르렀고 1人 1日當 動物性 蛋白質 供給量도 13.27g으로서 全體의 45.5%를 차지하고 있다.

水産物의 消費性向도 從來에는 鮮魚 爲主에서 即席, 便利, 高次加工食品으로 變化되어 가고 있으며 '89年度에 加工用으로 利用한 原料魚는 別

表에서 보는 바와 같이 1,958千톤으로 漁獲量의 82%이며 그 중 冷凍品, 燻製品 및 海産製品의 加工에 많이 利用되고 있다.

〈表 44〉 水産物 利用動向 單位：千噸

	'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
○ 漁 獲 量	1,936	2,252	2,435	2,389	98.1
- 鮮魚用	1,150	889	510	431	84.5
- 加工用	786 (41%)	1,363 (61%)	1,925 (79%)	1,958 (82%)	101.7
○ 乾 製 品	167	173	142	139	97.9
○ 冷 凍 品	197	389	697	676	97.0
○ 燻 造 品	79	140	195	187	95.9
○ 燻 製 品	11	180	276	251	90.9
○ 鹽 辛 藏 品	32	8	19	26	136.8
○ 海 産 製 品	185	257	371	364	98.1
○ 其 他	115	218	225	315	140.0

資料：水産廳 製造課

註：遠洋漁獲物은 除外하였으며 原魚 基準임.

3. 價 格

'89年度末의 水産食品 都売物價는 前年末에 비해 18.2% 上昇하여 全体 都売物價指數를 크게 上廻하였다.

이처럼 水産食品 價格이 上昇한 原因은 對內的으로는 沿海海 水産資源의 減少로 生産量이 줄어드는 反面, 國民所得 增加에 따른 水産食品 기호도 增加와 對外的으로는 日本의 엔貨 강세 등 수출여건의 호조에 따라 需要量이 增加함에 따른 것으로 分析된다.

類別 價格動向을 살펴보면 鮮魚介類는 명태, 오징어를 除外한 大部分

의 魚種이 前年에 비하여 漁獲이 不振한 反面, 煉肉 등 加工 原料의 需要 增加로 前年末 對比 21.2%나 上昇하였으며 특히 조기, 명태, 갈치 등의 大衆消費 魚種이 큰 폭으로 上昇하였다. 鹽乾魚類인 마른 오징어는 生産量이 比較的 順調로왔음에도 不拘하고 需要의 大量增加로 인하여 前年末 對比 9.8%가 上昇하였으며 마른 멸치도 需要 增加로 인하여 前年末 對比 2.2%가 上昇하였다.

海産類에 있어서도 金은 作況 好調로 인하여 價格이 2.9% 下落하였으나 미역은 作況 不振 및 對日 輸出 好調에 따른 國內 供給物量 減少로 인하여 價格이 25.6%가 上昇하였다.

<表 45> 水産物 都売物價 騰落率

單位 : %

	'86	'87	'88	'89
總 都 売 物 價	- 2.6	2.7	2.3	1.1
○ 農 産 食 品	- 12.9	16.8	10.3	- 1.5
○ 水 産 食 品	22.5	1.8	16.9	18.2
- 鮮 魚 介 類	32.2	- 2.3	19.4	21.2
조 기	74.4	15.3	11.3	76.9
갈 치	16.6	10.3	18.1	23.4
고 등 어	44.7	- 1.0	- 15.3	- 19.1
물 오징어	3.2	- 10.6	40.6	- 3.9
명 태	42.0	20.0	30.2	25.1
굴	- 18.8	- 6.2	33.4	0.5
- 鹽 乾 魚 類	0.1	- 5.2	44.7	4.7
마른오징어		4.2	8.4	9.8
마른멸치	16.0	- 22.1	73.9	2.2
- 海 産 類	- 18.8	48.7	- 15.1	4.8
김	- 33.3	70.0	- 9.7	- 2.9
미 역	- 6.1	9.7	- 26.8	25.6

資料 : 韓國銀行

註 : 前年末 基準임.

〈表 46〉

水産物 消費者物價 騰落率

單位：%

	'86	'87	'88	'89
總消費者物價	2.8	6.1	7.2	5.1
○ 水産食品	11.1	11.2	13.5	8.9
- 鮮魚介類	16.8	13.7	15.4	9.2
조 기	25.2	20.0	17.6	12.1
갈 치	19.9	23.5	21.8	16.8
고 등 어	26.9	- 12.6	19.6	- 25.2
불오징어	10.0	8.6	- 8.3	26.2
생 명 태	28.2	14.2	11.6	5.8
갈	2.2	17.8	20.3	19.7
- 鹽乾魚類	17.0	13.7	15.4	9.2
마른오징어	5.2	1.8	0.2	11.2
마른멸치	36.9	- 15.9	10.4	39.5
- 海 藻 類	- 14.4	32.1	- 3.5	- 1.4
김	16.4	39.5	- 1.9	- 2.3
미 역	- 7.1	10.9	12.6	- 4.8

資料：經濟企劃院

註：前年末 基準임.

第 6 節 漁場環境 變化

1. 海 況

'89年度 우리나라 沿近海의 海況을 海域別, 隔月別로 平年海況과 비
교하여 보면 2월의 東海岸은 北韓 寒流가 平年比 약세로 남하하여 주문
진 이북연안의 50m이심층에서 10°C이하의 冷水로 정체한 반면 東韓暖
流는 強勢로 북상함과 더불어 冬季 水溫의 下降遲延으로 0, 50m층에서

1 ~ 5°C 高溫相을 보였으며 寒流와 暖流間의 水溫前線은 장기갑 이북 100m이심층 沿岸 海域에서 남북방향으로 약하게 발달하였다.

南海岸에서는 南海岸 연안수가 약하게 分布한 반면에 對馬暖流는 강하게 지속하여 제주도 西方海域을 제외하고 0. 50m층에서 1 ~ 3°C 高溫相을 보였으며 연안수와 暖流間의 水溫前線이 제주도 ~ 對馬島間 海域에서 미약하게 形成되었다.

西海岸에서는 黃海冷水가 약세로 分布하였고 水溫의 下降遲延으로 1 ~ 2°C 高溫相이었다. 그리고 상·하층수의 水溫分布는 鉛直 混合에 의해 균질한 水溫分布를 보였다.

4월의 東海岸은 東韓暖流가 강하게 북상하여 대체로 1 ~ 5°C 高溫相을 보인 반면에 北韓寒流는 연안을 따라 약하게 남하하였으며 동해남부 一部 外 海域에서는 100m이심층에 시마네(島根)冷水가 分布하여 低溫相을 보였다.

그리고 寒流와 暖流間의 水溫前線은 50m 이심층의 竹邊연안 이북에서 남북방향으로 발달하였다.

南海岸은 對馬暖流가 평년비 強勢로 접안한 반면 南海岸 沿岸水는 약화되어 1 ~ 2°C 高溫相을 보였으며 南海岸 沿岸水와 對馬暖流水間의 水溫前線이 약하게 形成되었다.

西海岸은 黃海冷水의 勢力이 약세인 반면 黃海暖流는 강하게 북상하여 1 ~ 2°C 高溫相이었고 연직으로 상·하층 균질한 水溫分布를 보였다. 그리고 黃海冷水와 黃海暖流間의 水溫前線은 소흑산도 ~ 제주도간 海域에서 약하게 形成되었다.

6월의 東海岸은 東韓暖流가 0m층에서는 약세로 북상하여 一部 沿岸 海域을 제외한 대부분 海域에서 1 ~ 2°C 低溫相을 보인 반면 50m이심층에서는 4월까지 強勢였던 暖流勢力이 계속 지속되어 대부분 海域에서 1 ~ 2°C 高溫相을 보였다.

南海岸은 對馬暖流의 약세로 0m층에서 1~2°C 低溫相을 보인 반면, 50m층에서는 强勢의 暖流勢力의 지속으로 대부분 海域에서 1~2°C 高溫相을 보였으며 對馬暖流와 南海岸 沿岸水間의 水溫前線이 巨濟島와 對馬島間 海域에서 약하게 形成되었다.

西海岸은 黃海暖流가 약세로 북상하여 全海域이 0m층에서 1~2°C 低溫相을 보였고 50m층에서는 黃海底層冷水 勢力의 약세로 全海域에서 1~4°C 高溫相이었으며 상층수와 底層冷水間의 水溫躍層이 20~50m층에서 약하게 形成되었다.

8월의 東海岸은 東韓暖流의 主勢가 연안측으로 집안하여 0m층의 장기갑以北海域과 50m층의 一部 外海域을 제외하고 0m층에서 1~3°C, 50m층에서 1~9°C 高溫相을 보였으며 北韓寒流의 勢力은 약하게 나타났다.

南海岸은 對馬暖流勢力이 0m층에서는 약세로 제주도 북서방을 제외하고는 1~4°C 低溫相이나 50m층에서는 强勢로 1~8°C 高溫相이었고 상층수와 하층수간의 水溫躍層이 약간 깊은 30~50m에서 形成되었다.

西海岸은 黃海暖流勢力의 약세와 黃海底層冷水 勢力의 지속 分布로 서해남부 一部海域을 제외하고 1~5°C 低溫相이었다. 상층수와 저층수 사이의 水溫躍層은 沿岸域에서 약하게 形成된 반면 外海域에서는 10~30m층에서 강하게 形成되었다.

10월의 東海岸은 東韓暖流가 强勢로 중남부 연안측과 남부 외해측으로 북상하였고 남하하던 北韓寒流勢力이 약세로 竹島 이북연안에 정체하여 75m이심층에서 10°C 이하의 冷水로 分布하였다. 따라서 울릉도 外海域 및 남부 海域의 低溫相을 제외하고는 대부분 0m층에서 1~2°C, 50m층에서 1~9°C 高溫相이었다. 그리고 暖流와 寒流의 水溫前線은 中部海域의 연안측 75m 이심층에서 남북방향으로 조민하게 形成 발달되었다.

南海岸은 對馬暖流 勢力이 0m층에서는 中部一部海域 및 제주도 주변

海域을 제외하고 1~2°C 高溫相이었고 50m층에서는 中部沿岸海域 및 一部外海域을 제외한 대부분의 海域이 1~5°C 低溫相이었다. 그리고 水溫躍層은 30~50m층에서 약화된 상태로 지속하고 있었다.

西海岸은 黃海暖流 勢力이 평년상으로 회복되고 黃海 底層冷水勢力이 強勢로 分布해서 0m층에서는 대체로 1~2°C 高溫相이었으나 50m층에서는 대부분 海域이 1~4°C 低溫相이었으며 水溫躍層은 外海域에서 30~50m층간에 持續되고 있었다.

12월의 東海岸은 東韓暖流가 계속 強勢로 中남부 연안측과 남부 외해측으로 北上하고 있어 남하하는 북한 寒流勢力이 약하게 墨湖 以北沿岸 海域에서 정체하여 75m이심층에 10°C 이하의 冷水로 分布하고 있었다. 따라서 0m 및 50m층 모두 울릉도 서방 및 남방 一部海域에서 1°C 内外의 低溫相이었으며 水溫躍層은 대부분의 海域에서 墨湖이북의 연안측 75m층에서 조밀하게 形成되었다.

2. 漁 況

가. 全體的인 動向

東海岸에서는 北韓寒流가 弱勢로 持續한 반면에 北上暖流는 強勢를 보임으로써 이 冷水性 魚族의 來游量이 減少하여 낮은 魚群密度를 보였으나 大和堆周邊 海域의 水溫前線 発達로 오징어어업은 順調로운 漁況을 보였다. 南海岸에서는 겨울철 降雨로 인한 沿岸漁場의 生産性 增大와 水溫前線 発達로 고등어, 정어리 등의 來游量이 增加하여 順調로운 漁況을 보였다. 西海岸에서는 冬季에는 일항초-제주도간에 水溫前線이 形成됨으로써 다소 좋은 漁況을 보였으나 春季以後 暖流域 擴散 및 西海冷水 強勢 등으로 水溫前線 및 水溫躍層이 発達하지 못하여 對象魚群

이 分散회유 함으로써 平년에 比하여 多少 不振한 漁況을 보였다.

나. 明太(刺網, 延繩)漁業

明太漁業의 主漁期인 겨울철에 北韓 寒流가 平年比 弱하게 外海側으로 擴散되어 南下 擴張하였으며 東海岸 沿岸側을 따라 北上하는 東韓暖流의 強勢로 東海岸 沿岸側에는 平년에 比해 높은 水溫分佈를 보임으로써 寒流性 魚種인 明太魚群의 來游量이 減少되었으며 水溫前線이 兪達하지 못하여 密集漁場이 形成되지 못하였다. 따라서 '89年 明태어업은 平년에 比해('84~'88平均) 刺網이 約 60% 水準으로서 低調한 漁況을 나타내었다.

다. 꽁치 流刺網漁業

1989년에는 東海岸의 暖流勢力은 強勢를 보였으나 東海岸 全海域에 걸쳐서 暖流域이 擴散됨으로써 꽁치 魚群의 分佈範圍가 넓어져 密集漁場 形成이 이루어지지 못하였다. 특히 봄철에는 東海岸의 高水溫 持續으로 꽁치어군이 빠르게 北上함으로써 操業期間이 짧았으며 魚群密度가 極히 낮은 水準을 보여 '89年の 全体的인 꽁치 漁況은 平年比 70%의 水準에 머물렀다.

라. 오징어채낚기漁業

東海岸에서는 오징어채낚기어업의 盛漁期인 7~11월에 걸쳐 鬱陵島 ~ 大和堆間 海域에 稠密한 水溫前線이 形成됨으로써 오징어魚群의 密集漁場이 形成되었으며 前년에 比해 40~50% 内外의 增加된 漁獲實績을 나타내었다.

한편 西海岸에서는 西海中南部 全海域에 걸쳐 暖流域이 擴散되어 分

布하였고 水溫躍層이 発達하지 못하여 不振한 漁況을 보였다.

마. 멸치어업

冬季에는 降雨로 인한 營養鹽類의 流入 및 南海岸 沿岸側에서의 沿岸水와 暖流間의 水溫前線이 発達함으로써 좋은 漁場을 形成하였으나 春季 및 夏季에는 暖流域 擴散 및 水溫前線 弱화로 魚群의 密集이 이루어지지 못하여 不振한 漁況을 보였고 秋季에도 東海岸 沿岸側의 高水溫 持續 및 暖流域 擴散 등으로 魚群의 南下회유가 遲延 및 外海側으로 分散됨으로써 全般的으로 不振한 漁況을 보였다.

바. 大型旋網漁業

冬季에는 西海冷水와 暖流間의 水溫前線이 濟州道 西方側에 発達하여 고등어, 전갱이 등의 密集漁場이 形成되었고 夏季 및 秋季에는 東海南部 및 西海中南部 海域에서 水溫前線이 発達하여 정어리, 고등어, 말치 등 좋은 漁場이 形成되어 平年에 比해 順調로운 漁況을 보였다.

사. 近海鯨鱈網漁業

冬季에는 西海冷水와 暖流間의 水溫前線이 일항초-濟州道間에 형성됨으로써 참조기, 갑오징어 등을 主對象으로 多少 좋은 漁況을 보였으나 春季以後 暖流域 擴散 및 西海冷水의 弱화로 水溫前線이 発達하지 못하여 魚群의 分布範圍가 擴散됨으로써 魚群密度가 낮게 나타나 全體的인 漁況은 前年 水準을 維持하였으나 平년에는 미치지 못하였다.

아. 조기 流刺網漁業

冬季에는 中國大陸 沿岸水와 暖流間의 水溫前線 沿邊인 소코트라 남

방 海域에서 魚群密度가 높은 漁場을 형성하였으나 春季 및 夏季에는 暖流域 擴散으로 魚群이 分散, 分布하였으며 秋季 以後에는 索魚산도 및 일항초주변 海역에서 多少 密度높은 漁場이 형성됨으로써 全体的으로 前年에 比해서는 多少 좋은 漁場을 보였으나 平年 水準에는 미치지 못하였다.

3. 資源動向

가. 沿近海

沿近海 漁業의 總漁獲量은 '74年 이후 增加率이 鈍化되기 시작하여 '81年 이후에는 一定한 水準에 머물고 있으며 單位努力當 漁獲量은 '74年 이후 繼續的인 減少傾向을 보이고 있다.

主要 魚種에 대한 漁獲狀況을 보면 정어리 漁獲量은 前年에 比하여 25% 增加된 183千톤으로서 沿近海 魚種別 漁獲量중 가장 많았으며 그 다음은 고등어(163千톤), 쥐치류(159千톤), 멸치(132千톤), 갈치(102千톤)順으로서 이들 5個 魚種이 沿近海 漁業 生産量의 약 49%를 차지하고 있다.

한편, 生物學的 要因과 資源密度指數 變動의 推移 등 資源力學的인 諸要因에 의하여 分析한 沿近海 主要 魚種別 資源動向을 要約하면 정어리는 增加趨勢에 있었으며 말쥐치, 멸치 등은 비교적 平衡을 維持하고 있고 갈치 및 고등어 資源의 수준은 最近 低下되는 傾向을 보이고 있으며 참조기, 참돔 등 대부분의 底棲魚類와 전갱이, 콩치 등의 資源狀態는 낮은 수준에 있다.

나. 遠 洋

(1) 遠洋漁業 全体的인 動向

우리나라의 遠洋漁業은 '57년에 印度洋에서 다랭이延繩漁業의 試驗操業 이래 '70年代初 政府의 經濟政策에 따른 遠洋漁業 獎勵와 水産業界의 呼應으로 급격히 신장하여 '76년에 72.4萬톤을 漁獲하여 遠洋漁業生産의 第1次 全盛期를 맞이하였다. '70年代 中盤以後 油類波動 및 沿岸國의 排他的인 200海里 漁業水域의 宣布로 우리나라 遠洋漁業은 '70年後盤부터 '80年代 初까지 操業活動에 막대한 制限을 받게 되어 停滯期('80年 45.8萬톤)에 이르게 되었으나 이와같은 어려운 國際漁業環境에도 불구하고 '80年代 中盤期 以後부터는 政府 및 民間의 水産外交, 遠洋漁業振興政策, 3低現象, 國際共同管理의 對処와 科學的 漁場探查 및 操業技術의 指導教育 等に 힘입어 '86年以後 遠洋漁業의 새로운 全盛期를 맞게 되어 '89년에는 93.0萬톤을 漁獲하였다.

(2) 主對象 魚類別 資源動向

(가) 다랭이類 資源

○ 世界漁獲量

世界다랭이類 및 새치類의 漁獲量은 '75年 205萬톤에서 계속 增加하여 '87年에 344萬톤을 漁獲하였다. 이들을 大洋別로 보면 太平洋에서는 '72年 115萬톤에서 '87年에 233萬톤으로, 印度洋에서는 '72年 24萬톤에서 '87年 60萬톤으로, 大西洋에서는 '60年代 35萬톤에서 增加하여 '82年 62萬톤으로 最高 記錄을 보인以後 減少하여 '87年에 51萬톤을 漁獲하였다.

○ 韓國의 漁獲量

우리나라 遠洋다랭이類 漁業은 '57년 첫 試驗操業을 시도하여 '62年

5隻이 出漁操業함으로써 실질적인 資源利用에 들어갔다. 年度別 生産量을 보면 '64년에 2,600톤에서 每年 增加하여 '70년에는 71千톤으로 급격한 신장을 보였고 그 以後 계속 增加하여 '77년에 171千톤으로 最大 漁獲을 보였으나 '78年以後 每年 減少하여 '84년에 80千톤으로 가장 낮은 水準을 보였다. '85년부터 西部 太平洋의 旋網漁業의 발달로 다시 增加하여 '89年 181千톤으로 최고치를 記錄하였다. 大洋別 漁獲量을 보면 太平洋, 印度洋, 大西洋 順이며 太平洋은 '76年 69千톤에서 '84年 40千톤으로 減少하였으나 '85年以後 旋網漁業의 발달로 漁獲量이 급격히 增加하여 '89年 144千톤을 漁獲하였다. 印度洋에서는 '78年 71千톤으로 最高 水準을 보인後 減少하여 '84년에 25千톤을 漁獲하였다. '85年以後 다시 增加하여 '88년에 34千톤을 漁獲하였으나 '89년에 24千톤으로 다시 減少하였다.

○ 資源狀態

延繩 및 旋網漁業 대상인 다랭이類의 資源狀態를 보면 황다랭이는 大西洋과 太平洋에서 현재의 漁獲量이 最大持統的 生産量 水準에 이르고 있으며 資源狀態는 일정한 傾向을 維持하고 있다.

한편, 印度洋 황다랭이는 최근 프랑스와 스페인의 旋網船團의 進出로 漁獲量 增加를 나타내고 있으며 현재는 旋網對象 利用資源으로 바뀌어 졌다.

다랭이는 大西洋과 印度洋에서 安定된 資源水準을 이루고 있으며 太平洋에서는 深層 延繩漁業의 漁獲量이 增大될 것으로 推定되었다.

가다랭이는 3大洋에서 資源評價 分析에 필요한 資料가 不足하여 資源 診斷이 어려운 것으로 알려져 있지만 아직 開闢의 여지가 큰 것으로 推定되고 있다.

새치類와 小型 다랭이類의 資源은 評價되지 않고 있으나 小型 다랭이

類는 沿岸國들의 利用이 상당히 높은 것으로 推定되고 있다.

〈表 47〉 大洋別 다랭이 資源評價

單位：千 M/T

		大 西 洋	印 度 洋	太 平 洋
황 다랭이	漁獲量	120	112	590
	M.S.Y	117~129	-	152~175(東部)
가 다랭이	資源狀態	安定	旋網增大	安定
	漁獲量	148	146	734
가 다랭이	M.S.Y	-	-	-
	資源狀態	減少징후없음	旋網增大	開墾可能
눈 다랭이	漁獲量	44	42	149
	M.S.Y	66~74	35~42	127
새 치 류	資源狀態	安定	安定	深層주낙增大
	漁獲量	낮은 수준	과동	과동

資料：大西양다랭이 保存委員會, 全美열대다랭이委員會, 印度太平洋다랭이 開發 및 管理計劃

註：M.S.Y은 最大持續的 生産量

(나) 베링公海의 명태漁業資源

베링公海에서 韓國트름漁業의 명태 漁獲量은 '83년에 25隻에 의해 66,600톤을 漁獲하였으나 出漁隻數의 增加와 함께 漁獲量이 增加하여 '89년에는 41隻이 出漁 301,600톤을 漁獲하였다.

또한 베링公海에 있어서의 韓國, 中國, 日本, 폴란드 및 蘇聯에 의한 漁獲量은 '86년의 106萬톤에서 급격히 增加하여 '88년에 147萬톤으로 東部베링해(美國經濟水域)의 명태 漁獲量을 증가하고 있으며 베링해 全体 海域의 '88년 명태 漁獲量 395萬톤의 約 37%를 차지하였다.

<表 48>

베링해 영태의 海域別 漁獲量

單位：千톤

年 度	베링해公海 (韓,日,中,露,蘇)	中部베링해 美經濟水域	西部베링해 蘇聯經濟水域	總 計
'85	336.3	1,178.8	662	2,177.1
'86	1,061.1	1,189.4	838	3,088.5
'87	1,437.8	1,253.7	688	3,379.5
'88	1,469.7	1,228.0	1,253	3,950.7

資料：베링해 漁業에 관한 國際심포지움

(다) 오징어類資源

○ 北太平洋 빨강오징어資源

우리나라의 北太平洋 빨강오징어 漁業은 1979年 2隻의 試驗操業으로 始作하여 '83년부터 漁船과 漁獲量이 급격히 增加하여 '89年 157隻이 出漁하여 112千톤을 漁獲하였다. 北太平洋 빨강오징어 漁場은 日本의 流刺網 約 500隻 및 臺灣의 流刺網 約 100隻 漁船 등이 共同으로 利用하여 이들 3個國의 빨강오징어 漁獲量은 約 33萬톤에 達한다. 빨강오징어 資源은 충분히 開發된 狀態이며 3國(韓國, 日本, 臺灣)의 操業船 및 努力量이 增加하여 最近 漁獲量은 增加하였으나 豊度(幅當漁獲量)는 海況의 影響을 받아 한해는 높고 한해는 낮은 1年 周期의 진동을 보이고 있다.

○ 포클랜드近海 알젠티오징어 資源

우리나라의 알젠티오징어對象 채낚기漁業은 포클랜드 및 알젠티 近海의 經濟水域과 公海上에서 '84년부터 操業을 始作하여 '86年以後 漁獲量이 급격히 增加하여 '89年 113千톤으로 大幅 增加하였다. 또한 우

리나라 채낚기 漁船에 의한 資源豊度(상급조상기 1대당 漁獲量)는 '86年 76kg에서 '89年 150kg으로 增加 傾向을 보이고 있다.

4. 沿岸漁場 環境變化

人口增加와 臨海工團의 擴大, 國土의 外延의 擴大를 위한 埋立, 干拓 등으로 沿岸漁場의 縮小와 汚染物質 流入이 增加되고 있는 趨勢下에서 '89年 우리나라 沿岸漁場環境을 살펴보면 有機物質汚染이 全体的으로 늘어나는 傾向을 보였으며 特히 馬山灣, 行岩灣 등의 鎮海灣 全域과 光陽灣, 蔚山灣, 仁川沿岸水域의 汚染이 尤甚하였다. 한편 南海岸沿岸 養殖漁場의 一部에서는 主로 底質汚染에 기인하는 貧酸素水塊의 形成과 營養鹽 및 Fe, Mn 등의 溶出에 의한 赤潮發生이 促進되는 등 底質로부터의 2次 汚染現象이 나타나기도 했다.

水産資源保全地域中 海面은 鎮東灣과 駕莫灣 一部地域이 基準値 超過를 나타냈고 其他地域은 良好했다. 內水面은 全体的으로 基準値以下였으나 牙山湖, 插橋湖, 榮山湖는 富營養化가 持續되었다. 한편 全國 重要 沿岸海域의 海水 및 水産物中 重金屬, 農藥含量은 基準値以下로 良好하였다.

赤潮發生狀況을 살펴보면 全國 沿岸에서 3~9월에 걸쳐 總 35件이 發生하였으며 主 赤潮原因生物은 *Heterosigma*, *Prorocentrum*이었다. 特히 慶南 統營郡 一帶에서 *Cochlodinium*赤潮가 發生되어 養殖中인 魚類를 斃死시키기도 하였다.

여백

第 2 編

1989年度 水産施策

여백

第 1 章 沿岸 水産資源造成と 所得倍加

第 1 節 水産資源造成

1. 人工魚礁施設

人工魚礁は 水産動植物の 産卵、棲息に 適合した 環境を 造成、水産資源

(表 49)

市・道別 人工魚礁施設実績

單位：ヘクタ、百萬円

	計		'71 ~ '88		'89	
	面積	金額	面積	金額	面積	金額
計	46,298	60,673	38,317	48,883	7,981	11,790
釜 山	295	389	200	260	95	129
京 畿	732	1,204	367	432	365	772
江 原	7,380	9,367	6,256	7,825	1,124	1,542
忠 南	1,608	2,102	1,141	1,405	467	697
全 北	1,488	1,933	1,159	1,381	329	552
全 南	9,410	12,884	7,738	10,501	1,672	2,383
慶 北	7,914	10,361	6,673	8,547	1,241	1,814
慶 南	11,903	15,468	10,468	13,100	1,435	2,368
濟 州	5,568	6,965	4,315	5,432	1,253	1,533

資料：水産廳 資源造成課

을 增強시키는 것은 물론 小型機船底引網 등의 下法 操業은 防止하여 水産資源을 保護하는 效果가 있어 '71년부터 沿岸水域 10 ~ 50m 水深의 開闢適地에 施設하고 있으며 '89년에는 11,790百萬원을 投資, 7,981 畝타에 施設하였다.

2. 種苗生産·放流

沿岸水産資源의 增強을 위한 放流 및 養殖用 種苗를 安定的으로 供給하고자 '73년부터 '87년까지 水産種苗培養場 9個所를 完工한 데 이어 '88 ~ '89年度에는 慶南 南海에 海上의 中間種苗育成場 施設을 갖춘 大

<表 50>

水産種苗培養場 現況

單位：百萬元, 千마리

	施設年度	施設費	主要生産種苗	生産實績	
				'76~'88	'89
計		9,219		78,268	30,406
北濟州	'73	425	전복, 참돔	7,097	1,754
注文津	'78	303	전복, 우렁쉥이	8,589	2,490
麗川	'79	350	전복, 돔, 꽃게	8,696	3,151
迎日	'80	292	전복, 우렁쉥이	7,472	418
巨濟	'82	711	전복, 우렁쉥이, 넙치	36,187	13,636
莞島	'84	975	전복, 우렁쉥이, 돔	7,217	5,330
保寧	'85	959	전복, 조피불락, 대하	2,870	3,272
扶安	'86	955	전복, 조피불락, 대하	140	255
南濟州	'87	974	돔, 넙치	-	100
南海	'88~'89	3,275	어류, 갑각류, 패류 등	-	'90生産

資料：國立水産振興院

規模 種苗培養場 1個所를 施設한 바 있다. 國立水産振興院에서는 '89년에 전복 2,050千마리, 우렁쟁이 11,500千마리, 보리새우 및 대하 8,320千마리, 넙치, 돔, 조피볼락 836千마리 등 總 30,406千마리의 種苗를 生産, 漁村契와 民間養殖場 등에 分讓하거나 沿岸에 放流하였다.

또한 沿岸漁場 資源造成的 加速化和 資源造成的 民間參與를 유도하기 위하여 民間種苗培養場에서 生産한 水産種苗를 '86年度부터 買入, 沿岸에 放流하고 있으며, '89년에는 148百萬원을 投資하여 꽃게, 우럭, 새우 등 993萬마리를 買入, 放流하였다.

<表 51>

民間種苗 買入放流實績

單位：萬마리, 百萬원

	'86 ~ '88		'89	
	物 量	金 額	物 量	金 額
計	1,503	257	993	148
꽃 게	158	48	60	20
우 려	220	159	109	85
새 우	1,125	50	824	43

資料：水産廳 資源造成課

대구人工受精卵 放流事業은 '81년부터 主産卵場인 慶南 鎭海灣에서 慶南道 主管下에 實施하였지만 '87년부터는 水産業協同組合中央會에서 對漁民還元事業으로 實施하고 있으며 '89년에는 31百萬원을 投資하여 626百萬알의 受精卵을 放流하였다

母川에 回歸하는 習性을 利用하는 연어 人工孵化 放流事業은 '67年 慶南 密陽江에서 最初로 實施한 이후 每年 擴大實施하여 '89년에는 江

原道 南大川을 中心으로 한 主要河川에 903萬마리를 放流하였다

<表 52> 대구 人工受精卵 放流實績

單位：百萬알, 百萬원

	計	'81 ~ '87	'88	'89
放流量	15,163	12,669	1,868	626
金額	548	459	58	31

資料：水産廳 資源造成課

<表 53> 연어放流 및 採捕實績

單位：千마리

	計	'67 ~ '87	'88	'89
稚魚放流	52,383	36,005	7,350	9,028
回歸魚採捕	78	42	14	22

資料：水産廳 資源造成課

3. 內水面 稚魚放養

良質의 蛋白質을 供給하고 遊漁環境 및 國民情緒 涵養을 造成하기 爲하여 '89년에는 國庫 509百萬원을 投資하여 잉어, 떡붕어, 향어, 무지개송어 등의 稚魚 29百萬마리를 放養함으로써 '89년까지 우리나라 內水面중 稚魚放養 可能面積 81千ha의 約 86%에 該當하는 70千ha에 稚魚를 放養하였다.

이와 같이 放養한 水面의 環境保存과 水質汚染 防止를 爲하여 淸平湖, 牙山湖, 大淸湖 等 15個所의 大單位 水面과 南漢江 上流, 襄陽 南大川等 主要 江, 河川 4個所를 水産資源保全地域으로 指定, 管理하고 있다.

〈表 54〉

内水面 稚魚放養實績

單位：千마리

	水面積 (헥타)	計 劃 (A)	實 績			B/A (%)
			計 (B)	'71 ~ '88	'89	
計	81,161	811,610	695,154	666,154	29,000	85.6
大單位水面	56,544	565,440	521,188	492,188	29,000	92.1
牙 山 湖	2,800	28,000	4,603	4,603	-	16.4
昭 陽 湖	7,140	71,400	67,290	63,290	4,000	94.2
衣 岩 湖	1,378	13,780	7,060	2,060	5,000	51.2
忠 州 湖	9,700	97,000	96,999	91,299	5,700	99.9
陝 川 湖	2,500	25,000	14,300	-	14,300	57.2
完了水面 (14 個湖)	33,026	330,260	330,936	330,936	-	100.2
優良貯水池	24,617	246,170	173,966	173,966	-	70.7

資料：水産廳 資源造成課

註：放養完了水面은 淸平湖, 南陽湖, 破磣湖, 春川湖, 槐山湖, 大清湖, 禮唐湖, 插橋湖, 雲岩湖, 榮山湖, 羅州湖, 寶城湖, 安東湖, 晉陽湖임.

第 2 節 養殖漁場開發

1. 養殖漁業振興

安定生産 品種으로 設定되어 있는 김, 미역, 굴, 피조개 등은 養殖漁民의 保護를 위하여 新規漁場 開發을 原則적으로 抑制하고 既 開發된 漁場의 整備로 漁業秩序 確立과 漁場의 生産性向上에 注力할 수 있도록 하였다.

그리고 꼬막, 가무락, 바지락 등과 같이 養殖技術이 普遍化된 品種은 多數漁民이 共同參與하는 漁村契 所得源으로만 開發토록 하였고 魚類, 眞珠조개 등과 같이 蓄積된 技術과 많은 資本을 必要로 하는 品種은 開發能力을 갖춘 漁民이 開發할 수 있도록 함으로써 漁場利用의 效率性과 均衡發展을 圖謀하였다.

2. 生産基盤施設 擴充

養殖漁場의 安定的 生産과 經營合理化를 위하여 種苗培養場, 飼料貯藏庫 등 養殖生産 基盤構築事業을 每年 政府에서 積極支援 推進하고 있으며, '89年度에도 675百萬원을 投資하여 魚類 및 전복種苗培養場 3 個所와 飼料貯藏庫 4個所, 冷凍網 貯藏庫 1個所 등 總 8個所를 施設하여 安定的 經營을 圖謀하였다.

<表 55>

養殖漁場 生産基盤施設 支援實績

單位：百萬元

事業名	事業量	計	國庫	融資	地方費	自擔
計	8個所	675	142	405	52	76
전복種苗培養場	1 "	50	11	30	4	5
魚類種苗培養場	2 "	200	42	120	18	20
飼料貯藏庫	4 "	400	84	240	27	49
冷凍網貯藏庫	1 "	25	5	15	2	3

資料：水産廳 增殖課

註：支援率은 國庫21%, 融資60%, 地方費9%, 自擔10%임.

3. 養殖漁場管理 指導

養殖漁場의 效率的인 管理와 不實管理漁場의 防止를 위하여 養殖漁業 權을 品種別, 養殖時期別로 區分 每年 定期的으로 精密實態調査를 實施하여 不實管理 漁業權은 關係法規에 依據 強力措置하여 漁業秩序를 確立하여 나가고 있다.

또한, 漁場性을 勘案한 適正施設指導와 함께 主要養殖品種 主産園地에 대한 漁場豫察을 強化하여 被害豫防指導와 被害發生時 迅速한 對処로 被害를 最小化하고 있다.

漁業秩序確立 및 單位生産性 向上을 위하여 施設時期에 關係機關 合同指導團束을 實施하여 不實管理 漁場整備와 함께 不法漁業을 強力團束하여 나가는 한편, 先進示範漁場 見學行事를 開催함으로써 當該漁場의 不法, 不實管理漁場 整備措置는 勿論, 隣近漁場으로 同 漁場整備效果를 波及시켜 漁民意識 提高를 통한 漁業秩序 確立을 圖謀하고 있다.

또한, 漁場清掃 및 耕耘 등 漁場淨化事業의 持續的인 推進과 施設基準에 의한 適正施設指導로 安定生産에 의한 漁民所得増大를 圖謀하여 나가고 있다.

第 3 節 內水面漁業 開發

1. 內水面漁業 振興

大單位水面을 開發하기 위한 稚魚放養과 향어, 뱀장어, 무지개송어, 민물돔(틸라피아) 등의 經濟性 魚種 養殖에 必要한 飼料費, 燃料費 等

의 運營資金을 支援하였고 養殖魚種의 多樣化와 魚病對策 等の 養魚技術을 指導하였다.

이와 並行하여 地域特性에 맞는 養魚技術 開發과 對漁民 技術指導을 爲하여 全北道 內水面 開發試驗場을 完州郡으로 移轉施設하여 試驗機器와 裝備 等 現代施設을 갖추었고 새마을 養殖契를 育成하기 爲하여 마을 共同 養魚場 2個所와 淡水魚 加工施設 1個所를 支援하였다. 또한 大單位水面의 汚染防止를 爲하여 環境調査를 持續的으로 實施, 漁場環境 및 水質을 保全토록 하였다.

〈表 56〉 內水面漁業 支援實績

單位：個所, 百萬元

	物 量	事 業 費			
		計	補 助	融 資	自 擔
計		18,940	715	15,169	3,058
稚魚放養(百萬尾)	29	509	509	-	-
共同 養魚場 施設	2	30	21	-	9
淡水魚 加工 施設	1	50	36	-	19
內水面潛在力調査	全國	100	100	-	-
연어稚魚放流支援	2	50	50	-	-
運營費 支援	299	18,201	-	15,167	3,304
- 가 두 리	134	5,701	-	4,751	950
- 뱀 장 어	118	10,784	-	8,987	1,797
- 송 어	27	1,174	-	978	196
- 민 불 뚝	14	496	-	413	83
- 기 타	6	46	-	38	8

資料：水産廳 資源造成課

2. 內水面 潜在力 調査

'70年 內水面潜在力 調査 以後 內水面漁場의 施設과 댐, 湖 等 大單位水面의 造成 等으로 우리나라 內水面의 與件은 많은 變化를 가져왔다. 따라서 既存 生態系 및 內水面利用 等 諸般與件 變化에 따른 科學的인 基礎資料를 蒐集하여 效率的이고 計劃的인 利用方案을 樹立, 開發을 推進코자 國立水産振興院 主管으로 2個年('89 ~ '90)에 걸쳐 調査를 實施하고 調査範圍는 댐湖, 貯水池, 江, 河川 等 全內水面을 對象으로 內水面의 基礎環境, 棲息生物 狀態, 水面의 利用實態, 生産狀況, 生産潜在力, 水質汚染 與否, 其他 關聯與件 等を 綜合的으로 內水面 潜在力 調査를 實施하고 있다.

3. 技術開發 및 消費促進

內水面 試驗研究 機能을 活性化하기 위하여 國立水産振興院 傘下 3個 內水面研究所와 京畿, 江原, 忠北, 忠南, 全北, 全南, 慶北, 慶南道 內水面開發試驗場에서 地域特性에 알맞는 養魚技術을 開發 普及하고 있다. 또한 全國의 均衡있는 內水面開發을 위하여 7億원(國庫 50%지원)을 投入, 새로운 施設을 갖춰 移轉 推進한 全北道 內水面 開發試驗場의 竣工으로 現代式施設의 試驗場을 保有하게 되었다

그리고 限定된 內水面의 生産性提高와 經濟性魚種에 對한 養魚技術開發을 爲하여 高密度 循環濾過式 養魚技術開發과 슈퍼송어, 틸라피아 遺傳育種 等の 定着化를 爲한 種苗生産 및 養魚技術을 開發中에 있다.

한편 淡水魚는 水産物食糧化 및 漁民所得 增大를 爲한 量産體制를 確立하였고 國民所得의 增加로 嗜好도가 높은 活魚狀態의 需要가 漸增됨

에 따라 消費가 擴大되고 있으며, 韓國 內水面漁業協會의 淡水魚直売場 設置 運營, 料理法開發, 講習會 및 展示會 等 弘報活動을 實施, 持續的으로 淡水魚 消費促進을 기하고 있다.

4. 資源保護 및 낚시터開發

內水面 資源保護를 위하여 봄철 產卵期, 가을철 盛漁期 및 연어 등 遡河性 魚類의 遡上時期를 特別 團束期間으로 設定하여 行政機關과 有關 團體 및 內水面 資源保護 名譽 監視官으로 하이급 重點指導啓蒙 및 團束을 하는 한편, 水面別, 河川別로 團束 公務員을 指定, 責任 團束制를 실시하여 內水面 資源保護에 效率性을 提高한 計劃이다. 또한 國民生活 水準의 向上으로 遊漁 人口가 날로 增加함에 따라 遊漁人의 自覺的인 資源保護意識提高와 遵法精神을 함양하기 위하여 新聞, 傳單, 專門誌 등을 利用 年中 弘報하고 社團法人 全國낚시회聯合會에서 會員들이 健全 낚시風土造成 現地 캠페인을 실시하여 遊漁秩序를 確立토록 하였으며, 全國 內水面 潛在力調査時에도 낚시터 開發與件을 調査함으로써 보다 快適하고 다양한 낚시 與件提供을 위한 資料로 活用할 計劃이다.

第 4 節 沿岸漁場保全管理

1. 淸淨海域 및 保全水域 管理

'72.11.24 締結된 韓美貝類衛生協定과 輸出用貝類의 生産管理 및 加工品 檢査에 關한 規則과 關聯하여 指定된 淸淨海域(輸出用貝類 生産海

域)은 巨濟 - 閑山灣, 紫蘭 - 蛇梁海域, 山陽海域, 鰐莫灣海域 等 4個所에 21千ha가 指定되어 있으며, 國土利用管理法에 依據 水産動植物의 産卵 棲息環境을 保護하고 水産資源을 育成하기 위하여 指定된 水産資源 保全地域은 現在 全國에 29個所가 있으며, 이 중 海面에는 淺水灣, 靈光, 莞島, 得糧灣, 汝自灣, 鰐莫灣, 南海, 統營 I, II, 閑山灣, 鎮東灣 等 10個所에 413千ha가 指定되어 있다.

이들 海域은 水産資源의 安定的 保護育成을 위하여 매우 重要한 海域으로서 淸淨海域에 對하여는 161個 調査地點을 選定, 海水 및 貝類에 對한 細菌含量 等 衛生調査를 實施하는 한편, 水産資源保全地域에 對하여는 153個 調査地點을 選定, 一般水質汚染度 및 重金屬汚染度 調査를 實施하여 水質保全管理를 위한 基礎資料로 活用토록 하였다. 또한, 이들 海域 및 그 周邊에 對하여는 家畜放牧, 工場設置 等을 禁止토록 하고, 公有水面 埋立, 浚渫行爲를 強力히 抑制하는 한편 海洋汚染의 根本的인 原因이 되고 있는 工團廢水 및 生活下水, 糞尿, 廢棄物 等 各種 汚染物質의 海洋流入 防止를 위하여 環境處 主管 關係部處 合同의 沿岸汚染防止 綜合對策을 樹立, 各種 汚染物質 淨化處理施設을 擴充하고 汚染物質

〈表 57〉

淸淨海域 指定現況

指定番號	海 域 名	面 積	最 初 指 定 日
計	4 個 所	20,614 ha	
第 1 號	巨濟-閑山灣	2,121	'74. 7. 5
第 2 號	紫蘭-蛇梁海域	9,492	'84. 5. 23
第 3 號	山 陽 海 域	4,425	'87. 11. 25
第 4 號	鰐 莫 灣	4,576	'87. 11. 25

資料 : 水産廳 增殖課

의 海洋投棄行爲을 強力히 規制 團束해 나가는 등 關聯部처와의 緊密한 協調下에 淸淨海域 및 水産資源保全地域의 水質保全管理에 徹底를 기해 나가고 있다.

2. 漁場環境淨化

沿岸漁場の 各種 病害 및 汚染被害를 豫防하고 漁場生産性を 提高하기 위하여 '86년부터 始作한 漁場環境淨化事業은 老化된 漁場の 底質을 改善하고 海底에 放置된 各種 廢棄物을 取去하는 한편 불가사리 등 害敵生物도 除去하여 沿岸漁場の 環境改善 및 生産力 增大에 크게 寄與하고 있을 뿐만 아니라, 沿岸漁場保全管理에 對한 漁民認識 提高에도 크게 寄與하고 있어, '86년부터 '88년까지 國費 588百萬원을 支援, 沿岸漁場 35千ha를 淨化한 데 이어 '89년에는 國費 323百萬원을 支援, 12千ha의 全國 主要沿岸漁場에 對하여 漁場底質改善 및 放置된 廢棄物 取去, 害敵生物除去 등 漁場環境淨化事業을 實施하였다.

3. 赤潮被害 豫防對策

主로 여름철 高水溫期에 沿岸海域에서 頻煩하게 發生하는 赤潮로부터 有用 水産動植物의 被害豫防을 위하여 沿岸汚染防止 綜合對策의 一環으로, 赤潮發生防止 및 被害豫防對策을 樹立, 仁川, 木浦, 麗水, 忠武沿岸과 鎮海灣一圓 등 赤潮多發海域에 61個 調査地點을 選定 赤潮生物分布 및 赤潮發生環境 등을 調査하는 한편 赤潮發生이 憂慮되는 海域에는 赤潮를 早期에 発見 被害豫防對策을 推進하기 위해 漁村指導員을 機動配

置하여 赤潮發生狀況 등을 隨時로 把握하였으며, 水振 試驗船의 機動配置, 漁民赤潮監視員 指定, 關係機關合同 航空豫察 등으로 赤潮豫察 및 監視活動을 強化하였다.

또한, 京畿·仁川, 全南, 慶南 등 3個地域에 대하여는 赤潮對策委員會를 構成하여 關聯機關, 團體間 協調體制 強化로 赤潮發生防止 및 被害豫防에 徹底를 期하였다.

第 5 節 漁業秩序 確立 및 安全操業指導

1. 漁業秩序 確立

'80年代以後 沿近海漁業의 伸張率이 顯著히 鈍化되고 一部 沿近海資源의 減少 및 濫獲現象이 두드러지게 나타나고 있는 바, 이는 沿近海漁業의 外延漁場 擴大 制約, 隣接國과의 操業競爭 深化, 大單位 埋立·干拓 및 水質汚染 등에 의한 沿岸 漁場의 縮小와 漁場環境의 變化에도 原因이 있으나, 一部漁民에 의한 不法漁業이 根絶되지 않고 있음에도 그 原因이 있어, 漁民들의 自律的인 漁業秩序 確立을 誘導하고, 不法漁業 豫防 및 再發防止를 위해 小型漁船 建造現場 定期點檢 및 不法漁業者에 대한 各種 支援을 排除하고, 每月 10일 以上 道單位 合同團東 및 每 2 個月 마다 全國 一齊團東을 實施하여, 小型機船底引網, 機船桁網과 같은 상습적이고 痼疾的인 不法漁業을 優先的으로 團東하였다.

'89년의 團東實績은 前年보다 410件이 增加한 3,224件으로 海域別로는 南海岸이 2,254건으로 69.9%를 차지하고 있으며, 東海 및 西海는 30.1%인 970건으로 나타났다.

漁業別로는 小型機船底引網과 機船桁網이 1,795건으로 55.7%를 차지하고 있다.

또한 이와같은 指導團束強化 및 團束方法의 改善만으로는 不法漁業이 根絶될 수 없음을 勘案, 指導 團束 機能을 補強하기 위하여 全國 沿岸市·郡에 指導團束專擔係 新設을 추진하였다.

〈表 58〉 漁業指導船現況

	計	분 계 별			
		10 ~ 49	50 ~ 150	100 ~ 500	1,300
所 屬	45隻	31	7	5	2
水産廳	12	1	4	5	2
市·道	33	30	3	-	-

資料：水産廳 指導課

〈表 59〉 不法漁業 團束實績

單位：件

	'79	'84	'88	'89
計	2,861	3,033	2,814	3,224
大·中型機底	44	55	120	112
小型機底	1,476	1,539	1,193	1,577
機船桁網	412	451	234	218
潛水器	61	146	113	95
船引網	13	16	30	28
流刺網	161	191	109	109
其他	694	635	1,015	1,085

資料：水産廳 指導課

2. 安全操業指導

海上에서의 安全操業指導를 위하여 東海大和堆 오징어 盛漁期(6.15 ~ 12.31), 黃海·東中國海 병어 盛漁期(3.1~7.31), 西海 홍어 盛漁期(10.1 ~ 다음해 4.30)에는 500톤급 以上 大型指導船을 配置하여 漁撈保護 및 操業紛爭 豫防指導를 기하고, 특히 遠海漁場에는 1,300톤급의 福社母船을 出動시켜 操業漁船에 油類, 食水, 機關附屬品 등의 船用品을 供給하고 應急患者에 대한 治療도 실시하였다.

沿近海 出漁船의 安全操業을 위하여 全國 主要港口 39個所에 所在하고 있는 船舶出入港 申告機關인 統制所 및 合同申告所에 水協의 漁船 安全點檢要員 96명을 配置하여 出漁船에 대한 出漁登錄, 漁船團 編成을 指導하고 無電機, 海圖 등 重要 航海裝備와 各種 具備書類를 確認 點檢함으로써 漁船이 航海 또는 操業中 發生할지 모르는 各種 海難事故 및 越線 被拉事故를 미연에 방지토록 하고 있으며 漁民의 出入港 申告에 따른 便益增進을 위하여 城山浦申告所를 合同申告所로 昇格 指定하였다.

漁船의 安全操業을 위하여 地區別 또는 業種別 水協 主管으로 船主, 船長, 機關長, 通信長 등 9,437명을 對象으로 政府施策, 安保教育, 職務技術等 安全操業에 관하여 年1회 4時間을 實施하였고 盛漁期를 맞아 必要時는 特別教育을 實施하였다.

3. 漁業無線局 運營

漁業無線局은 漁民所得 增大 支援通信과 安全操業指導 通信을 遂行하면서 海上緊急 報告事項의 關係機關 通報 등 海上安保에도 一翼을 擔當

하고 있다.

漁業生産 活動의 支援 및 安全操業 確保를 爲하여 漁場別 氣象豫報를 毎日 18回씩 實施하고, 主要 漁港의 魚種別 委販時勢와 海·漁況豫報를 實施하고 있다. 또한 漁船이 事故가 發生하였을 때에는 救助機關에 迅速히 通報함과 同時에 事故場所 隣近에 있는 操業漁船에 알려 相互 救助케 하는 등 海難 協調體制를 維持하고 있다.

漁民의 便宜 圖謀와 無電機 運用經費를 줄이기 爲하여 36個 漁業無線局에서 漁船 通信裝備 5,203臺를 無料로 修理 奉仕하였으며, 落島·僻地에 船籍을 두고 있는 1,752隻의 船舶無線局 檢査를 現地에서 執行함으로써 漁民이 便利한 場所와 時間에 檢査를 받게 하여 操業에 支障이 없도록 하는 한편, 27MHz帶 SSB無電機를 設置한 10年未滿 小型漁船 989隻에 竣工檢査 및 器機設置 確認書 發給으로 檢査手數料 負擔을 免除케 하였고, 遠距離 漁場과의 通信 疏通難 打開을 爲하여 電波通達이 良好한 短波帶(4 ~ 8MHz)無電機 設置를 漁民들에게 積極 勸奨한 結果 685隻이 同 無電機를 設置함으로써, 東中國海, 大和堆漁場에서도 船籍地 漁業無線局과 通信疏通이 圓滑하게 됨에 따라, 短波帶 無電機 設置 漁船이 繼續 增加하는 趨勢에 있다.

漁業無線局的 施設 現代化를 年次事業으로 推進하고 있는 바, 1989年度에는 國庫補助金 702百萬원을 投入하여 江華 無線測位局 施設을 最新 裝備로 交替하고, 仁川 漁業無線局에 西海岸 無線測位 遠隔調整 裝置를 設置, 仁川에서 西海岸 無線測位를 直接 處理할 수 있게 하였으며, 또한 三千浦漁業無線局的 送·受信所를 分離 施設하고 8個 漁業無線局的 通信 裝備 15臺를 交替하여 圓滑한 通信疏通과 漁民 便宜를 圖謀하고 安全操業指導通信體系를 補強하였다.

第 6 節 漁業外 所得源 開發

1. 沿岸農工地區의 誘致

農漁村 地域에 工業 및 서비스産業을 誘致하여 農漁村所得源 開發을 促進함으로써 農漁民의 所得을 增大하고 農漁村所得構造를 高度化하여 農漁村의 均衡있는 發展을 圖謀하기 위하여 郡의 地域중 農漁業을 主産業으로 하는 地域과 一部の 市의 地域중 管轄 市長이 中央農漁村所得源 開發委員會의 事前審議를 거쳐서 農工地區를 指定할 수 있도록 하기 위하여 1983.12.31 農漁村所得源開發促進法을 制定, 公布하였다.

農工地區 入住企業에게는 入住契約이 締結되면 市中銀行, 農協 等에서 一定額의 施設 및 運轉資金이 支援되고 大都市에서 農工地區로 移轉하는 境遇에는 地方 移轉準備金の 損金算入 等を 認定하여 租稅減免의 惠澤을 주고 있다.

그 結果 政府의 積極的인 誘致努力에 의하여 '89.12.31 現在の 農工地區 指定實績은 170個所에 이르고 있으며 그중 沿岸市·郡에는 總 170個

〈表 60〉 農工地區 指定現況

區 分	地 區 (個所)	面 積 (千坪)	入 住 工 場 (個所)	雇 傭 人 員 (千名)
全 國 指 定 (A)	170	7,439	2,051	288
沿 岸 地 域 (B)	47	2,024	522	69
比 率 (B/A)	27.6%	27.2%	25.5%	24.0%

資料 : 水産廳 協同組合課

註 : 入住工場 및 雇傭人口는 稼動時 推定分 包含

所の 27.6%인 17個所가 指定되었다.

특히 沿岸에 位置한 農工地區에는 水産業 關聯産業의 積極的인 誘致로 漁村의 遊休勞動力에 對한 就業機會를 創出하고 無公害 工場의 入駐와 共同汚廢水處理場 等 公害防止施設을 設置토록 하여 水産資源의 保護와 漁村의 快適한 環境을 保全토록 하고 있다.

2. 漁村副業施設 擴大

漁村에는 副業에 利用할 수 있는 水産資源, 農業資源, 畜産資源 等の 未開發資源과 婦女子, 靑少年, 潛在失業者와 같은 遊休勞動力이 많이 常住하고 있다.

政府는 이러한 漁村賦存資源을 效率的으로 活用하여 漁家副業 所得源으로 開發함으로써 漁民所得 增大와 漁民便益을 提高하여 漁村經濟를 活性化하고 餘暇로 發生하는 頹廢風潮를 一掃하며 窮極的으로는 福祉漁村 建設을 앞당기기 위하여 努力하고 있다.

그동안 漁村副業開發事業의 重點을 副業基盤施設의 擴充에 두고 推進한 結果 '84~'89까지 國庫補助 234百萬원, 財政融資 313百萬원, 自擔 409百萬원 總 956百萬원을 들여 漁村契에 共同作業場 20個所, 綜合處理場 3個所, 氷域加工施設 4個所 등 總 27個所를 施設하였다.

3. 漁村觀光資源 開發

우리나라는 꾸준한 經濟開發政策의 成功으로 國民生活 與件이 好轉됨에 따라 國民들의 餘暇 生活 形態가 急速히 變化되어 가고 있다.

'70年代에는 住居地에서 가까운 文化施設, 名山大刹, 山間溪谷 等の

大衆의 觀光地에서 消日하거나 休息하는 形態이었으나 '80年代에는 먼 거리에 所在한 새롭고 조용한 小規模 觀光地나 海岸·島嶼 等の 漁村에서 스포츠, 레크레이션 등 여가를 보내는 形態로 變化되어 가고 있다.

政府는 이러한 變化趨勢를 好機로 삼아 늘어나는 都市民의 레저需要를 漁村의 快適한 生活空間으로 誘致하여 國民 情緒를 涵養함은 勿論 나아가서 漁村 遊休勞動力的 雇傭機會 創出과 漁業外所得 增大를 圖謀함으로써 漁民들의 離村을 豫防하고 福祉漁村建設을 促進하기 위하여 漁村觀光開發事業 計劃을 樹立, '90년부터 施行하기 위한 投資 環境을 造成하였다.

4. 地域 特化 水産物開發

우리나라 沿近海에는 水産資源의 種類가 豊富하여 總 198種('89水産統計年報)이 漁獲, 採取되고 있다. 그 중에서 特定沿岸에서만 多量 漁獲採取되고 그 맛이 우리나라 國民 食性に 適合하여 오랜 慣行上 國民들이 選好하는 品種이 많이 있다.

특히 鬱陵島의 오징어, 扶安의 김, 濟州道의 옥돔, 珍島의 돌미역, 看月島의 어리굴젓 등은 그 地域을 象徵하는 品種으로 認識되어 가고 있다.

政府는 이러한 品種을 地域特産品으로 選定 開發하여 國內外的 觀光客과 大都市의 大量 消費處, 郵便販売 等を 통하여 味食家들에게 販売함으로써 高價販売, 새로운 雇傭機會의 創出, 漁村經濟의 活性化, 漁民所得의 增大, 觀光客의 誘致 및 國民保健에 寄與하기 위하여 地域 特化 水産物 開發政策을 樹立하고 '91년부터 施行하기 위하여 投資環境을 造成하고 있다.

第 2 章 沿近海漁業의 構造調整

第 1 節 漁業 構造調整

漁業 構造調整은 沿近海漁業資源의 限界性에 의한 漁船의 單位生産量의 低下와 漁業人口의 減少, 市場開放 등 漁業與件과 民主化·地方化·國際化 등 經濟社會 發展에 副應한 水産發展段階에 맞는 基本秩序를 再定立하여 國民 食糧資源인 水産物을 安定的으로 供給함은 물론, 漁業의 競爭力을 높이고 能率의인 産業으로 發展시키는 데 그 目的을 두고 推進하고 있다.

그 推進方向으로서 資源造成의 擴大, 기르는 漁業의 育成, 漁船裝備의 現代化 및 漁業專門人力 開發 등 水産施策으로 既推進中인 事業은 繼續 推進하고 이와 並行하여 沿近海 漁業構造調整을 통한 資源水準에 適合한 漁船勢力을 維持할 수 있도록 囊長網 등 細網을 使用하여 資源保護에 有害한 漁業, 漁獲強度가 큰 漁業, 不實漁業을 中心으로 漁船勢力을 減縮하는 반면, 漁業別 適正漁船勢力 範圍內에서 個別漁船은 競爭力과 經濟性이 保障되는 適正規模로 漁船代替建造를 誘導하고 人力減少에 對 備한 漁業의 省力化를 積極 推進하고자 '89年度에는 漁業構造調整을 体

系的이고 꾸준하게 推進하기 위한 制度마련에 力點을 두고 農漁村發展 特別措置法에 漁業構造調整을 위한 支援根據을 마련하는 한편, 關係部 處 및 水産各界에 漁業構造調整의 必要性 등 認識을 擴散시키는 데 중점적인 努力을 경주하였다.

第 2 節 漁業制度의 整備·補完

1. 水産業法 改正

우리나라 水産業은 그동안 對內·外的인 어려운 與件속에도 꾸준히 努力하여 漁業生産에 있어 눈부신 發展을 이룩하였다.

그러나, 근년들어 新海洋秩序의 定着에 따른 遠洋漁業與件 不利와 埋立·干拓과 産業化 및 都市化의 進展에 따른 沿岸漁場 喪失과 漁場環境의 變化, 이에 따른 補償이 社會問題化되고 있고 漁具漁法の 発達과 漁船勢力의 增大에 따른 漁業實態와 資源의 變動, 市場開放에 따른 漁業競爭力問題 등 漁業與件의 變化에 따라 직면하고 있는 當面課題가 山積하고 있어, 이에 能動的으로 對処하고 向後 漁業發展에 副應하기 위하여 새로운 制度의 發展이 要求되고 있다.

따라서 政府에서는 '84년부터 水産業法改正資料를 위한 基礎資料를 蒐集하여 '86년에는 漁民團體, 學界, 元老水産人 등 各界人士 및 專門家의 참여하에 改正資料에 대한 用役調査를 實施하고 '88년에는 同 調査結果를 基礎로 한 改正試案에 대하여 8箇市·道 및 中央公聽會를 開催하여 各界各層의 意見을 取斂하였으며, '89年度에는 該간의 檢討結果 및 取斂된 意見을 綜合하여 改正案에 反映, 關係部處와 協議를 거쳐 立法

豫告를 實施, 최종적으로 政府案을 確定, 國會에 上程하였으며 이 개정 법안은 90. 7. 14 제 150회 임시국회에서 議決, 90. 8. 1 公布되었다.

금번의 水産業法 改正에 있어 그 基本方向은,

- 現行 水産業法이 1953年 制定된 이래 12회에 걸쳐 部分的으로 改正, 施行되고 있어 漁業與件의 變化에 따라 2년간 施行過程에서 나타난 不合理한 要素와 制度上的 未備點을 現實에 맞게 改善하였고,
- 漁業間의 調整, 資源管理 및 漁場利用制度의 改善으로 漁業部門間, 漁民階層間의 均衡發展과 合理的인 資源利用을 圖謀하는 한편,
- 民主化, 地方化 등 사회발전 趨勢에 맞추어 水産制度 및 施策運營에 있어 漁民의 參與를 擴大하는 등 水産調整委員會 機能을 劃期的으로 強化하여 漁業 民主化의 根本機構로 育成하고,
- 國際化 및 産業化 등 經濟社會發展에 부응하여 漁業의 被害補償制度를 補完, 發展시키는 등

- 漁業의 與件變化와 水産發展段階에 맞는 漁業制度를 確立하여 健全하고 均衡인 漁業發展과 水産物의 經濟的, 安定的 供給의 基盤을 構築하기 위한 기틀 마련에 力點을 두었으며,

그 主要 改正內容으로는,

- 陸上의 私有地에 人工的으로 造成한 海水面에서 養殖하는 漁業은 免許漁業에서 許可漁業으로, 小規模의 種苗生産漁業은 許可漁業에서 申告漁業으로 緩和 調整하고,
- 漁業免許의 優先順位를 改善하여 技術이 普及되고 공동관리가 容易한 漁業은 漁村契에 優先的으로 免許하도록 하고, 새로운 기술과 많은 資本이 所要되는 漁業은 經驗이 있는 個人에게도 繼續開發할 수 있도록 하며,
- 不法漁業을 하여 漁業免許 또는 許可가 取消된 경우 一定期間 漁

業免許 또는 許可를 할 수 없도록 하고, 不法漁業施設을 代執行節次에 따라 撤去할 수 있도록 하며,

- 漁村契는 共同漁場에 有料낙시터를 指定받아 漁民所得源으로 開發運營할 수 있도록 하고, 水産廳長은 水産資源의 繁殖保護 등을 위하여 필요한 境遇 一部 水面을 낙시制限區域으로 設定할 수 있도록 하였으며,
- 水産資源의 增殖保護 등 公익상 필요에 의하여 漁業을 制限하거나 取消할 경우 지금까지는 免許漁業에 限하여 損失을 補償하도록 하던 것을 許可漁業과 申告漁業에 대하여도 補償하도록 하였다.

2. 水産資源保護令등 關係法令

母법인 水産業法이 全面改正됨에 따라 관련 附屬法令도 당연히 改正된 水産業法을 母法으로 하여 整備가 뒤따라야 할 것이며, 여기에서 優先 改正되어야 할 關聯下位法令을 區分하여 보면,

첫째, 大統領令으로 되어 있는 水産業法施行令, 水産資源保護令, 漁業登錄令이 있으며 둘째, 部令으로는 어업면허 및 어장관리에 관한 규칙, 어업허가에 관한 규칙, 수산동식물 보호수면 관리규칙, 행정처분의 기준과 절차에 관한 규칙등이 整備對象의 法令으로 들 수 있다.

現行 水産資源保護令上 漁業規制는 網目制限을 包含한 漁具漁法制限, 漁期 및 漁場制限, 採捕物禁止體長 制限, 漁獲努力量 制限 등을 그 主要內容으로 하고 있으나, 各界各層으로부터 이의 補完 또는 改正을 要望한 建議가 있어 國立水産振興院으로 하여금 타당성 여부를 調査하도록 指示한 바 있어 綜合적으로 檢討가 필요한 狀況에 있으며, 今後 檢討方向으로는 漁場環境의 變化 등 現實與件을 勘案한 水産資源의 保護管理,

漁業紛爭調整, 不法漁業의 척결 등에 주안점을 두고 沿近海漁民의 漁業經營 및 福祉向上에 도움을 줄 수 있는 漁業制度 確立을 위하여 水産業法 改正과 並行하여 전반에 걸쳐 一括 整備할 計劃으로 있다.

3. 漁業許可에 관한 規則改正

漁業許可의 申請節次와 操業區域 및 操業方法을 改善함으로써 漁民의 便宜를 圖謀하고 操業의 安全度を 높여 어민을 보호하기 위하여 '89.1.30일자로 漁業許可에 관한 規則을 改正, 公布後 40일이 경과한 날로부터 시행토록 하였으며 그 主要骨子は 다음과 같다.

첫째, 현재에는 定數가 있는 모든 어업에 대하여 再許可 신청시에는 당초의 허가기관에 신청하고 있으나 앞으로는 시·도별로 定數가 있거나 操業區域이 정해진 어업외의 어업에 대해서는 漁民便宜를 위하여 신청인의 住所地 또는 操業根據地 漁業許可官廳에 再許可를 신청토록 하였으며,

둘째, 1척의 어선에 2인이상이 따로 어업허가를 받았거나 다른 어선에 대한 複數의 어업허가가 다른 어선에 分離 허가되는 일이 발생하지 않도록 그 確認節次를 정하였고

셋째, 遠洋獨航式 참치延繩에 대하여는 操業區域 制限을 철폐하여 태평양, 인도양, 대서양을 單一 操業區域으로 하고 기타 遠洋漁業에 대하여도 필요시에는 操業區域을 調整할 수 있도록 하였으며,

넷째, 行艇 潛水器漁業의 操業方法인 頭口式외에 개량된 마스크식을 추가하여 선택적으로 사용할 수 있도록 함으로써 潛水夫의 操業便宜와 安全度を 提高하였다.

第 3 章 遠洋漁場의 安定的 確保

第1節 水産外交 強化

1. 漁業協定締結 및 更新

'89年度에는 新規 兩國間 漁業協定 締結은 없었으나 韓·美漁業協定 延長('89. 7. 1 ~ '91. 7. 1)과 佛蘭西, 키리바티, 쿡諸島, 투발루 등과 附屬約定을 更新하여 入漁期間 등을 延長하였다. 또한 漁業協定の 圓滑

〈表 61〉

附屬約定 更新 現況

	日字 및 場所	主 要 內 容		
		入 漁 期 間	許 可 隻 數	入 漁 料
불란서	88.12.22 (파리)	89. 1.20 ~ 90. 1.19	139隻	3,120千Fr
키리바티	89. 1.27 (감)	89. 2.12 ~ 90. 2.11	85隻	660千\$
투발루	89. 6.30 (슈마)	89. 7. 1 ~ 90. 6.30	100隻	140千\$
쿡	89. 5.20 (웰링톤)	89. 6. 1 ~ 90. 5.31	63隻	138千\$

資料 : 水産廳 國際協力擔當室

한 수행과 운용 및 遠洋漁場의 安定的 確保, 漁業協力 등을 爲하여 美國, 호주, 뉴질랜드, 蘇聯에 漁業交涉團을 派遣하였으며, 日本, 美國 등 8 個國과 兩國間 會議을 16 回 開催하고, FAO 水產委員會 등 國際會議에 11 回 參席하였으며, 兩國間 漁業協力 增進을 爲해서 바누아투 農水産長官, 소말리아 漁業資源省次官, 모로코 水産海運次官 등 水産關係 有力人士를 招請하여 兩國間 漁業協力方案을 協議하였다.

2. 漁獲쿼타 確保

가. 美國

우리나라는 美國의 200海里 排他的 經濟水城(Exclusive Economic Zone)과 北太平洋 公海에서 42隻의 大型 트롤漁船이 操業하여 遠洋漁業 總生産量의 約 36.4%를 生産하고 있다. 美國水城에서의 操業은 '77年 美國의 200海里 經濟水城 宣布後 韓·美漁業協定이 締結되어 쿼타操業으로 轉換한 以來 '84년까지 漁獲쿼타는 每年 增加되어 왔으나, 그 以後 美國은 水産資源의 自國化政策에 따라 '87년에 我國의 主 操業海域인 北太平洋 水産委員會 管轄 水城(베링해, 알류우선, 알라스카灣)의 境遇 쿼타 漁獲量이 3千톤으로 減少한 後, '88年 以後에는 直接 쿼타 割當이 終想 되었다.

한편, 美國은 操業國들의 業界와 美國業界間에 共同漁業事業 契約에 依據 올림픽方式(Olympic system)으로 事業을 遂行하고 있으며 每年 共同事業物量을 減縮시키고 있다. 따라서 美國의 直接쿼타 終想 및 共同漁業事業 減少趨勢에 對應하여 公海操業과 韓·蘇 共同事業을 積極 推進하고 있으며, 특히 共同事業을 遂行함에 있어서 從前에는 同 事業에 의한 生産物量을 內國 物品으로 看做하여 搬入되던 것이 '87. 5. 1부터는 關稅

를 賦課한 바 있었으나, 同 事業의 漁獲物이 國民經濟에 미치는 影響을 勘案하여 '89. 1. 1부터는 關稅를 免除하고 防衛稅만 適用하고 있다.

<表 62>

直接쿼타 및 共同漁業實績

單位：톤

	直 接 쿼 타				共 同 漁 業	
	쿼 타 量	消 盡 量	消 盡 率 (%)	隻 數	實 績	隻 數
'83	324,690	272,568	83.9	28	57,323	15
'84	329,757	268,432	81.4	27	98,166	22
'85	250,219	221,294	88.4	27	176,767	28
'86	116,169	98,596	84.9	28	375,570	30
'87	32,400	3,182	9.8	27	447,840	31
'88	-	-	-	-	359,449	31
'89	-	-	-	-	142,127	32

資料：水産廳 遠洋生産擔當室

나. 뉴질랜드

'77. 3 美·蘇의 200海里 經濟水域 宣布로 一部 트롤漁船이 뉴질랜드 近海로 移動 操業하였으나 '77年 뉴질랜드도 200海里 經濟水域을 宣布함에 따라 '78. 3 韓·뉴漁業協定을 締結하고 쿼타操業을 始作하였다.

그러나 最近 뉴질랜드 政府는 自國漁民 保護 및 漁業資源管理 側面을 考慮하여 自國民에 대한 쿼타는 擴大하고 對外國 쿼타 割當을 漸次 줄여 나가는 同時에 쿼타 配定도 漁獲不良 水域으로 集中 配定하여 쿼타 消盡實績이 不振하였다.

'89/'90 漁期에는 管理魚種의 擴大와 채낚기 쿼타 減縮으로 總 378톤

의 트롤쿼타를 割當받았으며 오징어채낚기 쿼타는 全無하여 트롤쿼타船 2隻이 操業에 임하고 있으나 쿼타操業이 어려워 個人入漁를 並行하여 操業하고 있으며 '90/'91 漁期(90.10.1 ~ 91.9.30)에는 쿼타 割當이 終熄될 展望으로 있어 個人入漁 및 合作投資事業을 積極 推進해 나갈 計劃이다.

〈表 63〉 年度別 뉴질랜드 쿼타 消費實績

單位：톤

	業 種 別	쿼 타 量	消 費 量	消 費 率 (%)	出 漁 隻 數
'83/84 漁期	트롤	20,985	12,930	62	6
	오징어채낚기	6척	1,985		6
'84/85 漁期	트롤	20,540	14,886	72	6
	오징어채낚기	6척	1,066	-	6
'85/86 漁期	트롤	8,390	6,103	73	5
	오징어채낚기	1,500	1,092	73	6
'86/87 漁期	트롤	8,662	4,060	47	4
	오징어채낚기	1,500	1,408	94	6
'87/88 漁期	트롤	5,781	3,053	53	4
	오징어채낚기	1,325	1,324	100	3
'88/89 漁期	트롤	2,916	1,802	62	2
	오징어채낚기	807	807	100	3

資料：水産廳 遠洋生産擔當室

3. 對外 技術協力

政府의 開發途上國 技術供與計劃에 따라 20個國으로부터 水産分野 研修生 33名을 招請, 漁撈技術, 船舶機關, 水産一般 등 訓練을 實施하였다.

地域別로는 亞細亞 14名, 아프리카 11名, 中南美 4名, 大洋洲 4名이다.

〈表 64〉 對外 技術 協力 現況

	'68 ~ '87	'88	'89	計
研修生招請訓練(名)	427	43	33	503
專門家派遣(國)	26	-	-	26

資料 : 水産廳 國際協力擔當室

4. 北太平洋 오징어流刺網漁業

北太平洋 오징어流刺網漁業은 '79年 試驗操業한 이래 出漁隻數 및 生産量이 每年 增加하여 '89年度에는 157隻이 出漁하여 112千톤 生産으로 成長하였으나 世界 各國에서의 流刺網漁業 規制 趨勢가 擴散되고 있다.

美國은 自國起源 遡河性 魚種 및 海洋哺乳動物의 保護를 위하여 '87. 12.29 流刺網漁業의 影響에 관한 監視評價 및 規制에 관한 法을 制定, 寔效시키고 同法에 따라 北太平洋 오징어流刺網操業에 관하여 美國과의 合意를 促求하면서 未合意國家에 대하여는 水産物 輸入 禁止措置를 警告하였다.

우리政府는 '87年 이래 5회에 걸친 交渉끝에 美國과의 水産物 輸出에 대한 摩擦을 피하고 오징어流刺網漁業의 漁場을 確保하고 公海上의 流刺網漁業 規制趨勢에 積極 對應하는 立場에서 '89. 9. 8 流刺網漁業에 관한 規制에 合意하였다.

合意內容을 簡略하게 記述하면 1) 漁船 訪問確認은 相互主義에 따라

原則적으로 共同實施 2) 韓·美 各 13名씩 科學者 漁船 觀察 3) 流刺網 漁船 및 運搬船에 自動位置発信器 設置 4) 月別, 經緯度別 操業 規制水域 設定 等이다.

앞으로 北太平洋 오징어流刺網 漁場의 持續的인 確保를 위하여 韓·美 合意事項을 徹底히 遵守하고 科學的 統計資料를 確保하여 規制에 對應 하는 한편, 오징어 流刺網의 漁具漁法 改善研究과 채낚기 漁法의 效率化 試驗을 積極 推進할 것이다. 또한 FAO 科學者會議에 積極 參與하여 科學的 根據에 의한 漁業規制가 될 수 있도록 協調할 것이다.

第2節 新漁場 開發推進

1. 新漁場, 新漁法 開發

世界 沿岸國들의 200海里 經濟水域 宣布와 漁業資源 自國化 政策 등 各國의 漁業規制에 對處한 海外漁場의 安定的 確保를 위하여 沿岸國들 과의 漁業協力과 公海漁場 및 新漁法에 依한 漁場 開發을 積極 推進하 고 있다.

'89年 漁業協力에 의한 漁場開發은 미얀마漁場에 트롤漁船 7個社 9 隻, 모잠비크漁場에 1個社 1隻이 出漁하여 操業한 바 있으며, 公海漁場 은 北大西洋水域에 3個社 6隻이 進出하고 있다. 新漁法에 의한 漁場開 發은 臺灣東部 公海 및 뉴질랜드 漁場에 박장어붕발 漁船 2個社 3隻과 참치 流刺網漁船 2個社 3隻을 印度洋 및 太平洋水域에 投入, 試驗操業 을 實施한 바 있다.

2. 合作事業 推進

遠洋漁業은 世界 沿岸國들이 200海里 經濟水域 宣布 등으로 漁業資源 自國化 政策에 따라 外國漁船에 대한 單純 入漁禁止 및 規制 團束을 強化하고 있으며 특히 美國의 경우는 北太平洋의 直接 漁獲割當量의 終熄 및 共同事業物量이 大幅 減少하는 등 사실상 外國漁船의 入漁가 不可한 實情에 있다.

따라서 長期的으로 海外資源을 確保하기 위하여는 대부분의 沿岸國들이 獎勵하고 있는 海外合作事業이 不可避한 實情이다. 合作事業을 통한 漁場進出은 '89.12末 現在 美國 等 14個國에 37個業체가 40個의 合作社를 設立하여 進出하고 있으나, 이들중 水産物 國內 輸入을 目的으로 海外資源開發事業法에 의한 許可를 받은 業체는 6個國(美國, 칠레, 아르헨티나, 뉴지, 인도네시아, 中國)에 10個 業체가 進出하고 있으며, 이들 業체가 '89年度 中 國內에 輸入한 量은 8,888톤이며 主要 魚種은 오징어, 연육, 전갱이 등이다.

3. 南水洋漁場 開發

地球上의 마지막 資源 寶庫라고 일컬어지는 南水洋에는 未來의 食糧 資源인 Krill이 5~10億톤 潜在해 있는 것으로 推定되고 있으며 年間 漁獲 可能量은 5~7千萬톤으로 評價되고 있다.

이에 따라 Krill 資源의 確保와 南水洋·南極大陸에 대한 分割 및 領有 權 主張에 對備하여 우리나라는 '78년부터 '87년까지 7次에 걸친 試驗 調查事業을 實施하여 漁獲 實績을 蓄積하고 海洋 環境을 科學的으로 調

査한 結果, 南氷洋 海況과 漁場性이 把握되었고 漁具·漁法 및 操業技術이 開發되어 進出 基盤을 確保하였으며 國際水産機構 및 研究機關에 調査 實績을 提出하는 等 研究 開發에 多角度로 努力한 結果 '85.11.19 南極海洋生物保存委員會에 加入하였으며, '86.11.28에는 南極條約에 加入하여 國際的으로 南氷洋 進出國이 되었으며 南極 水産資源管理에 參與하게 되었다.

이와 같은 南氷洋에 대한 研究 開發 實績을 土臺로 '88년부터는 政府 補助事業에서 出漁에 所要되는 資金의 一部를 融資해 주는 民間 商業漁業으로 轉換하였으며 '89/'90 漁期에는 8億원을 融資, 2,000톤급 트롤 漁船 2隻을 出漁시켜 4,583톤의 Krill을 漁獲하는 成果를 거둠으로써 民間 商業漁業이 本軌道에 오르게 되었다.

따라서 該간의 事業 實績과 成果를 土臺로 南氷洋 進出國으로서의 位置를 確固히 함과 同時에 Krill 資源의 利用度를 提高하기 위하여 今後 에도 每年 持續的으로 財政 融資에 의한 商業 漁業으로 出漁시킬 計劃 이다.

4. 特殊地域 漁場進出

未修交 共產圈 國家와의 漁業協力は 새로운 漁場開發과 이들 國家와 의 關係改善을 통한 漁業協定 締結로 正常的인 漁業協力 關係 樹立을 目標로 積極的으로 推進하고 있다. 蘇聯水域은 처음으로 '89年度에 共同漁撈事業으로 5個社 7隻이 進出하였으며 直接 漁撈事業으로 오징어채낚기 漁船 5隻이 沿海州 近海에 出漁함으로써 우리나라 漁船이 蘇聯 水域에 서 直接 操業할 수 있는 계기를 마련하였으며 또한 北洋出漁 大型 트롤

船의 代替 漁場開發 및 형태需要의 새로운 供給源을 確保할 수 있다는 點에서 큰 成果를 가져 왔다고 볼 수 있다.

이밖에 中國水域에 4個社 16隻이 操業중에 있으며 베트남 水域에 1個社 2隻이 出漁하여 操業한 바 있다.

第 3 節 遠洋漁業 育成指導

1. 經營改善

遠洋漁業의 生産에 直接的인 影響을 미치는 沿岸國의 漁業資源 自國化政策 深化 및 國際水産機構의 資源管理 擴大 等에 對処하여 安定的인 漁場確保를 위한 既存 漁場의 持統的인 確保와 新漁場 開發 및 特殊地域漁場 進出을 積極 推進하고 아울러 新漁法을 開發하여 遠洋漁業의 持統的인 成長을 圖謀하였다.

適正漁船勢力 維持와 老朽漁船 代替 等 漁船의 圓滑한 供給과 漁船員의 福祉增進을 통한 操業能率 向上으로 生産性を 높이고 아울러 消費者의 嗜好에 맞는 水産加工品の 開發 擴大와 品質을 高級化하여 內需基盤을 더욱 擴大하는 한편 內實있는 企業經營으로 財務構造를 改善하여 遠洋漁業 與件變化에 적응력을 確保하도록 指導하고 '90년에는 遠洋出漁資金을 810億원으로 擴大 支援할 것이다.

2. 勞使協調와 安全操業

船員処遇改善을 위하여 固定給은 물론 歩合金(生産手當) 및 主·副食

費를 引上하였다.

引上 内容을 살펴보면 下級 船員의 最低 月固定給은 '88年度 260千원에서 '89年度 315千원으로 引上되었고 歩合金(生産手當)은 従前보다 8%引上되었으며 主·副食費도 '88年度 3,500원에서 '89年度에는 4,300원으로 引上되었다.

또한 従前에는 一部業体에서만 支給하던 船員 子女學費補助도 '89年度부터는 全業種, 全業体에서 2年以上 勤続한 船員子女(中·高中生 1人)에게 義務의으로 支給되도록 하였다.

勤勞環境 改善側面에서는 釜山港 및 海外基地에 碇泊中인 56隻의 遠洋 漁船을 訪問, 船內居住 衛生施設 및 賃金 支給實態 등을 點檢하여 導出된 問題點 및 改善할 事項을 該當業体에 通報, 補完 및 是正토록 措置하였다.

그리고 船員 厚生福祉增進을 위하여 사모아, 라스판마스, 파라마리보 등의 海外船員會館을 船員福祉 爲主로 運營하여 10,952名の 船員이 利用하였으며, 船員家族 激勵 및 士氣振作을 위하여 5.21 釜山 대청公園에서 遠洋家族잔치를 開催, 白日場 및 寫生大會 入賞者에게 獎學金 支給은 물론 參加者 全員에게 準備한 膳物을 提供하였으며, 12.1 釜山水產大學校 講堂에서 遠洋 船員家族 1千餘名을 招請하여 慰安會를 開催하고 模範船員家族 表彰 및 紀念品을 증정하였다.

沿岸國에의 被拉 및 船員事故 防止를 위하여 國立水産振興院(船長 教育), 國立水産技術訓練所(素養教育), 韓國漁業技術訓練所(安全教育), 海外基地教育 및 業体 自体 教育을 통하여 20,674名の 遠洋漁船員에 대하여 沿岸國 規制動向, 船員法 解說, 操業中安全守則 등의 教育을 實施하였으며, 특히 被拉事故가 잦은 西部 아프리카水域 出漁船舶의 入港이 빈번한 駐 라스판마스 水産官에게 漁業監督權限을 賦與하여 現地 入港

船員에 대한 沿岸國 規制水域 侵犯防止 等 安全操業 指導에 心血을 기울이고 있으며, 船舶點檢 徹底로 海難事故를 未然에 防止하기 위하여 189隻에 대한 自体 安全點檢을 實施하였고 遠洋業체에 대하여 76回の 安全操業指導를 實施하였다.

第 4 章 漁業基盤施設の 擴充

第 1 節 漁港開發 促進

우리나라 全國 沿岸에는 水産廳長이 管理하는 61個 1·3種漁港과 市·道知事가 管理하는 330個의 2種漁港이 各各 漁港法에 따라 指定, 開發되고 있다. 이 중 '89年末 現在 漁港開發實績은 總計劃物量 191km 중 120km를 施設, 62.8%를 開發하였다.

〈表 65〉

全國 漁港指定 現況

	指定港數	水産廳管理		市·道知事管理
		1種	3種	2種
計	391個港	37	24	330
釜 山	8	1	-	7
仁 川	7	-	-	7
京 畿	37	-	3	34
江 原	24	8	-	16
忠 南	31	3	1	27
全 北	18	1	3	14
全 南	123	6	8	109
慶 北	35	7	2	26
慶 南	92	7	5	80
濟 州	16	4	2	10

資料：水産廳 漁港課

1. 1·3種漁港

'89년까지 1·3種漁港은 61個港의 計劃物量 75km 중 49km를 施設함으로써 65.3%를 開發하였다. '89年中 1·3種漁港 開發은 完工爲主 方向으로 漁船의 安全收容을 爲하여 防波堤 等 外廓施設 開發에 重點을 두고 推進하였으며 忠南의 安興港 等 28個港에 416億원을 投資, 防波堤 等 5,146m를 施設하였고 江原道 我也津港 等 6個港의 基本施設을 完成하였다. 또한 漁港의 機能提高를 爲하여 12個港에 36億원을 投資, 老朽·脆弱 施設에 對한 補修·補強事業도 推進하였다.

2. 2種漁港

市·道知事 管理港인 2種漁港은 計劃物量 116km 중 '89까지 71km를 施設함으로써 61.2%를 開發하였다. '89年中 2種漁港開發도 完工爲主의 漁港建設에 重點을 두고 既着手港에 74億원(國費50%, 地方費50%)을 投資하여 防波堤 等 1,825m를 施設하였고 9個港의 基本施設을 完成하였다.

<表 66> 漁港開發 現況

單位：個, 億원

	總計劃		'88까지		'89		殘 量	
	港數	金額	港數	金額	港數	金額	港數	金額
計	391	5,344	102	2,883	15	526	274	1,935
1·3 種漁港	61	4,317	29	2,360	6	452	26	1,505
2 種 漁 港	330	1,027	73	523	9	74	248	430

資料：水産廳 漁港課

第2節 漁撈施設 現代化

1. 漁船建造

'89년에는 政府支援 老朽漁船代替事業 및 農漁村地域 開發基金에 의한 經濟性漁船 普及事業과 國民投資基金에 의한 計劃造船事業을 實施하여 海難脆弱 老朽漁船의 代替에 注力하였으며, 또한 40톤未滿의 小型漁船은 壽命이 길고 維持·補修 등 管理費가 節減되어 經濟性이 優秀한 合成樹脂(FRP)漁船으로 代替토록 하여 漁船의 船質改良을 積極 誘導함으로써 漁船現代化와 漁民 所得向上에 寄與하였다.

2. 低效率機關 代替 및 裝備改良 등 支援

漁船의 操業能率 向上과 海難事故 未然防止 및 油類費 節約을 위하여 燒球 및 陸上用機關 등의 低效率機關과 老朽機關을 效率이 좋고 性能이 優秀한 船舶用 디젤機關으로 代替토록 支援함은 물론 航海 및 漁撈裝備의 代替 및 新規支援으로 漁業生産性 向上과 安全操業을 圖謀하였으며, 특히 오징어 自動釣上機 設置支援으로 많은 人力을 必要로 하는 오징어 채낚기漁船의 人件費 節減 등으로 漁業經營改善에 寄與하였다. 또한 漁船用 機資材 生産業체에 대한 運營資金을 支援함으로써 漁船用 機資材의 品質向上과 圓滑한 需給을 기하여 漁民便益을 增進하였다.

<表 67>

漁撈施設事業 實績

單位：百萬円

	數量	物量	事 業 費			
			計	補助	融資	自擔
計			46,902	1,084	33,444	12,374
○ 漁船建造	341隻	8,295톤	41,187	1,084	29,052	11,051
- 老朽漁船代替	172	1,637	6,204	1,084	3,251	1,869
- 經濟性漁船普及	147	1,586	6,117	-	4,840	1,277
- 計劃造船	22	5,072	28,866	-	20,961	7,905
○ 低效率機關 代替	453臺	26,369馬力	3,406	-	2,699	707
○ 裝備改良	382臺	-	896	-	704	192
- 無電機	44	-	77	-	55	22
- 레이더	34	-	125	-	99	26
- 로란	39	-	58	-	46	12
- 魚群探知機	80	-	152	-	120	32
- 오징어自動釣上機	185	-	484	-	384	100
○ 漁船用機資材 生産支援	6個社	-	1,413	-	989	424

資料：水産廳 漁船課

第 5 章 水産物需給 및 價格安定

第 1 節 水産物 流通改善

1. 流通施設 擴充

水産物の 迅速한 揚陸과 販売, 衛生的 処理와 系統出荷, 漁船에 免稅 油類와 食水供給 등을 위해 '89年度에 事業費 4,409百萬원을 投入, 委販場 10個所 6,215㎡ (1,880坪), 綜合魚市場 1個所, 給油·給水施設 10個所 9,200㎡, 給油船 1隻을 建造 支援하여 産地 地區別 水協의 流通機能 提高와 漁船의 圓滑한 操業活動을 支援하였다.

2. 流通機能 強化

우리나라의 水産物 流通施設은 '89年末 現在 沿岸 委販場 170個所, 內陸地 水協 共販場 9個所, 水産部類 都売市場 14個所 등 總 193個所가 開設되어 運營하고 있다.

當初 內陸地 水協 共販場은 10個所이었으나 '79.12.10 開設한 水協 晋

州 共販場은 立地的 與件이 不適合하여, 89. 3. 31 이를 閉鎖 措置하였다.

'89年度 水産物 流通實績을 살펴보면 1,703千톤의 水産物을 産地水協을 통해 共同販賣를 實施하였고, 系統販賣 與件을 強化시켜 84千톤의 內陸地 系統出荷事業을 推進하였으며, 붓, 천초 등 委販 脆弱品目에 대하여 4,717톤의 共同収集, 販賣를 實施하였다.

産地 委販機能을 強化하기 위하여 休憩所, 沐浴場 등 漁民 便宜施設 擴充은 물론 피쉬펌프, 콘베아벨트 등 委販 裝備의 機械化를 積極 推進 하였으며 FAX, 自動應答機, 魚代金支給 電算機 등을 設置하여 委販業務의 迅速한 處理와 對 漁民 서비스 改善에 힘썼다. 더욱이 適正魚價 保障으로 生産者와 消費者를 同時에 保護하기 위하여 産地, 消費地 直去來를 推進하여 6千톤의 水産物을 直売場 등에 供給한 바 있으며 矯導所, 病院, 工場 등의 大量 需要처를 開闢하여 24千톤의 水産物을 供給하였다.

그리고 全國의 委販場과 共販場의 環境을 淨化시키고 水産物의 衛生管理 指導를 積極的으로 推進함으로써 新鮮하고 衛生的인 水産食品을 供給하도록 하였으며 夏節期에 發生하기 쉬운 水因性 傳染病 등의 豫防 措置에도 徹底를 기하였다.

또한 漁獲物의 品質向上과 去來秩序 確立을 위하여 仲買人 등 委販從事者와 生産漁民에 대하여 水産物의 取扱管理 啓蒙 및 弘報를 實施하였으며 漁獲物의 品質向上과 去來單位 規格化를 促進하도록 하였다.

한편, 最近 國內搬入이 增加하고 있는 遠洋漁獲物의 流通秩序를 確立하고 圓滑한 國內需給을 維持하기 위하여 '89. 3. 1 "遠洋漁獲物 搬入申告 및 調査確認에 관한 要領"을 制定, 施行함으로써 遠洋漁獲物의 國內搬入量을 徹底히 確認할 수 있도록 制度化하였다.

<表 68>

水協共販場現況

開設者	名稱	位 置	開場日	承認根據
水協中央會	서울共販場	서울 東大門區 龍頭洞 11-1	78. 2. 1	農安法 附則 ('80. 1. 4)
	可樂 "	서울 江東區 可樂洞 289	85. 6. 10	漁政27733-131 ('85. 2. 5)
	大邱 "	大邱 東區 新岩 3洞 182-1	65.12. 3	農安法 附則 ('77. 6. 30)
	光州 "	光州 北區 新安洞 134-8	80.12.16	市場1112.2-857 ('80.10.25)
	大田 "	大田 中區 梧柳洞 190-3	80.12.17	"
華城水協	水原共販場	水原市 仁溪洞 740-5	76. 7. 10	農安法 附則 ('77. 6.30)
水協中央會	春川 "	春川市 孝子洞 571-1	79.12.29	市場1112.2-1353 ('79.12.10)
	濟州 "	濟州市 社稷洞 235-9	80. 5. 22	"
	全州 "	全州市 金岩洞 458-3	80.10.30	市場1112.2-957 ('80.10.25)

資料：水産廳 漁政課

3. 水産物 規格化

水産物の規格化 및 包裝 改善으로 商品性を 提高하고 水産物 去來 單位의 標準化를 早期 定着시키기 위하여 '89年度에는 새우젓의 4個品 目에 農安基金 35億원을 年利 3%의 저리자금으로 支援하여 17,557톤의 水産物을 規格出荷하였다.

〈表 69〉

規格出荷 事業 實績

單位：톤, 百萬元

	出 荷 組 合	規 格 出 荷 實 績		農 安 基 金 支 援	
		物 量	金 額	件 數	金 額
計		17,557	53,544	495	3,500
새우젓	강화·웅진·신안	2,649	3,097	154	700
건멸치	여수·완도·삼천포 권현망	13,730	48,253	244	2,025
꽃 게	웅진	526	1,032	36	346
굴	웅진, 굴수하식	358	916	49	285
멸치젓	경주, 완도	294	246	12	144

資料：水産廳 漁政課

第 2 節 水産物 價格安定

1. 政府 備蓄事業

水産物은 計劃 生産이 어렵고 一時 多獲性 및 季節性이 强하여 需給 調節의 어려움으로 魚價가 不安定한 特性을 지니고 있다. 따라서 水産物의 需給調節을 圓滑히하여 生産漁民의 受取價格을 保障하고 價格 安定을 圖謀코자 每年 農水産物價格安定基金을 支援하여 政府 備蓄事業을 實施해 오고 있다.

'89年度에는 農安基金 156億원을 支援, 김 594톤(297萬속)과 冷凍오징어 2,348톤 등 總 3,488톤을 收買하여 盛需期에 放出함으로써 水産物

價格 安定을 圖謀하였다.

특히 史上 最大の 豐作으로 下落한 鯧 價格을 安定시키기 위하여 當初 政府 備蓄事業 400톤(200萬東)을 800톤(400萬東)으로 擴大하였으며, 秋夕 盛需期 조기값 安定을 위하여 中國産 조기 245톤을 政府 備蓄事業으로 輸入하여 放出함으로써 秋夕 조기값 安定에 크게 이바지하였다.

그러나 마른멸치는 生産 不振과 價格 上昇 등으로 인하여 取買事業이 이루어지지 못하였고 간미역은 對日 輸出好調로 産地 原産 去來價格의 高價 形成으로 取買가 不振하였다.

<表 70> 政府 備蓄事業 實績

單位 : 톤, 百萬元

	計 劃		實 績		對 比 (%)	
	物 量	金 額	物 量	金 額	物 量	金 額
計	6,100	24,239	3,488	15,560	57.2	64.2
鯧	800	11,300	594	7,645	74.3	67.7
간 미 역	2,000	1,380	160	111	8.0	8.0
마른 멸 치	300	1,620	-	-	-	-
마른 오징 어	200	2,600	141	1,592	70.5	61.2
冷凍 오징 어	2,500	5,584	2,348	4,896	93.9	87.7
冷凍 조 기	300	1,755	245	1,316	81.7	75.0

資料 : 水産廳 漁政課

2. 民間價格安定事業

'89年度の 水産物 民間價格安定事業은 總 751億원의 農安基金을 支援하여 명태, 오징어 등 取買 對象 水産物 206千톤을 取買하여 價格支持에 기여하였다.

事業 成果로는 豊作으로 下落되는 金값 安定을 위하여 水協 自体收買 (102萬束)와 民間加工業体 收買(225萬束)를 적극 擴大하도록 支援하는 한편 沿近海産 冷凍오징어 價格支持를 위해 出荷調節用 農安基金 3,430 百萬원을 支援, 4,962톤을 産地水協이 自体 收買케 하여 價格安定을 도

〈表 71〉

民間價格安定 事業

單位：톤, 百萬원

事業別	收買實績		魚種別	收買實績	
	物量	金額		物量	金額
計	205,844	165,596	計	205,844	165,596
○ 收買支援	164,423	93,611	갈 치	9,663	9,770
- 冷凍保管	116,296	55,564	고 등 어	5,284	1,584
(水協)	103,668	45,142	조 기	1,973	3,329
(轉冷)	12,628	10,422	가 자 미	4,726	2,303
- 통조림 加工	28,867	13,208	연 안 명 태	69	15
- 간미역 加工	980	732	원 양 명 태	84,265	27,070
- 김 加工	450	5,151	연 육	10,487	15,162
- 煉製品加工	17,830	18,956	징 어 리	19,397	6,365
			연안오징어	7,569	13,065
○ 輸出促進	28,572	43,025	원양오징어	10,012	10,538
- 冷凍水産物	17,273	22,111	삼 치	1,998	2,181
- 活鮮魚貝類	1,777	5,602	퀴 치	3,679	932
- 水産통조림	7,674	14,833	갈 오 징 어	3,581	4,478
- 건어포	1,848	479	굴	12,117	15,392
			꽃 게	2,317	4,559
○ 生産者(團體)	12,849	28,960	김	653	6,997
出荷調節			간 미 역	980	732
			기 타	27,074	41,124

資料：水産廳 漁政課

註：연안오징어는 冷凍 및 生오징어를 合한 物量임.

모하였다.

한편 '89年度부터 従前에는 事業別로 執行指針을 樹立, 施行하던 方式을 基金運用과 執行, 事業方法 등에 관한 事項을 總括하여 指針을 마련 施行하고 事業別, 品目別 收買計劃에 대해서는 水産廳長의 承認을 받아 事業을 遂行토록 함으로써 事業의 效率性을 도모하였다.

3. 需給 및 價格管理 強化

盛需期 水産物 盛需品 需給 및 價格安定을 위하여 설날, 秋夕, 越冬期間中 特別對策을 각각 樹立 推進하였다.

'89. 1. 20 ~ 2. 4(16일간) 설날 對策期間과 '89. 9. 4 ~ 9.13(10일간) 秋夕 對策期間中에는 조기, 명태, 김 등 主要 盛需品の 供給 安定을 도모하고, '89.11. 1. ~ 12.30(2個月間) 越冬期 對策期間中에는 새우젓, 멸치젓, 생굴 등 김장철 盛需品과 조기, 오징어, 갈치, 김 등 年末 盛需品の 供給 擴大와 價格安定에 總力を 기울였다.

특히 盛需期 對策期間中에는 物價狀況室을 設置, 運營하고 全國 12個 物價指導班으로 하여금 水協, 韓國冷蔵 및 民間保有 在庫物量의 放出을 積極 督勵하고 盛需品の 委販, 出荷, 價格動向을 日別로 把握, 對処하였으며 秋夕과 年末에는 政府 備蓄事業으로 輸入한 冷凍조기를 放出하여 價格安定을 圖謀하였다.

한편, 海外漁場 進出의 어려움으로 需給이 不安定한 명태, 오징어 등 2個品目은 年初에 需給 計劃을 수립하여 積極 對処하였으며, '89沿近海 産오징어 價格安定對策의 一環으로 暫定的으로 輸入禁止措置한 바 있는 輸出用 原資材오징어를 '89. 6. 7 解除하여 外貨獲得用 原料오징어의 調達을 원활히 하도록 하였다.

第 3 節 水産物 食糧化

1. 加工製品 生産

'89年度 水産物加工製品 生産은 841千톤으로 前年度の 866千톤보다 2.9%가 減少하였다. 이는 沿近海漁業의 漁獲不振에 따른 原料確保의 困難, 勞使紛糾에 의한 賃金引上 등으로 製品生産이 多少 不振한 것으로 判斷된다. 製品 形態別로는 高次 加工品이 16.6% 減少하였고 單純 加工品은 6.4% 增加하였다.

이 중 加工品の 大宗을 이루고 있는 冷凍品은 519千톤으로 고등어, 명태, 정어리, 갈치 등의 原形凍結이 421千톤으로 81%, 명태·붕장어·갑오징어·바지락 등의 処理凍結이 98千톤으로 19%를 차지하고 있다.

燻製品은 船上燻肉 使用으로 全般적으로 品質이 高級化되고 맛살류, 即席 어묵 등 製品이 消費者 嗜好에 맞추어 多樣하게 開發되어 國民의 食生活 改善에 크게 寄與하고 있으나 生産量은 前年보다 9.5%나 減少한 86千톤이었다.

통조림은 前年보다 14% 增加한 49千톤이 生産되었으며 品種別로는 참치, 정어리, 굴, 고등어, 꽁치가 46千톤으로 94%를 차지하고 있다. 鹽辛藏品은 새우젓 生産의 增加로 前年보다 25% 增加한 25千톤이 生産되었고 調味加工品은 오징어·쥐치포를 主宗으로 21千톤을 生産하였으나 前年對比 27.6% 減少한 실적이다.

一般的으로 單純 加工品은 消費性向의 純化에 따라 一部製品을 除外하고는 生産이 減少趨勢에 있다.

<表 72>

水産加工品生産推移

單位：千

	'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	315,037	588,144	866,089	841,034	97.1
高次加工品	73,560	218,742	348,217	290,512	83.4
- 処理凍結	33,459	79,110	112,659	97,845	86.9
- 燻製品	4,125	71,989	94,852	85,499	90.1
- 鱈 丞 鱈	15,706	27,965	43,099	49,373	114.6
- 魚 油 粉	13,491	18,204	68,335	36,289	53.1
- 調味加工品	6,141	20,823	28,706	20,714	72.2
- 寒 天	638	651	566	792	139.9
単純加工品	241,477	369,400	517,872	550,523	106.3
- 原形凍結	137,779	254,974	386,606	421,291	109.0
- 海藻製品	28,998	57,946	63,924	57,785	90.4
- 乾 製 品	45,178	44,946	36,800	36,165	98.3
- 鹽辛藏品	26,078	7,548	19,865	25,447	128.1
- 其 他	3,444	3,986	10,677	9,835	92.1

資料：農林水産部 農林水産統計年報

註：遠洋製品 除外

2. 加工製造業體 支援

水産製品の生産増大と加工業体の育成発展を 위하여 施設資金 3,980百萬元과 運営資金 9,500百萬元 등 總 13,480百萬元을 支援하였으며 支援内容은 다음 表와 같다.

<表 73>

施設資金 支援内譯

單位：百萬圓

施設名	個所	支援額	支援條件
計	6	3,980	
○ 冷凍・冷蔵	4	2,560	- 財 源：農漁村地域開発基金
○ 綜合魚市場	1	1,271	- 執行主体：水協中央會長
○ 其他处理加工	1	149	- 融資期間：7年(2年据置 5年償還)
			- 金 利：年8%
			- 支援率：事業費의 80%以內

資料：水産廳 製造課

<表 74>

運營資金 支援内譯

單位：百萬圓

事業別	業体數	支援額	支援條件
計	92	9,500	
○ 冷凍・冷蔵業	38	2,800	- 財 源：水産振興基金 및 水産振興財政資金
○ 食品製造業	21	2,700	- 執行主体：水協中央會長
○ 調味加工業	7	500	- 融資期間：1年
○ 海産加工業	13	500	- 金 利：年10%
○ 煉製品加工業	13	3,000	- 支援率：事業費의 70~80%以內

資料：水産廳 製造課

3. 食生活 改善 및 消費擴大

'88年度 1人當 年間 水産物 消費量(純食品)은 33.6kg이며 國民의 食生活 改善은 水産食品에 대한 嗜好度가 從來의 半斤概念에서 漸次 主食

化로 移行되어 동조림, 煉製品, 調味加工品, 処理凍結 等の 高次 加工品 消費가 增加되는 등 健康食品 爲主로 變遷되고 있음을 알 수 있다.

'89年度에도 水産物 消費를 擴大하기 위하여 정어리, 고등어 등 등푸른 生鮮과 굴, 미역, 김 등 多獲性 水産物 및 煉製品에 대한 TV, 라디오, 新聞, 雜誌 等 言論媒体를 통한 弘報를 152回 實施하였으며 水産物 料理冊(10,500部), pamphlet 및 리후렛(9,000千枚)을 製作 配布하였고 굴·갈치·조기·가자미 등에 대한 廣告板(와이드 칼라)을 서울, 釜山, 忠武市の 7個所에 設置하였다.

또한 등푸른 生鮮, 煉製品, 김, 미역, 갈치, 오징어의 料理講習, 展示·試食會를 서울, 釜山, 大邱, 光州, 大田, 蔚山, 濟州, 全州 等 8個 消費都市에서 9회에 걸쳐 開催하는 등 食生活 改善 및 水産物 消費擴大 運動을 꾸준히 展開하였다.

그리고 國民 嗜好에 맞는 多樣한 加工食品 開發을 위하여 高級어묵, 調味맛김, 참치동조림 등 便利한 小包裝 食品을 多量 生産, 普及하였다.

〈表 75〉 水産物 消費動向 (純食品)

單位: kg/1人 年間

	'82	'84	'86	'87	'88
○ 韓 國	31.6	37.7	41.9	38.4	33.6
- 魚 貝 類	26.4	31.1	32.7	32.1	26.4
- 海 藻 類	5.2	6.6	9.2	6.3	7.2
○ 日本(魚貝類)	33.4	35.5	36.4	36.6	-

資料: 韓國農村經濟研究院 「食品需給表」

第 4 節 水産物檢査

1. 檢査動向

'89年度 水産物 檢査實績은 256千톤으로서 前年度 實績 302千톤에 비하여 15%가 減少하였으며 製品의 加工形態에 있어서는 乾製品 等の 單純加工品이 前年度보다 增加한 반면 冷凍品 等 高次加工品은 減少하였다.

이와같이 檢査實績이 減少하게 된 主要因은 原料切上 및 貨金上昇 等으로 輸出採算性이 惡化되고, 횃감·용·참치 等 遠洋魚類와 沿近海産 主要 輸出魚種의 生産이 不振하였기 때문이다.

〈表 76〉

水産物 檢査 推移

單位：千噸

	'79	'84	'88	'89	'89/'88(%)
檢 査 量 (指 數)	197 (100)	205 (104.1)	302 (153.3)	256 (129.9)	84.8
高次加工品 (構成比：%)	161 (81.7)	161 (78.5)	252 (83.4)	204 (79.7)	81.0
單純加工品 (構成比：%)	36 (18.3)	44 (21.5)	50 (16.6)	52 (20.3)	104.0

資料：國立水産物檢査所(水産物檢査 年報)

註：—高次加工品：冷凍品, 調味加工品, 용·조림, 魚油, 魚粉, 寒天, 魚肉煉製品,
 冷蔵貝類
 —單純加工品：乾製品, 鹽藏品, 海藻類

2. 制度改善

國內·外 經濟的인 與件不利와 主要 輸出魚種의 生産減少 等으로 인하

여 어려움을 겪고 있는 加工 및 輸出業界에 便宜한 圖謀하고 輸出與件의 變化에 迅速·能動的으로 對処하기 爲하여 檢査制度를 現實적으로 緩和 또는 調整하는 한편, 外貨獲得用 原料를 輸入하여 그 製品을 輸出해야 되는 分野에 대해서는 貿易去來秩序의 確立을 期하고자 一部品目を 事前 推薦對象品目으로 追加指定, 擴大하여 事後管理를 強化하였는 바 그 主要內容은 다음과 같다.

가. 船上加工品인 鷄감용 冷凍참치류 檢査를 書類檢査制로 轉換하였으며

나. 優秀加工業체 檢査減免 對象製品은 從前 8個製品에서 11個 製品으로 擴大하였고

다. 檢査業務와 直·間接적으로 關係가 있는 檢定依頼規程에 對한 檢定項目을 從前 24個에서 36個 項目으로 擴大 調整하였으며

라. 外貨獲得用 原料 輸入推薦 및 事後管理 部門에서는 皮革 加工用 잉어와 명란 등은 輸入推薦品目으로 追加하였고 어묵 加工用 냉동오징어 및 고래고기는 輸入 禁止品目으로 하였으며 냉동조기의 輸入推薦 資格 要件을 強化하였다.

마. 간미역 가공용 소금의 基準所要量은 從前 1.25톤에서 1.37톤(간미역 1톤당)으로 현실화하였다.

第 5 節 水産物 輸出入 對策

1. 輸入開放對策

國際적인 輸入自由化 擴大 趨勢에 따라 農産物과 더불어 水産物의 輸入開放 問題가 當面 懸案問題중의 하나로 擡頭되고 있다. 이는 그동안

우리나라가 눈부신 經濟發展을 이룩하여 國際收支 黑字을 記錄함으로써 國際社會에서 그 地位가 크게 向上된 데 기인한 것이었으나, '89年度 우리나라 貿易規模는 1,238億\$, 國際收支 黑字에 있어서는 對美貿易 黑字 47億\$을 包含하여 51億\$로써 무역수지 黑字폭이 急減하면서 黑字規模가 前年の 142億\$에 비해 대폭 줄어 들었다. 水産物의 경우는 '89년에 輸出 1,821百萬\$, 輸入 322百萬\$을 達成하여 黑字는 1,499百萬\$에 達하였다. 반면 우리나라의 農水産物輸入自由化率은 '90. 1. 1 基準으로 農水畜産物 全体가 80.3%인데 비해 水産物이 57.5%의 낮은 水準을 維持하고 있어 우리나라의 交易對象國인 美國, EC 등으로부터 通商摩擦이 深化되고 있음은 물론 GATT에서도 그동안 우리나라가 취해왔던 國際收支 赤字를 理由로 한 輸入制限措置(18條B)를 더 이상 認定할 수 없다는 立場에 있어 構造的으로 脆弱한 農水産物의 輸入開放問題는 汎 政府的인 對処가 時急히 要求되는 어려운 立場에 處하게 되었다. 따라서 政府에서는 이러한 어려움을 打開하기 위하여 段階的인 輸入自由化 豫示制度를 導入하여 먼저 第1段階인 '89 ~ '91年 사이에 總 95個 品目を 選定. '89. 4. 8 豫示하였다. 이를 年度別로 보면, '89. 7. 1 에 연어(新鮮 冷蔵), 대구(新鮮 冷蔵), 其他 甲殼類 調製品(동조림) 등 26個 品目, '90. 1. 1에 송어(新鮮 冷蔵), 날개다랭이(冷凍), 명태(鹽藏·鹽水藏), 새우와 보리새우 調製品(燻製)等 32個 品目, 그리고 '91. 1. 1에 잉어(活魚), 갯장어(新鮮 冷蔵), 새꼬리민태(冷凍), 피조개(冷凍), 其他海藻類(調製品)等 37個 品目이다.

이와 같은 豫示品目들은 우리나라 水産業의 構造的인 脆弱點을 勘案, 漁民에게 直接的인 被害가 적은 品目으로 慎重을 기하여 選定하였으나 輸入 開放에 따라 다소 輸入이 늘어날 것으로 豫想된다. 아울러 水産物의 特性인 넓은 需要의 代替性, 價格의 多樣化, 供給源의 汎 世界性 등

으로 個別, 品目別 補充對策이 어려운 점을 勘案, 水産資源 造成과 漁業 生産性 向上을 위한 構造調整 및 漁民에 대한 各種 支援事業의 擴充으로 全体漁民의 所得提高를 기할 수 있는 補充對策을 樹立, 推進해 나가고 있다.

〈表 77〉 農水産物 輸入自由化 豫示現況

	總品目數	自由化 品目數 (`90. 1. 1)	豫示品目 (`91)	留 保
全 体	10,241	9,898(96.3)	91(97.2)	285
農畜 水産物	1,785	1,438(80.3)	85(85.0)	267
水 産 物	339	195(57.5)	37(68.4)	107

자료 : 水産廳 貿易課

註 : ()는 輸入自由化率 (%)임.

2. 輸出支援 擴大

水産物 輸出은 `82年以後 年平均 20%의 꾸준한 增加趨勢를 보여 왔으나 `87年末부터 始作된 急速한 圓貨切上과 主要沿近海 水産物의 生産 減少로 `88년부터 鈍化하기 시작하여 `89年度에는 1,821百萬\$을 輸出함으로써 前年度 2,047百萬\$의 89% 水準의 輸出實績을 나타냈다.

이러한 輸出不振 現狀의 打開과 輸出促進을 위해 輸出用 活鮮魚貝類 및 冷凍 原料魚의 收買加工用 資金으로 13,300百萬원을 支援하였으며 主要 輸出品의 輸出指導 價格引上을 통한 輸出價格의 維持 및 輸出隘路 要因 打開을 위한 활개지렁이, 간미역, 활소라 등의 輸出制度를 改善하

었고 優秀 加工業체가 生産하는 輸出品에 대하여는 水産物 輸出檢査減免對象을 擴大하는 등 水産物 輸出檢査를 簡素化함으로써 積極的인 輸出支援對策을 講究하였으며 主要 輸出國에 대한 交易 障礙要因 除去를 위한 關稅引下 및 非關稅 障壁 撤廢 등의 協商을 推進하였다.

<表 78> 輸出用 水産物 收買促進資金 支援現況

單位：百萬圓

	'87	'88	'89	'89/'88 (%)
計	10,950	11,200	13,300	118.8
冷 凍 水 産 物	3,300	3,500	3,900	111.4
活 鮮 魚 貝 類	950	1,000	1,000	100.0
乾 魚 物	700	700	400	57.1
동 조 립	6,000	6,000	8,000	133.3

資料：水産廳 貿易課

註：財源은 農水産物 價格安定基金

3. 制度改善

水産物の 輸出促進과 輸出秩序維持를 위하여 환갯지렁이, 간미역, 환소라, 환피조개 등 主要 輸出品目的 輸出制度를 改善하였다.

환갯지렁이의 對日地域 輸出制度는 지난 '80年度부터 輸出窓口는 2個社, 日本地域 輸入窓口는 1個社로 각각 制限하여 오던 것을 '90年度부터는 이를 全面 開放하여 一定한 資格을 갖춘 貿易業許可者는 輸出에 參與할 수 있도록 하는 등 輸出增大에 寄與할 수 있도록 하였고 對日地域 간미역 輸出制度는 輸出用 미역을 加工코자 하는 加工事業者는 당해

地區別 水協의 仲買人으로 加入한 후 輸出用 原藻를 生産漁民에게 收買하고, 原藻代金은 地區別 水協이 生産漁民에게 精算토록 함으로써 原藻代金 支拂遲延으로 인한 漁民 被害가 發生되지 않도록 改善하였으며 환피조개는 過當競爭 등에 의한 덤핑수출의 豫防과 健全한 交易이 이루어질 수 있도록 輸出業者의 資格要件을 強化함과 同時에 輸出指導價格을 引上 措置하였다. 또한 濟州産 활소라는 지금까지 日本輸入商만이 輸出소라의 國內 購買人札에 參加토록 하던 것을 國內 輸出商社에게도 輸出品 購買人札에 參加할 수 있도록 改善하는 등 能力있는 輸出商社가 輸出市場 開拓 및 多邊化를 통한 輸出増大에 積極 寄與할 수 있도록 輸出制度를 改善하였으며 輸出品의 檢查制度에 있어서도 優秀 加工業체에 대한 檢查減免對象을 擴大하였으며 뒷감용 참치는 船上 現品檢查를 書類檢查로 簡素化하는 등 輸出制度改善을 통한 輸出業界의 隘路要因을 解消하였다.

第 6 章 研究機能強化와 技術開發普及

第 1 節 水産振興院의 活性化

1. 研究圃地 建設과 機能補強

가. 水産研究圃地 建設

慶南 梁山郡 機張邑 侍郎里에 1990년까지 完工計劃으로 推進중인 水産研究圃地 造成事業은 '86~'88까지 8,367百萬원의 豫算으로 水産振興院 本館및 研究棟(3,389坪), 漁具漁法研究棟, 厚生棟 및 機械室(996坪), 水産技術訓練所 本館 및 生活館(1,184坪) 一部工事, 汚廢水處理施設(300톤/일) 一部工事 및 其他 附帶施設(海水取水施設, 海岸境界울타리 및 電話架設 等)을 完成하였고, '89年度 建築工事 實施設計를 '89. 6月 完成하여 '89. 8月 工事 着工, 水産技術訓練所 本館및 生活館(1,184坪), 汚廢水處理施設의 完成과 水産振興院 管理舍(98坪) 一部工事, 構內道路, 造景 一部工事 및 其他 附帶施設(屋外 外燈 設置, 孵化槽 設置 等)을 3,020百萬원의 豫算으로 '89. 12月 完工과 더불어 國務總理 參席下에 竣工式을 開催하였다.

나. 機構 및 機能補强

1989. 6月 國立水産振興院 職制改正으로 雇傭職公務員 128名을 技能職化한데 이어 1989. 8月 國立水産振興院 職制를 改正, 南海水産種苗培養場 運營要員 12名, 本院 施設管理要員 6名 等 18名을 增員, 定員을 869名으로 하고, 漁村指導所長 職級을 指導官 13名에서 20名으로 調整하였다.

또한 南海水産種苗培養場 增設에 따라 1989. 9月 農林水産部令 改正으로 種苗培養場을 9個所에서 10個所로 하여 沿岸漁場의 持續的인 資源增強과 漁民 所得增大를 위한 機能을 強化하였다.

그리고 人工魚礁, 種苗生産 등 既存業務의 質·量 擴大, 遺傳育種 研究와 遠隔 探查等 尖端技術 開發을 위한 새로운 研究와 指導 需要에 效率的이고 能動的으로 對処하기 위해 機構·機能 補强을 持續적으로 推進할 計劃이다.

2. 研究員 資質向上 및 試驗機器 補强

가. 研究員 資質向上

日本, 프랑스, 美國等에 增養殖分野 9名, 海洋環境分野 3名, 漁業資源分野 4名, 漁具漁法分野 1名, 水産加工分野 2名, 其他 14名 等 總33名을 派遣, 長·短期 海外研修를 實施하였고 國內大學에서도 博士課程 11名, 碩士課程 34名, 其他 10名이 研修를 實施하였다.

특히 優秀研究人력을 活用하기 위해 停年退任하는 優秀研究員을 名譽研究官으로 活用하는 한편 佛蘭西에 1名의 專門家를 派遣하였으며 佛蘭西, 日本에서 專門家 2名을 招請하여 共同研究를 통한 技術協力增進과 先進技術導入에 寄與하였다.

나. 試驗機器 補強

日本 海外經濟協力基金(OECF)借款에 의한 試驗研究機器 補強計劃에 따라 最新 試驗機器 169種 669點을 導入, 完了하여 各部署에 設置, 活用 中에 있으며 國內 調達이 가능한 177點의 試驗機器를 政府 一般會計 豫算으로 購入, 補強하였다.

3. 水産研究財團基金 造成 및 運用

1989年度 水産研究財團基金 基本財産 560,000千원에 對한 利子收益 67,300千원과 88年度 事業執行殘額 2,367千원으로 試驗研究 및 指導事業等에 62,971千원을 執行하고 剩餘金 6,000千원은 基本財産으로 編入하여 財團基金總額을 566,000千원으로 增大시켰다.

4. 産學協同

水産振興院의 研究陳과 兼職研究官이 共同으로 “低食鹽 진석화청의 製造 및 豊味改善에 關한 研究” 等 3個 研究課題를 遂行하였으며 3個分野 3名의 兼職研究官을 任用(總6個分野 16名), 試驗研究 및 指導事業 計劃樹立에 對한 諮問과 研究結果 評價, 新技術 情報交換 等を 實施하였다.

또한 中央水産産學協同審議會 專門委員(7個分野 27名)과 各道審議會 委員(8個道 39名)을 委囑하여 水産技術開發 促進과 漁民所得增大를 위한 産學協力の 圓滑을 期하도록 하였다.

그리고 學生現場實習을 爲하 4個所의 産業체를 指定, 水産系 專門大學 5個校 15名의 在學生들에게 現場實習을 할 수 있도록 하였다.

第 2 節 所得과 直結되는 技術開發

1. 增養殖 技術

가. 種苗生産試驗

沿岸資源 造成과 地域特性에 맞는 養殖對象 品種의 種苗生産 技術開發을 위하여 注文津 水産種苗培養場 等 10個 水産種苗培養場에서 魚類 4種(넙치, 조피볼락, 참돔, 감성돔), 腹足類 1種(전복), 甲殼類 3種(보리새우, 대하, 꽃게), 其他 2種(보라성게, 우렁쟁이)과 넙치, 참돔의 受精卵 等 '89年度 計劃量 總 10種 30,406千尾를 生産하여 分讓, 放流하였으며, 송어, 소라, 북쪽말뚝성게, 탁자볼락, 농어, 능성어, 복어, 범가자미, 오분자기, 납새우 等에 對하여 種苗生産 基礎技術開發 試驗을 實施하였다.

나. 魚類養殖 技術開發 試驗

魚類의 遺傳育種學的 研究로서 有用海産魚類의 品種改良을 目的으로 조피볼락, 돌가자미, 자주복에 對하여 染色體數, 核型, 細胞크기 및 遺傳生化學的 調査를 實施하였고, 참돔, 넙치에 對한 3倍體形成 豫備試驗을 實施하였다.

그리고, 南·西海岸 主要魚類 養殖場에 對한 環境調査를 實施하여 魚類養殖場의 環境變化 및 魚病實態를 把握하였으며 海産魚類의 陸上養殖 技術開發을 위하여 循環濾過 飼育水槽에서의 濾過材別 濾過能力 調査와 넙치 陸上水槽 飼育의 適正 飼育密度 및 水槽색깔에 따른 넙치 飼育效果를 究明하였고 새로운 魚類養殖技術開發을 目的으로 海上가두리를 利

用하여 조피볼락, 참돔 및 자주복에 對한 飼育 試驗을 實施中에 있다.

한편, 海産魚 配合飼料의 開發試驗을 實施하여 방어用 配合飼料로서 大豆粕添加效果和 北洋魚粉을 主原料로한 조피볼락 飼料의 適正 蛋白質 含量을 究明하였다.

다. 貝藻類 育種學의 研究

貝類 品種 改良 普及을 위한 遺傳育種學의 基礎 研究로서 溫度 및 藥品 刺戟에 의한 참굴 및 진주조개의 3倍體 生産 研究 結果로서 3倍體 誘導率, 浮游幼生 成長度 및 生存率이 確認되었고 참진복과 말진복에 대한 遺傳育種學의 研究基礎資料를 確保하였다.

海藻育種으로는 김과 다시마에 대하여 研究하였는데 김은 優良種苗選拔에 의한 遊離絲狀體를 培養하고 遺傳形質을 調查하여 김 優良 形質을 選拔 育成하고 遺傳育種學의 基礎 資料를 確保하였으며 아울러 다시마에 대해서도 自生 다시마 分類基礎 試驗 및 交雜 試驗을 통해 養殖 및 自生 다시마 形質이 確認되어 앞으로의 育種研究 基礎資料로 活用되게 되었다.

라. 有用 貝藻類 增産 試驗

有用 貝類 增産을 위해 西海岸의 백합에 대하여 漁場 回復試驗, 寄生 蟲感染狀況 및 漁場 環境을 調查하여 백합養殖 再開發 可能與否를 判斷 할 資料를 確保하였다.

海藻類 養殖 開發 試驗의 일환으로 김과 미역의 病害 原因 및 대책에 대하여 研究하였고 漁場別 김의 適品種開發, 芻養殖開發, 김의 附着生物 구제시험 및 岩礁性 附着生物 增産試驗을 實施하여 좋은 結果를 얻었고, 김 갯病 特히 寄生性 갯病 病原菌의 性狀을 把握하게 되었으며 미

역 바늘구멍病 原因生物의 生活 環境을 究明하였다.

마. 淺海有用生物 養殖技術開發 試驗

淺海有用生物 養殖 技術 開發을 위해 鶯게의 生殖 生態의 特性究明 및 初期成長調査로 鶯게類 種苗生産을 위한 基礎 資料가 確保되었고 우렁쟁이의 環境 耐性試驗을 통하여 斃死豫防을 위한 養殖 관리기술 確立으로 우렁쟁이의 安定的 生産을 위한 基礎 技術이 蓄積되었다.

아울러 養殖 漁場의 立体的 利用을 위한 基礎 調査를 實施하여 開發 資料로 活用하였다.

바. 海産 魚病研究

養殖 對象 品種이 多樣해지고 飼育環境이 점차 惡化됨으로 인해 魚病이 頻發하고 있어 疾病으로 因한 被害를 最小化하기 위해 間接螢光抗体法을 利用한 방어의 連鎖球菌症 迅速診斷 技術과 組織學的, 血液學의 手法를 통한 넙치 健康評價技術 開發을 遂行하였으며 또한 養殖넙치 疾病에 대한 豫防 및 治療技術 開發을 위해 陸上넙치 養殖場의 時期別 魚病調査를 하였다.

사. 淡水魚 試驗研究 및 技術普及

淡水 魚類의 優良種苗 生産普及 擴大에 의한 內水面 資源增強과 養殖 品種의 多樣化 및 品種改良을 위하여 잉어, 이스라엘잉어, 찬넬메기, 틸라피아 등 優良種苗 46萬尾를 生産, 分讓하였고 回歸性 魚種인 연어의 資源造成과 回歸率 向上을 위하여 '89年度에 生産한 연어稚魚 670萬尾와 日本産 금사연어 完眼卵 20萬粒을 導入하여 孵化시킨 19萬尾 등 總 689萬尾를 南大川, 北川, 明波川, 連谷川에 放流하였다.

內水面 養殖魚種의 技術開發 및 優良種開發을 위하여 틸라피아, 메기 優良種改良試驗과 遺傳子 造作에 의한 잉어, 틸라피아 3倍體 및 잉어 雌性發生 2倍體魚 生産試驗을 實施하여 遺傳育種을 利用한 品種改良의 基礎를 確立하였고 소가리, 산천어, 열목어, 무지개송어 養殖技術開發을 實施하여 養殖品種의 多樣化를 도모하였으며 內水面 養魚場에 對한 魚 病豫防 및 養魚技術 指導를 實施하였다.

2. 漁業技術

가. 音響漁法 研究

音響을 利用한 새로운 漁法을 開發하기 위하여 오징어채낚기 漁業을 對象으로 채낚기 漁船에서 發生되는 各種 水中音을 蒐集, 分析함과 동시에 8종의 人工音을 放聲하여 非放聲時와 漁獲率 比較 試驗을 實施한 結果 Fish Phone Channel 6인 주파수 400~500Hz, 音壓 132dB / μ pa音 放聲時 約 2.7倍가 漁獲됨을 究明하였다.

나. 選擇的 漁法研究

資源의 合理的 利用을 위한 研究의 일환으로 전어 刺網을 對象으로 網目크기, 成形率 및 網絲를 달리한 漁具를 製作, 海上試驗을 實施한 結果 適正網目は 54mm目, 適正成形率은 50%로 나타났으며 網絲別漁獲率은 나이론 複絲網에 비해 單絲網이 約 1.9倍 높았다.

다. 굴낚시 漁具漁法 改良試驗

굴낚시 漁業의 機械化를 위하여 電動式 揚繩機를 設計, 製作하여 海上試驗을 實施한 結果 既存 操業時 보다 人力 約 50%, 揚繩時間 約

70% 節減이 可能하였으며 所要힘도 줄일 수 있었다.

라. 뜰(浮子) 開發試驗

空氣를 充填하여 水壓에 견딜 수 있도록 한 深海用 浮子를 開發하기 위하여 既存 浮子에 空氣를 3~6kgf / cm² 注入하여 物理的 性能試驗을 實施한 結果 空氣를 注入하지 않은 浮子에 비해 浮力은 約 0.1% 減少하였으나 耐壓은 約 8.8~16.0% 增加하였다.

마. 刺網 揚網裝置 開發試驗

沿近海 刺網漁船의 人力節減을 위하여 Ring式 揚網裝置를 考案하여 海上試驗을 實施한 結果 操業人員은 隻當 1名, 所要힘은 1人當 15~20kg에서 2~3kg으로 減少 시킬 수 있어 멸치 流刺網과 같이 使用 漁具數가 적고 幅當規模가 큰 경우에는 有利하였으나 꽂지 流刺網과 같이 使用 漁具數가 많고 幅當規模가 작은 경우에는 投網準備 및 揚網중 處理에 다소 問題가 있는 것으로 나타났다.

바. 現代韓國漁具圖鑑 發刊

沿近海, 遠洋 및 內水面에서 사용되고 있는 各種 漁具, 漁法 實態를 調查하여 總 175種, 285件의 資料를 정리 圖鑑으로 發刊하여 業界, 學界 등에 配付함으로써 漁船漁業 全般에 관한 指針書 및 漁具漁法 研究의 基本資料를 提供하였다.

3. 水産物 利用加工 技術

水産物의 食糧化을 爲한 多獲性 및 低利用 資源에 對한 加工 技術 開

豕이 要請되어 정어리 製品開發 및 水産加工 廢棄物의 利用에 關한 試驗 研究를 實施하였다.

정어리에 있어서는 기히 1987년에 加工 方法을 開發한 바 있는 改良 燻肉을 素材로 하여 加工한 정어리 버거(burger) 製品은 品質이 優秀한 것으로 確認되었고 改良燻肉을 凍結貯藏하였을 때 貯藏 6個月까지도 食品 素材로 利用이 可能함을 밝혔다.

또한 정어리 速成 醱酵液化合物을 使用하여 어간장, 粉末製品 및 眞空 凍結乾燥 製品을 製造하고 天然 調味料 素材로서의 利用性 調査와 問題 點을 把握하는 한편 통조림 加工 副産物로 나오는 가다랭이 內臟物의 醱酵液化合物 加工 原料로서의 利用 可能性도 究明하였다.

水産物의 營養價値와 利用에 따른 科學的 基礎資料 提供을 爲하여 主要水産物 35種에 對한 脂肪酸 含量 調査와 海藻類 21種에 對한 微量成分을 分析하는 한편 5個年('83~'87)에 걸쳐 實施한 沿近海 水産物 379種의 成分 分析値를 取録한 韓國 水産物成分表를 發刊하여 水産業界, 學界 및 關聯機關에 配布한바 있다.

그리고 韓·美 貝類 衛生協定 運營과 關聯한 輸出用 貝類 生産 指定海域에 對한 細菌調査와 더불어 水産物의 公衆保健上의 安全性 問題와 關聯하여 비브리오 敗血菌, 貝毒 및 殺蟲劑 汚染 調査를 實施하였으며 이외도 養殖 貝의 附着生物 驅除를 爲해 鹽酸處理한 貝의 酸의 殘留, 人體 危害性 調査 試驗도 實施하여 養殖 貝의 葉體에는 酸의 殘留性이 稀薄하다는 것을 밝혔다.

第 3 節 基礎調査事業

1. 海洋環境

우리나라 沿岸海 海洋環境의 合理的 利用, 管理 및 保全을 위한 科學的인 基礎調査로서 한국 근해漁場의 海洋變動調査(海洋物理, 化學, 生物學的의 調査)를 東·西·南海의 22개 定線 175개 定點의 年6회 調査와 東海 中部極前線海域의 16개 定點에서 年2회 調査를 실시하며 특히 人工衛星 영상수신장비로 NOAA 人工衛星의 海面화상을 수신하고 주변海域에서 조업하고 있는 어선으로부터 현장 表面水温을 통보받아 海況을 파악하는 海洋원격탐사를 병행하여 실시하는 한편 81개 연안정지관측소에서 매일 海洋物理 및 기상학적 調査를 실시하였다. 아울러 28개소에서 年4회 人工魚礁 效果調査를 실시하고 六角魚礁와 組立式 四角魚礁의 新種魚礁 2종을 개발하여 釜山의 1개 海域에서 年3회 試驗調査하였다.

한편, 南海西部海域 40개 定點에서는 底質組成 및 빈동상황을 구명코자 年2회 底質調査를 실시하고 국내·외의 海洋科學資料와 情報蒐集, 處理分析, 保管, 交換 및 配布를 위한 韓國海洋資料센터(KODC)를 운영하였다.

沿岸漁場 環境汚染 調査를 위하여 全國主要 臨海工團 및 養殖場 周邊水域에 設定된 237個 調査點에서 化學的 酸素要求量, 溶存酸素 및 營養鹽類 등 理化學的의 水質指標成分에 대하여 6回, 海水, 水産物 및 底質中の 重金屬 含量調査를 年 1回, 洛東江 및 蟬津江 下流에 棲息하는 재첩에 대한 農藥 및 PCB 調査를 年 2回 實施하여 全國 沿岸의 環境汚染 變化 樣相을 把握하였다.

또한, 赤潮에 의한 養殖生物의 被害를 輕減시키기 위하여 南·西海岸

에서 赤潮豫察을 年 16回 以上 實施하였고, 海水 및 貝類中の 有毒性 플랑크톤의 出現種과 出現量을 調査하여 沿岸汚染 指標生物로 重要한 種에 對해서는 室內 人工培養 實驗에 의해 그들의 生理, 生態의 特性을 究明하였다.

全國 水産資源 保全地域(海面 10個所, 內水面 19個所)에 設定된 153 個 調査點에 對하여 化學的 酸素要求量을 비롯한 理化學的 水質 指標成分을 年 6回(內水面은 年 4回), 重金屬 含量調査를 年 1回, 魚貝類中の 生産動向 및 出現種 調査를 年 2回 實施하여 水産資源 保全地域의 水質 環境 變化를 把握하여 水域 保全管理의 基礎資料로 活用하였다.

2. 遠洋漁業資源

遠洋漁業資源의 持續的 利用과 合理的인 管理를 爲하여 트롤, 새우트롤, 오징어流刺網, 다랭이延繩, 오징어채낚기, 다랭이旋網, 공기 棒受網等 7個主要漁業을 對象으로 漁獲統計 및 生物學的 資料를 蒐集, 分析하여 資源의 動態를 把握하고 명태, 대구, 황다랭이, 눈다랭이, 가다랭이, 날개다랭이, 빨강오징어, 웰링턴오징어, 알젠틴오징어, 골드오징어 등의 10個 主要魚種을 對象으로 漁獲物 크기 등의 生態調査를 하였으며 船長 教育을 통한 委託 標識放流를 다랭이類等 5種에 對하여 實施하였다. 이로서 遠洋出漁船으로부터 蒐集한 操業動態報告書 및 生物學的 調査資料와 實驗室內에서의 魚體精密測定資料, 其他 海外情報資料를 綜合하여 分析한 結果는 遠洋漁業資源의 動態 및 生態把握과 資源評價等으로 遠洋漁業의 政策資料 및 漁業活動에 必要한 情報로서 提供되었으며 國際 水産機構 및 雙務會議(韓·美, 韓·뉴지, 韓·濠, IOFC, ICCAT, CECAF, NAFO, FAO, ICSEAF, CCAMLR, IPTP, LATT, IPFC, SPC)에 提出되었

다. 또한 韓·美漁業資源專門家會議 및 大西洋 다랭이 保存委員會等の 6 個國際會議에 參席하여 我國의 權益을 保護하는 한편, 北太平洋 漁場의 安定的 確保를 爲하여 試驗調査船 부산851號에 우리나라 및 美國의 研究陣이 合同으로 乘船하여 漁業生物의 特性, 分佈와 漁場環境과의 關係 究明으로 操業船의 能率向上과 漁獲增産에 寄與하였고 오징어, 멍치 等 産業的으로 重要な 魚種과 生態系에서 重要な 位置를 차지하고 있는 水産生物의 相互關係를 究明하여 漁業對象種을 追加로 開發함으로써 遠洋 漁場의 安定的 確保를 支援케 하였으며 오징어流刺網漁業에 依한 關聯 國의 保護對象資源인 연어, 海洋哺乳動物(물개, 고래類 等)의 附隨의 漁獲狀態 把握을 爲한 基礎資料를 蓄積함으로써 國際漁業 紛爭解消과 合理的인 資源管理에 對峙하였다.

3. 沿近海 漁業資源

沿近海 漁業資源의 最大持續的 生産性維持를 圖謀하기 위하여 沿近海 主要漁業資源 18種에 대한 資源生物學의 調査연구를 실시함과 동시에 主要 漁業(13個 漁業) 對象資源의 動態調査와 主要 漁業資源의 分佈生態 및 資源量을 迅速 正確하게 直接的으로 調査할 수 있는 새로운 方法인 科學魚探에 의한 漁業資源調査를 實施하였다.

또한, 韓·日 漁業資源 共同調査를 실시하여 韓·日漁業共同委員會 運營에 필요한 資源 評價資料를 提供하였다.

한편, 沿近海 漁業의 漁獲能率 向上을 위하여 主要 漁業(10個 漁業)에 대한 月別, 週別 漁況豫測을 실시하여 魚群分佈 密度가 높은 中心 漁場에서 漁船이 操業할 수 있도록 弘報資料를 提供하였다.

第 4 節 水産技術 指導普及

1. 技術指導 및 弘報

漁村의 所得增大와 安定的 生産을 위하여 漁村指導公務員이 全國 1,573個 漁村契에 대한 現地 巡廻技術指導를 실시, 848千톤의 養殖生産을 올리는 데 寄與하였다.

養殖漁場의 漁業秩序確立과 適正 生産目標設定에 의한 安定生産 對策의 일환으로 養殖施設前의 漁場整理 및 整備와 適正施設指導에 중점을 두고 指導하였다.

한편, 主要養殖團地別 漁場豫察을 통하여 海況과 作況, 病蟲害 發生 등을 把握하여 漁民과 有關機關에 通報, 이에 對処할 수 있도록 하였으며 不法 및 不實管理 漁場에 대하여는 現地確認, 違反內容을 市·郡에 通報하여 措置토록 하였다.

漁村指導事業의 效果提高를 위하여 地域의 特性을 勸案, 專門指導班을 編成하여 品種別 養殖重要時期에 重點指導하여 害敵生物驅除와 病害豫防 및 治療對策 등 安定的 生産에 寄與하였으며 赤潮·颱風 등 災害豫防과 迅速한 復舊로 被害를 最小化하도록 指導하였다.

또한 이미 開發된 技術의 普及과 地域의 새로운 所得源으로 開發이 必要한 品種에 대하여는 地域別 示範漁場을 運營함으로써 迅速한 技術普及에 寄與하였다.

특히 養殖漁場의 適正管理에 의하여 成功한 事例를 發掘하여 養殖漁場 成功事例集으로 發刊, 配布하여 漁民의 養殖漁場 保全意識을 鼓吹하였다.

그리고 漁村指導事業을 效率的으로 遂行하기 위하여 時宜的으로 要望되는 事業品種에 대하여 비디오 1篇 製作과 水産技術誌 3種을 発行하는 등 漁民의 要望에 副應하고 水産情報의 迅速한 傳達을 위하여 海·漁況豫報는 週間, 月間으로, 養殖豫報는 隨時로 発行, 配付하고 新聞, 雜誌와 라디오, TV 등을 통한 弘報活動을 展開하였다.

2. 漁民教育 및 漁民後繼者指導

營漁技術 向上과 漁業資源保護 등 政府의 水産施策에 대한 漁民들의 理解增進과 意識啓導를 위한 教育弘報을 실시함으로써 漁民所得을 増大시키고 동시에 漁村社會의 變化에 對処하여 健全漁村을 育成하는 데 目標을 두고 20箇 漁村指導所에서 73箇 水協과 合同으로 漁民 47千여명에 集体教育을 실시하였고 굴, 피조개, 김, 미역, 우렁쉥이 및 魚類 등 主要 養殖品種에 대하여는 地域別 漁業循期에 맞추어 專門指導士 2人以上으로 專擔班을 編成하여 全國 1,573箇 漁村契를 巡廻하면서 42千여명에게 採苗, 種苗培養, 養成, 魚病, 漁場施設管理 등에 관한 教育을 병행 推進하였다.

한편 漁業에 從事한 漁村靑少年을 대상으로 이들을 福祉漁村建設의 旗手로 育成하여 基幹漁家로서 漁村에 完全定着시키는 데 目的을 두고 1981~1989년까지 選拔된 4,297名の 漁民後繼者를 地域水産業 發展을 主導할 수 있는 水産專門人으로 養成하는 데 力點을 두고 漁民後繼者들의 個人別 專擔指導士를 指定配置함으로써 每月 1~2回 現地事業場을 巡廻訪問하여 水産施策, 營漁設計, 漁場管理 등에 대한 指導 및 各種 漁業技術普及을 통한 科學營漁를 實踐할 수 있도록 指導하였으며 事業推進實態 및 推進段階에 따라 地域特性에 맞는 現場中心의 密着指導를 年

間 32.5千回 실시함으로써 全 漁民後繼者들의 個人的인 發展은 물론 事業遂行能力의 向上을 꾀하였다. 또한 地域別 漁民後繼者 自生組織協議會를 통한 새로운 漁業技術, 經營情報의 交換, 先進地 見學, 懇談會開催, 親善體育大會開催 등 漁民後繼者 相互間의 親睦圖謀와 事業發展을 꾀할 수 있도록 指導하였다.

특히 全 漁民後繼者들 中에 約 25%가 地域社會活動 指導者로 發掘되어 漁村社會의 中樞의인 役割을 遂行해 나갈 수 있는 기틀을 마련하였다.

〈表 79〉 漁民後繼者 地域社會活動 現況

單位：名

區分	計	漁 村 契 長	水 協 任 員	自願漁村 指 導 者	새 마을 指 導 者	里 長 班 長	里·洞開 發 委員	青少年會 指 導 者
人 員	1,006	129	120	96	103	201	231	126
(%)	(100)	(12.8)	(12.0)	(9.5)	(10.2)	(20.0)	(23.0)	(12.5)

資料：國立水產振興院

3. 漁村指導 機能強化

全國 20個 漁村指導所중 7個 漁村指導所長의 職級이 漁村指導士인 것을 '89. 8. 24자로 漁村指導官으로 上向調整하여 다른 漁村指導所長의 職級과 均衡을 맞춤으로써 漁村指導所의 機能을 한층 強化토록 하였으며 漁村指導所의 對漁民 指導機關으로서의 空間擴充을 위하여 莞島漁村

指導所에 이어 '89年度에는 麗水漁村指導所를 増築하였으며 實證的 指導를 위한 漁村指導裝備 補強에 있어서는 車輛 4臺를 비롯하여 顯微鏡 등 21種 150臺를 追加 確保하였다.

<表 80> 漁村指導所 設置 및 指導人力 確保 推移

單位：個所, 名

區 分		'79	'84	'88	'89
漁 村 指 導 所 設 置		-	14	20	20
指 導 公 務 員 確 保	計	182	232	250	250
	漁 村 指 導 官	7	7	13	20
	漁 村 指 導 士	175	225	237	230

資料：國立水産振興院

註：'81年度에 漁村指導所 8個所 最初 設置

또한 近來 漁民들의 技術指導需要가 높은 分野인 魚類, 진북, 內水面 養殖에 대하여 國立水産振興院 傘下 水産種苗培養場, 內水面研究所 등에서 漁村指導公務員 20名을 대상으로 1個月間의 專門技術教育을 실시 하였으며 海外 先進水産技術과 情報交換을 위하여 漁村指導公務員 8名에게 日本研修를 실시하였다.

한편 漁村契長, 模範 漁民後繼者 또는 篤漁家 등 漁村指導所 地域內 有力人士를 漁村指導事業에 自進參與시켜 對漁民 指導事業을 한층 效果的으로 推進하기 위하여 '87年度에 36名の 自願漁村指導者를 委嘱, 運營한 것을 始點으로 '89年度까지 127名으로 擴大함으로써 主要沿岸 市·郡에 1名以上の 自願漁村指導者를 確保, 運營하였다. 이들을 통하여 自己의 漁場을 開放하거나 示範漁場 活用, 營漁事例發表 등의 現場體驗傳播, 漁

村動向把握 및 會議參席 등으로 指導事業의 諮問, 協助를 통하여 地域實情에 맞는 漁村指導의 機能強化와 漁民의 自律的 參與를 擴大하였다.

第 5 節 漁業技術 向上과 訓練

1. 水産技術訓練

가. 基本教育

水産廳 및 各 市·道 傘下 水産關係 公務員을 對象으로 補修教育을 통한 職務遂行 能力 培養과 漁民福祉 增進을 爲한 誠實한 水産公職者像 定立에 教育의 目標을 두고 中堅管理者班課程 1回 31名, 實務者 補修課程 5回 272名, 新規實務者課程 1回 56名 等 7回 359名에 대하여 職務教育을 實施하였다.

나. 專門教育

水産行政의 國際化, 專門化趨勢에 따른 水産 行政需要 增大에 能動的으로 대처해 나갈 수 있는 專門技術要員을 養成한다는 教育目標下에 政策開發班 1回 38名, 水産經營班 1回 58名, 資源保護管理班 1回 92名, 魚類養殖班 2回 154名 等 5回 342名을 教育하였다.

특히 漁家經營의 科學化를 圖謀하기 爲해 水産經營班을 新設하고 內水面分野에서는 內水面魚類養殖班을 新設하여 內水面開發에 先導的 役割을 擔當할 要員을 教育하였으며 水産政策의 開發 및 發展方向을 摸索하기 爲하여 “沿岸水産資源 造成과 管理方案”을 主題로 政策세미나 班을 運營하여 水産政策에 活用할 수 있는 資料를 提供하였다.

다. 漁民教育

漁村에 定着하여 漁村을 이끌어갈 漁民後繼者를 對象으로 漁船漁業分野 3回 189名, 水産養殖分野 9回 275名에 대하여 後繼者 事業推進을 爲한 技術教育을 實施하였다. 特히 收益性이 높은 品種에 대한 養殖技術教育으로 漁民所得 增大에 寄與하였으며 麗川種苗培養場 等 現地養殖場에서 理論과 實習을 連繫하여 教育을 實施함으로써 教育效果를 높였다.

또한 全國漁村契長을 對象으로 漁民이 自律的으로 水産資源을 保護하도록 不法漁業根絶 教育을(1回, 50名) 實施하였다.

라. 漁船員教育

海洋汚染防止로 淸淨한 海洋環境 保存과 國民健康 및 財産을 保護하기 위해 海洋汚染防止 管理班을 新設하여 漁船의 海洋汚染防止 管理人

〈表 81〉 國立水産技術訓練所 教育訓練實績

單位：名

區 分	'79	'84	'88	'89	增減率 ('89/'88)
計	12,131	9,348	15,613	11,465	△ 27
精 神 教 育	587	343	99	-	
基 本 教 育	188	207	366	359	△ 2
專 門 教 育		238	224	342	53
漁民後繼者教育		510	693	464	△ 33
施 策 教 育	99	-	-	-	
漁 民 教 育	196	-	40	50	25
現 役 兵 教 育	-	-	236	-	
漁 船 員 教 育	11,061	8,050	13,955	10,250	△ 27

資料：國立水産技術訓練所

414名에 教育을 實施하였으며 漁船員 海上生活의 安全과 海外旅行, 國威 宣揚을 爲한 漁船員素養教育 (137回 9,836名)을 年中 實施하였다.

2. 海技員 養成

韓國 漁業技術訓練所에서는 '89년까지 6,137명의 海技員(海技士課程 3,403, 普通船員課程 2,433, 通信課程 132)을 養成하였고, '86. 7월에 신 설된 漁船海技士 安全教育課程을 이수한 船員은 14,036명이었으며, 政府의 對外技術供與計劃에 의한 外國人 訓練生은 총 74개국 361명을 배출 하였다.

<表 82>

韓國漁業技術訓練所 教育訓練 實績

單位：名

課程	年度						
	計	'66~'84	'85	'86	'87	'88	'89
計	20,534	5,131	365	1,219	3,849	5,872	4,099
內 國 人	6,137	4,953	312	210	255	238	169
· 海技士課程	3,449	3,140	119	23	62	59	46
· 普通船員課程	2,556	1,681	193	187	193	179	123
· 通信課程	132	132	-	-	-	-	-
外 國 人	361	178	53	42	28	28	33
(國 家 數)	(74)	(63)	(33)	(26)	(20)	(18)	(20)
海技士安全教育	14,036	-	-	967	3,566	5,606	3,897

資料：水産廳 國際協力擔當室

註：國家數중 중복된 나라는 제외하였음.

第 7 章 漁民支援強化

第 1 節 水産資金 供給擴大

1. 營漁資金

'89年度 營漁資金 支援은 '88年度보다 960億원이 增加된 4,800億원으
로 沿近海漁業에 4,210億원 遠洋漁業에 590億원을 供給하였으며 漁民便
益 爲主의 貸出制度를 確立하기 위하여 貸出基本約定에 의한 限度去來
制度를 定着시키고 信用貸出을 擴大하는 한편 營漁資金 未取扱 組合 12
個所에서도 營漁資金 貸出業務를 할 수 있도록 하였다.

〈表 83〉

營漁資金 供給実績

單位：億원

		'88	'89	增(△)減
所	要 額	7,262	8,146	884
供	給 額	3,840	4,800	960
供	給 率	53%	59%	6%
調 達	財 政 資 金	545	648	103
	韓 銀 借 入 金	1,947	1,878	△69
	水 協 自 體 資 金	1,348	2,274	926
運 用	沿 近 海 漁 業	3,210	4,210	1,000
	遠 洋 漁 業	630	590	△40

資料：水産廳 協同組合課

2. 水産振興基金 및 水産振興財政資金

水産振興基金 53億원과 水産振興財政資金 85億원을 營漁資金을 支援받지 못하는 漁船用機資材生産, 輸出水産物運送 및 水産物食糧化事業 등에 支援함으로써 漁業과 水産製造業의 均衡의 發展을 圖謀하도록 하였다.

<表 84> 水産振興基金 運用實績

單位：百萬원

	'88	'89	增(△)減	內 譯
計	4,618	5,265	647	
沿 近 海 漁 業	2,139	2,055	△ 84	○ 沿近海 漁業
水 産 製 造 業	2,300	3,000	700	· 漁船用機資材生産 : 989
次 期 移 越	179	210	31	· 輸出水産物運送 : 1,066

資料：水産廳 協同組合課

<表 85> 水産振興財政資金 運用實績

單位：百萬원

	'88	'89	增(△)減	內 譯
計	8,500	8,500	-	
沿 近 海 漁 業	1,100	-	△ 1,100	○ 水産物製造業
遠 洋 漁 業	1,250	-	△ 1,250	· 冷凍·冷蔵加工 : 2,800
水 産 製 造 業	6,150	6,500	350	· 용조림加工 : 2,700
漁 網 生 産	-	2,000	2,000	· 海藻加工 : 500
				· 調味加工 : 500

資料：水産廳 協同組合課

3. 農漁村地域開發基金

'89년에 支援한 農漁村地域開發基金의 規模는 總 271億원 (88年 追更 180億원 包含)으로 經濟性漁船普及 등 5個部門에 支援하였다.

經濟性漁船普及은 船齡 16年(鋼船21年)以上 老朽漁船, 海難脆弱漁船, 漁業許可가 留保된 被害漁船 등을 40日未滿 合成樹脂(FRP)漁船으로 代替코자 하는 漁民을 對象으로 1,600톤을 中長期 低利로 支援하였다.

低效率機關代替事業은 老朽 및 低效率(燒球, 陸上用, 電氣點火式)機關을 設置한 沿近海 漁船을 對象으로 200馬力以下의 國產 船舶用 디젤機關으로 代替코자 하는 漁民에게 22千馬力을 低利로 支援하였다.

〈表 86〉 農漁村地域開發基金 支援內譯 單位：百萬元

	'88		'89		金利 (%)	融資期間 (年) 据題/償還
	物 量	金 額	物 量	金 額		
計		10,096		27,100 (18,000)		
經濟性漁船普及	1,940隻	4,811	1,600隻	5,120	5	10 / 5
低效率機關代替	22,000HP	2,816	22,000HP (22,000HP)	2,816 (2,816)	5	1 / 4
裝備改良	-	-	586臺 (586 臺)	1,184 (1,184)	5	1 / 4
水産物食糧化施設	5個所	1,734	14個所 (14個所)	4,400 (4,400)	8	2 / 5
· 冷凍凍肉	4個所	1,574	(8個所)	(3,200)		
· 海産加工	1個所	160	(6個所)	(1,200)		
水産物処理加工	2個所	735	16個所 (10 個所)	13,580 (9,600)	8	2 / 5

資料：水産廳 協同組合課

註：'89年度 支援額중 ()內的 物量 및 金額은 '88 追更에 의한 支援分임.

裝備改良事業은 無電機, 魚探機, 레이더, 로란, 오징어自動釣上機 등 586臺의 漁撈裝備 購入資金을 低利로 支援하여 操業能率 向上과 漁民 所得增大에 寄與하였다.

그외에 水産物食糧化事業으로 14個所의 冷凍凍肉 및 海産加工 施設 資金을 支援하였으며 水産物處理加工施設事業은 16個所의 製氷, 冷凍· 冷蔵施設과 綜合魚市場의 新·增築資金으로 支援하여 水産物の 貯藏 및 流通改善에 寄與하였다.

4. 漁民負擔輕減

'89. 4. 28 発表한 農漁村發展綜合對策에서 沿近海漁業에 支援하고 있는 營漁資金 貸出金利를 年8%에서 年5%로 引下함에 따라 12,630 百萬원의 漁民負擔輕減 效果를 가져왔다.

또한 '86. 3 農漁村綜合對策에 依한 營漁資金 金利引下(10% → 8%)로 發生한 利差額 3,426 百萬원과 '87 農漁家負擔輕減에 依한 農水産關聯資金 金利引下, 零細漁家 中長期 資金의 低利代替 및 私債代替 特別相互金融 資金 金利引下로 發生한 利差額 4,017 百萬원 등 總 7,443 百萬원을 政府에서 補填하였으며, '87. 7 ~ 8 월에 發生한 颱風(셀마, 다이너)으로 漁船, 漁網 및 增養殖施設에 50%以上 被害를 입은 漁家が 使用中인 營漁資金에 대하여 2年間 償還期間 延長 및 利子 免除에 따른 約定利子殘額 786 百萬원을 政府에서 補助함으로써 漁民負擔을 輕減하였다.

5. 水協 自體資金

水協 自體資金의 圓滑한 調達을 위하여 一般受信店舖 2個所('89末 109個所), 相互金融 26個所('89末 181個所)를 增設하였고 108個所의 店

鋪에 온라인 網을 構築함으로써 '89年度の 當初計劃보다 1,029億원이 增加한 1兆 1,669億원을 調達하여 運用하였다.

(表 87) 水協 自體資金 造成 및 運用實績

單位：億圓

區 分		'88		'89		增(△)減率 (%)
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
調 達	自 體 資 金	4,466	42	5,199	45	16
	- 預 受 金	2,631	25	3,236	28	26
	- 特別會計預託	751	7	779	7	4
	- 會員換決濟	1,084	10	1,184	10	9
	借 入 金	5,561	52	5,699	48	2
	- 韓 銀	2,226	21	2,028	17	△ 9
	- 財 政 資 金	1,340	12	1,527	13	14
	- 諸 基 金	1,918	18	2,075	18	8
	- 外 貨	77	1	69	-	△ 10
	其 他	653	6	771	7	18
計		10,680	100.0	11,669	100	9
運 用	貸 出 金	8,094	76	9,309	80	15
	- 金 融	4,806	45	5,400	46	12
	- 財 政	3,288	31	3,909	34	19
	他 事 業 支 援	279	3	289	2	4
	現金 및 預置金	1,445	14	1,043	9	△ 28
	其 他	862	8	1,028	9	19

資料：水産廳 協同組合課

第 2 節 漁村開發 및 漁民後繼者 育成

1. 漁村 綜合開發事業

우리 漁村은 大部分이 島嶼 또는 奧地에 所在하고 있고 交通手段 等 社會 間接資本이 未備하며 臨海工團의 建設, 埋立 等으로 漁場面積이 縮小되고 工場廢水, 生活下水의 流入으로 水質이 汚染됨으로써 漁獲量 增加勢가 鈍化되고 있다.

따라서 漁村의 定住基盤을 造成하여 漁民들의 離村을 防止하고 地域 間, 産業間의 均衡있는 發展을 圖謀하기 위하여 '88年의 2個所에 이어 '89年에도 15個所에 漁村綜合開發事業을 推進하였다.

<表 88>

'89 漁村 綜合開發事業 推進實績

單位：千圓

事 業 別	事業量	事 業 費			
		計	國 庫	地方費	自 措
計	15個所	4,413,298	3,087,882	1,323,379	2,037
生産基盤施設		3,340,669	2,338,467	1,002,202	-
- 防波堤	688m	1,466,386	1,026,470	439,916	-
- 物揚場	404m, 2,334m	268,576	188,003	80,573	-
- 船 着 場 (進入路)	198m (67m未包含)	248,687	174,081	74,606	-
- 所得源道路 (擁 壁)	4,136m (221m未包含)	794,044	555,831	238,213	-
- 人工魚礁	1,792個	263,211	184,248	78,963	-
- 護岸道路	350m	188,287	131,801	56,486	-

事業別	事業量	事業費			
		計	國庫	地方費	自擔
- 岩盤除去	558m ³	55,716	39,001	16,715	-
- 委託場	1棟(531m ²)	54,687	38,280	16,407	-
- 施設附帶費	-	1,075	752	323	-
所得増大事業		773,107	539,748	231,322	2,037
- 바지락養殖	41ha	44,777	30,293	12,984	1,500
- 전복放流・養殖	32.7ha, 35個 40,000尾	296,229	206,984	88,708	537
- 魚貝類養殖場	1個所 (1,025m ²)	115,164	80,615	34,549	-
- 굴養殖	7ha	54,547	38,183	16,364	-
- 共同作業場 (露積作業場)	3個所 (2)	111,543	78,080	33,463	-
- 種苗培養場	3棟(200坪)	150,847	105,593	45,254	-
漁民福祉事業		299,522	209,667	89,855	-
- 漁民會館 (直売場復合施設)	3棟 (1)	214,664	150,265	64,399	-
- 給水・上水道 施設	2個所	78,964	55,275	23,689	-
- 共同便所	1個所 (9.62m ²)	5,894	4,127	1,767	-

資料：水産廳 協同組合課

2. 漁民福祉施設 擴充

漁船員 및 漁民들의 脆弱한 勤勞條件에도 不拘하고 이들을 爲한 福祉 施設이 不備한 實情이므로 漁船員 및 漁民들의 厚生福祉 增進을 圖謀하

고 漁業生産性 增進에 寄與하기 爲하여 長期的으로 漁民福祉施設 建立을 推進中에 있다.

'89년에는 1次的으로 政府補助 412百萬元과 水協中央會 自擔 102百萬元 等 總 514百萬元의 施設費를 確保하여 釜山 地域에 漁民福祉會館 1 個所의 建立을 推進하였으며, 앞으로도 全國 一線水協의 中心漁港에 現代의 施設을 갖춘 漁民福祉會館을 持續的으로 建立해 나갈 計劃이다.

3. 漁民後繼者 育成

'60年代 以後 經濟開發이 成功的으로 推進됨에 따라 工業化 내지는 都市化가 急速하게 遂行됨으로써 相對的으로 落後된 漁村에서는 有能한 靑少年들의 離漁現象으로 새로운 知識과 技術普及 未洽, 漁業勞動力의 質的低下, 都市·漁村間 所得隔差 深化로 漁村經濟의 活力이 低下되어 漁村의 成長과 生産力 向上的 鈍化現象이 나타남으로써 보다 더 生産的인 漁業勞動力의 離漁現象으로 이어지고 따라서 勞賃上昇, 生産原價의 上昇, 漁民所得이 低下되는 惡循環이 繼續되고 있었다.

政府는 이러한 問題를 解決하기 爲하여는 漁村을 發展시킬 核心的인 人才 養成의 必要性을 認識하고 漁村에 定着하여 漁業을 營爲할 意思와 能力이 있는 有能한 靑少年을 發掘, 支援하는 事業을 繼續하고 있으며, 最初 着手年度인 1981년부터 1989년까지 總 4,297名의 靑少年을 選拔하여 32,848百萬元의 長期 低利資金을 支援, 漁村에 定着케 하였다.

그 結果 이들은 漁村社會의 先導的 指導者로 浮刻되어 新技術과 新品種 普及及據點의 役割로 새로운 所得源의 開發, 生産原價의 節減, 漁民所得의 增大 등 漁村經濟의 活性化를 促進시켜 나가고 있다.

〈表 89〉

漁民後継者 育成実績

單位：名, 百萬円

漁業別	計		'81 ~ '87		'88	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
計	4,297	32,848	4,147	31,355	150	1,493
漁船漁業	2,602	21,103	2,508	20,116	94	987
魚貝類養殖	796	6,156	758	5,794	38	362
海産類養殖	856	5,329	839	5,193	17	136
水産物加工	43	260	42	252	1	8

資料：水産廳 協同組合課

第 3 節 水産 團體 育成

1. 水産業協同組合

가. 組織

水産業協同組合法의 改正(法律 第4084號, '88.12.31) 및 水産業協同組合任員 任免에 關한 特別措置法의 廢止(法律 第4083號, '88.12.31)에 따라 73個 水産業協同組合중 33個 水産業協同組合의 組合長을 비롯한 組合의 任員을 組合員이 直接 選出함으로써 水産業協同組合의 組織 改編이 進行되었다.

나. 運 營

(1) 事業規模

'89 年의 水協의 事業規模는 49,975 億원 (中央會 : 28,915, 會員組合 : 21,060)으로 前年에 比하여 7,600億원이 增加, 18%의 成長勢를 記錄하
였는 바 이는 주로 信用, 共濟, 相互金融事業의 伸張에 기인하고 있다.

<表 90> 水協中央會 事業規模 單位 : 億원

區 分	'80	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	12,962	26,825	42,375	49,975	117.9
中央會	7,650	16,100	24,906	28,915	116.1
會員組合	5,312	10,725	17,469	21,060	120.5

資料 : 水協中央會

(2) 收支狀況

'89年度 水協中央會의 事業收益은 前年에 比하여 23,083百萬원이 增
加한 366,874 百萬원이며 事業費用은 18,250百萬원이 增加한 336,375百萬
원으로서 890百萬원의 當期純利益이 發生하였다. 한편 會員組合은 地區
別 水協의 境遇 委販手數料와 貸出利子가 主된 收益源으로 收益은 前年

<表 91> 水協中央會 收支狀況

單位 : 百萬원

	'80	'84	'88	'89	'89/'88(%)
收 益	57,311	271,887	333,574	375,036	112.4
費 用	56,834	270,751	332,548	374,146	112.5
剩 餘	477	1,136	1,026	890	86.7

資料 : 水協中央會

對比 10,248百萬元이 増加한 162,613百萬元이며, 費用은 大部分을 借入金
利子·事業管理費 等으로 '88年度보다 8,210百萬元이 増加한 153,859百萬
원으로 8,751百萬元의 當期 純利益이 發生하였다.

〈表 92〉 會員組合 收支狀況

單位：百萬元

	'80	'84	'88	'89	'89/'88(%)
收 益	66,291	80,611	152,365	162,613	106.7
費 用	65,441	78,522	145,649	153,859	105.6
剩 餘	850	2,089	6,716	8,754	130.3

資料：水協中央會

(3) 出資金 造成

水協自立基盤 確立의 基礎가 되는 出資金을 擴大 造成하기 爲하여
'72년부터 増資運動을 推進하여 왔으며 그 結果 '89年 水協中央會 出資

〈表 93〉 出資金 造成 狀況

單位：百萬元

區 分	'80	'84	'88	'89	'89/'88(%)
計	13,915	36,597	67,656	76,302	112.7
水協中央會	2,239	7,397	11,203	12,193	108.8
會員組合	11,676	29,200	56,453	64,109	113.5
- 地區別	9,616	23,949	47,377	53,785	113.5
- 業種·製造別	2,060	5,251	9,076	10,324	113.7

資料：水協中央會

金은 '88年 對比 8.8%가 增加한 12,193百萬원을 造成하였으나, 會員組合에 對한 出資配當金은 前年對比 32%가 減少한 383百萬원을 配當하였으며, 會員組合의 出資金은 '88年에 比해 13.5%가 增加한 64,109百萬원을 造成하였고, 組合員에 對한 配當金은 4,676百萬원(基準出資金 平殘의 8.2%)을 配當하였다.

2. 水產物 輸出 團體

水產物 輸出團體는 對外貿易法에 의하여 設立된 韓國水產物輸出組合과 生産者 團體이면서 輸出團體로서의 機能을 遂行하고 있는 水産業協

〈表 94〉 水產物 輸出團體 現況

團體名	根據法律	認可者 (認可日)	輸出推薦品目
○ 韓國水產物 輸出組合	對外貿易法 第 55 條	商工部長官 ('86. 5. 1)	活·鮮·冷凍魚類, 軟體動物, 간미역, 취치포 등 (57個 品目)
○ 水産業協同 組合中央會	水産業協同 組合法	水産廳長 ('62. 4. 1)	굴통조림 (1個品目)
○ 韓國遠洋漁業 協會	民法 第 32 條	水産廳長 ('64. 4. 1)	新鮮 冷蔵, 冷凍참치류(8個 品目)
○ 韓國內水面 漁業協會	民法 第 32 條	水産廳長 ('70. 4.15)	活·新鮮 冷蔵 뱀장어, 실지렁이 등 (3個 品目)
○ 大韓漁網 工業協會	民法 第 32 條	水産廳長 ('66. 3.31)	網 및 끈類(16個 品目)

資料 : 水産廳 貿易課

註 : 輸出推薦品目數는 H S 分類(10單位)에 의함.

同組合中央會、韓國遠洋漁業協會、韓國內水面漁業協會、大韓漁網工業協會 등 5個 團體가 있다.

이들 水産物 輸出團體는 對外貿易法 第18條의 規定에 의한 輸出入公告上으로 委任받은 輸出對象品目の 輸出推薦業務를 管掌함으로써 當該品目の 輸出增大에 寄與하고 있고 그의 輸出秩序의 維持 및 會員社에 대한 輸出支援資金의 配定 등 會員 共同利益 增進을 위한 業務를 遂行하고 있다.

第 4 節 災害補償 및 被害復舊

1. '89被害復舊 推進

'89年은 颱風 "쥬디"와 5次的 暴風雨로 인해 24,726百萬원의 水産被

<表 95>

被害狀況 및 復舊費 支援內譯

單位：百萬원

	被 害		復 舊 費 支 援					
	物 量	金 額	物 量	計	國 庫	融 資	地方費	自 擔
計		24,726		25,679	9,866	9,469	670	5,674
漁 船	2,395隻	4,600	2,157	10,410	2,527	6,131	-	1,752
漁 港	39個所	1,662	34	1,747	1,084	-	663	-
增養殖	1,990件	14,229	1,300	9,246	5,400	773	7	3,066
漁 網	967件	4,235	839	4,276	855	2,565	-	856

資料：水産廳 施設課

害가 發生하여 被害復舊費 25,679百萬元, 無償糧穀과 特別生計補助費로 1,599百萬元를 特別支援하였으며 그의 營漁資金 償還延期 및 利子減免, 中·高等學生授業料 免除등의 間接支援 措置를 하여 被害漁民이 生業에 早期 復歸할 수 있도록 하였다.

2. 漁船 및 船員共濟 支援

漁船共濟 加入時 加入金額의 決定 基準이 되는 漁船評價表는 '85.10.1 改正되어 그 동안 經濟的 與件變化 및 物價上昇 등으로 漁船의 實去來 價格보다 낮게 評價되어 共濟金에 依한 災害漁船의 原狀復舊에 어려움이 있었다. 이에 따라 '89.10.1 漁船評價表를 調整하여 船體 및 機關은 平均 23%, 織裝品은 平均 34%를 引上하였다.

또한 漁船에 急速冷凍施設 및 放熱施工을 한 境遇 總噸數 噸當 1,150 千원을 增額評價할 수 있도록 評價 基準을 新設하고 漁船 評價는 新噸數로 評價토록 變更하였으며 漁具에 대한 評價方法을 新設하여 新品의 境遇 購入 證憑書類나 通常去來價格에 依하여 評價하고 中古品은 新品 價格 範圍內에서 共濟加入者와 協議決定토록 함으로써 共濟加入 金額의

<表 96>

船員共濟料 國庫補助金 支援 實績

單位：百萬元

區 分	'79	'84	'88	'89	'89/88(%)
人員(名)	39,937	47,767	44,156	46,667	105.7
補助額	90	473	816	1,114	136.5

資料：水産廳 協同組合課

擴大 및 災害補償金額의 現實化를 期하였다. 船員共濟는 '88年度에 國庫補助率이 調整되지 않은 30~50名未滿 漁船員의 補助率을 20%에서 25%로 引上하여 '89年度에 總 46,667名에게 1,114百萬圓의 國庫補助金을 支援하였다.

3. 養殖共濟制度 導入

異常暖冬, 病害, 赤潮 등 해황이변으로부터 養殖漁業經營의 安定化를 圖謀하기 위하여 韓國農村經濟研究院에서 釜垂下養殖共濟 試驗事業 設計를 위해 '86年度の 共濟設立 可能性 檢討에 이어 '89년에는 對象海域, 加入 및 引受方法, 共濟料率算定, 組織 및 運營 등 全般的인 試驗事業 實施를 위한 基本設計書를 作成, 完了하였다.

第 5 節 水産關聯 稅制支援

1. 漁業用 機資材 附加價値稅 零稅率 適用

漁民이 使用하는 漁網, 浮子, 養殖 및 定置漁業用 로프 등 13個 品目の 漁業用 機資材에 대하여 '89年 부터 附加價値稅의 零稅率을 適用하고 있으며 이로 인하여 漁民은 年間 約 82億圓의 附加價値稅를 免除받게 되었다.

그러나 아직도 他産業에 비하여 相對的으로 所得이 낮은 漁民들의 實質所得 增大를 위하여는 漁船 및 附屬器機, 裝備, 漁業用 로프 등 零稅率 適用對象에서 除外되어 있는 主要機資材에 대하여도 附加價値稅 免

稅를 위하여 關係部處와 緊密히 協議하고 있으나 事後管理의 어려움과 他産業과의 稅制支援 衡平上의 問題로 이의 實現을 보지 못하고 있다.

〈表 97〉 零稅率 適用 機眞材 品目

1. 어망	2. 부자	3. 집어등	4. 자동조상기	5. 양망기
6. 양승기	7. 통발	8. 초호	9. 낚시	10. 연승
11. 발장	12. 해녀용 잠수복·잠수복지·물안경 및 대와			
13. 폴리에틸렌로푸 및 폴리프로필렌로푸(양식어업 또는 정치어업용)				

資料 : 水産廳 漁政課

2. 所得標準率 引下

政府에서는 '89年度에 發生한 所得에 대한 所得稅 賦課時 適用할 所得 標準率 調整에 있어서 水産業의 경우 24個 業種중 貝類養殖(投石式)等 6個 業種에 대하여는 平均 10% 引下하였으며 魚類의 原始 加工業에 대하여도 '88年度까지는 자기가 捕獲한 것으로 加工하거나 他人으로부터 買入하여

〈表 98〉 水産業 分野 所得標準率 調整內譯

單位: 千원, %

業 種 別	'88		'89 基本率	備 考
	收入金額	基本率		
貝 類 (投石式)	36,000~101,000	10.0	9.0	水産分野 7個 業種에 대하여 平均 10% 引下
" (撒布式)	36,000~159,000	6.3	5.7	
" (垂下式)	36,000~144,000	7.0	6.3	
藻 類	36,000~155,000	6.5	5.9	
海面魚類 養殖	36,000~ 87,000	11.5	10.5	
內水面 養殖	36,000~ 80,000	12.5	11.5	
魚類 原始加工 (分離)				
- 자기가 捕獲한 魚類 原始加工	36,000~126,000	8.0	8.0	
- 買入魚類 原始加工(新設)	40,000~140,000	-	7.2	

資料 : 水産廳 漁政課

加工한 것을 區分하지 아니하고 所得標準率을 同一하게(基本率 8%) 適用 하던 것을 他人으로부터 買入하여 加工時에는 10% 引下 適用하도록 分離, 新設함으로써 '89年度에 經營이 어려웠던 養殖漁業과 零細한 魚類乾燥業을 經營하는 事業者의 稅負擔이 '88年度에 比하여 約 270萬만원 輕減되었다.

3. 免稅油類 供給

附加價稅 10%와 特別消費稅 9%를 免稅하고 있는 漁業用 油類(市 中價格보다 輕油 1드림當 9,288원이 低廉) 供給事業은 '89年度에는 前年 에 比하여 7.1% 增加한 4,264千 드림을 供給함으로써 年間 367億원의 漁 民負擔이 輕減되었다.

또한 零細漁民에게 免稅惠澤이 高루 미치도록 落島·僻地의 小型漁船

<表 99>

免稅油類供給實績

單位：千드림

	'86	'87	'88(A)	'89(B)	B/A(%)
計	3,388	3,624	3,980	4,264	107
輕油	2,725	2,966	3,359	3,670	109
輕質重油	601	598	573	537	94
重油	39	33	18	20	111
潤滑油	23	27	30	37	123
漁民受惠 (百萬원)	34,010	35,721	35,310	36,724	104

資料：水産廳 漁政課

에 대한 免稅油 擴大 供給事業을 繼續 推進하였으며 特히 '89년까지는 沿近海 漁業用 船舶에 한하여 供給하던 免稅油類를 '90년부터는 內水面 漁業用 船舶과 裸潛漁業 從事者의 更衣室 暖房用 油類도 免稅供給하게 되어 年間 約2億원의 漁民負擔이 追加로 輕減하게 되었다.

역백

第 3 編

1990年度 水産施策

여백

第 1 章 水産施策의 基本方向

第 1 節 指標와 重點施策

우리나라의 水産業은 '60년대에 들어서 水産行政 組織과 制度의 整備로 水産開發의 基盤을 構築하게 되었고, '70년대에는 養殖技術 및 漁具 漁法の 發展과 遠洋漁業의 活性化로 高度의 成長을 이룩하게 되었으며, '80년대에는 持續的 成長으로 세계 先進水産國圈에 進入하였고 國民 食糧 次元에서도 動物性 蛋白質의 折半 량을 供給함으로써 水産資源의 效率的인 利用開發, 需要는 더욱 增大되었다. 이와 반면에 水産資源의 減少 및 輸入自由化 壓力 등 國內外的인 漁業環境은 점차 惡化되고 있으며 漁民의 所得도 다른 分野에 미치지 못하고 있을 뿐만 아니라 漁村의 生活環境 또한 劣惡하여 水産業의 主役인 漁民들이 漁村을 떠나는 現象이 深化되어 가고 있는 實情이다.

따라서 '90년대를 맞는 금년에는 水産業의 與件 變化에 따른 對應方案을 다각도로 講究할 뿐만 아니라 "바다를 보다 豐饒로운 漁民의 生活 터전으로 가꾸고, 水産業을 競爭力 있는 食糧産業으로 育成하며, 漁村을 定住環境이 갖추어진 生活圈域으로 開發"하기 위해 水産物 生産 345만 톤, 輸出 17억 달러를 指標로 設定하고 다음과 같은 重點施策을 積極 推進해 나갈 計劃이다.

— < 指 標 > —

生 産 : 345만톤

輸 出 : 17억달러

— < 重 點 施 策 > —

- 水産資源의 造成과 保護
- 沿近海 漁業의 構造 調整
- 遠洋 漁場의 持續的 開發
- 漁業基盤 施設의 擴充
- 水産物 價格安定과 食糧化
- 水産研究 強化와 技術開發 普及
- 漁村開發과 漁民 支援의 強化

第 2 節 投融資 規模

1. 水產部門 豫算

'90年 水產部門의 總 豫算額은 1,756億원으로서 '89年의 1,626億원에 비해 8.0%가 增加된 規模이며, 이는 政府 總豫算의 0.7%, 農林水產 豫算의 8.2%를 차지하고 있다.

〈表100〉 '90 水 產 豫 算

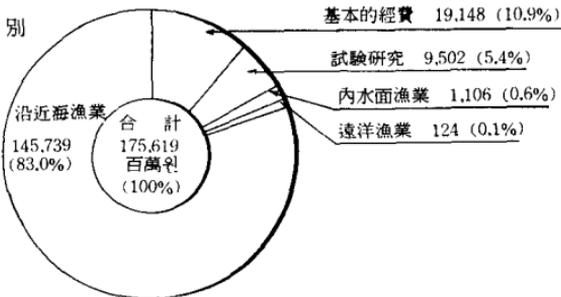
○ 會 計 別

單位：百萬圓

	'90	'89	增△減	'90/'89(%)
一 般 會 計	138,389	133,313	5,076	103.8
財政投融資特別會計	30,730	25,291	5,439	121.5
國 庫 債 務	6,500	4,000	2,500	162.5
計	175,619	162,604	13,015	108.0
事 業 費	156,471	146,815	9,656	106.6
基 本 的 經 費	19,148	15,789	3,359	121.3
· 人 件 費	15,137	12,382	2,755	122.3
· 基 準 經 費	3,253	2,700	553	120.5
· 官 署 運 營 費	758	707	51	107.2

資料：水產廳企劃豫算擔當官室

○ 漁 業 別



〈表 101〉

'90 事業別 豫算 內譯

單位：百萬円

	'90	'89	增 △ 減
計	175,619 (30,730)	162,604 (25,291)	13,015 (5,439)
1. 事業費	156,471 (30,730)	146,815 (25,291)	9,656 (5,439)
○ 水産資源 造成	11,728	10,770	958
○ 養殖漁場 開発	4,921 (4,264)	4,732 (3,834)	189 (430)
○ 内水面 漁業開発	1,106	669	437
○ 遠洋漁場の 安定的 確保	124	523 (400)	△ 399 (△ 400)
○ 漁 港 建 設	62,021	57,082	4,939
○ 漁 撈 施 設	6,339 (3,797)	5,821 (3,482)	518 (315)
○ 水産物 流通施設	1,144 (639)	1,816 (1,025)	△ 672 (△ 386)
○ 試験研究 及 漁村指導	9,502	8,538	964
○ 水産資金 及 負擔輕減 支援	39,207 (22,000)	40,263 (16,500)	△ 1,056 (5,500)
○ 漁 民 支 援	5,689 (30)	4,706 (50)	983 (△ 20)
○ 安全操業指導	10,842	8,730	2,112
○ 其他 經常事業	3,848	3,165	683
2. 基本的 經費	19,148	15,789	3,359

資料：水産廳 企劃豫算擔當官室

註：()内：계특입.

2. 各種 水産資金 支援

以上の 政府豫算외에도 漁業經營 및 水産物 價格安定을 위해 營漁資金、農水産物 價格 安定基金 등 各種 水産資金을 前年에 비해 1,497億원이 늘어난 7,696億원을 支援할 計劃이다.

<表 102> '90 水産資金 支援計劃

單位：億원

	'90	'89	增△減	分野別 支援 內譯
計	7,696	6,199	1,497	
營 漁 資 金	6,000	4,800	1,200	○ 沿近海漁業 5,190 ○ 遠洋漁業 810
水産振興財政資金	85	85	-	○ 製造加工 65 ○ 水産機資材生産 20
農漁村 發展基金	288	106	182	○ 沿近海漁業 19 ○ 製造加工 78 ○ 漁撈施設 158 ○ 流通改善 20 ○ 水産機資材生産 13
農水産物 價格 安 定 基 金	1,173	975	198	○ 價格支持 및 流通 改善 1,173
國民投資基金	150	180	△ 30	○ 漁撈施設 150
水産振興基金	-	53	△ 53	○ 農漁村發展基金에 統合

資料：水産廳 企劃豫算擔當官室

第 2 章 水產資源의 造成과 保護

第 1 節 水產資源 造成

1. 人工魚礁施設 擴大

〈表 103〉

人工魚礁施設計劃

單位：噸

	既施設('71~'89)	'90 計 劃	總施設('71~'90)
計	46,298	9,000	55,298
釜 山	295	200	495
京 畿	732	300	1,032
江 原	7,380	1,200	8,580
忠 南	1,608	600	2,208
全 北	1,488	500	1,988
全 南	9,410	1,800	11,210
慶 北	7,914	1,400	9,314
慶 南	11,903	1,800	13,703
濟 州	5,568	1,200	6,768

資料：水產廳 資源造成課

沿近海水産資源의 産卵, 棲息場을 造成하기 위하여 '90년에는 12,852 百萬원을 投資, 9個市·道의 施設適地 9千헥타에 人工魚礁를 施設하고 既施設한 海域중 36個所에 대하여 漁獲效果와 魚礁의 保存狀態를 調査하며, 各 水域 및 魚種에 適合한 魚礁를 開發하고자 試驗研究도 積極 推進해 나갈 計劃이다.

2. 種苗生産·放流

'90 ~ '91년에는 高級水産 種苗의 量産体制 確立과 새로운 品種의 種苗生産 技術開發을 위하여 年間 1,200萬마리의 種苗生産 能力을 가진 中間種苗育成場을 갖춘 大規模 水産種苗培養場 1個所를 新設코자 '90년에는 施設候補地를 確定, 敷地買入 및 設計를 完了하고, '91년에는 種苗生産 施設을 完工할 計劃이다.

그리고 既存 10個 種苗培養場에도 貝藻類 爲主에서 魚類 및 甲殼類 爲主의 施設로 補強하기 위하여 500百萬원을 投資하고, 3,740萬마리의 有用種苗를 生産하여 漁村契 및 養殖漁民 등에게 分讓하거나 沿岸에 放流할 計劃이다. 이 가운데 巨濟水産種苗培養場에서는 넙치受精卵 1,000萬마리, 보리새우 500萬마리 등 1,515萬마리의 種苗를 生産할 計劃으로 있어 가장 큰 規模를 나타내고 있다.

또한 沿岸漁場 資源造成의 加速化和 資源造成의 民間參與를 誘導하기 위하여 民間種苗培養場에서 生産한 水産種苗를 '90년에도 165百萬원을 投資, 2,134萬마리를 買入하여 沿岸漁場에 放流할 計劃이며, 연어稚魚는 '89년에 비해 12% 增加한 1,030萬마리를 東海岸 9個 河川에 放流하고 연어의 回歸率을 높이기 위하여 遡上河川의 整備과 孵化用水의 改善 및 稚魚飼育의 技術 등을 繼續 開發할 計劃이다.

〈表 104〉

培養場別種苗生産計劃

單位：千마리, 千貝, 千알

	計	注文津	保寧	扶安	莞島	麗川	迎日	巨濟	南海	北濟州	南濟州
計	37,400	420	5,250	850	850	6,100	470	15,150	1,350	3,710	3,250
넙치	140				20		20	50			50
참돔	650				50	100			100	200	200
감성돔	100					100					
조피라	160	10	50	50	50						
송어	130		100		30						
전복	2,050	400	100	100	200	300	300	100	50	500	
소라	10									10	
진조개	50								50		
보새리우	6,000							5,000	1,000		
대하	5,200		5,000	200							
꽃게	750					600			150		
보성라게	150						150				
북쪽말동성게	10	10									
김상사채	1,000			500	500						
넙치수정란	18,000					5,000		10,000			3,000
참수정란	3,000									3,000	

資料：水産廳 資源造成課

第 2 節 養殖漁業開發

1. 養殖漁場 開發方向

‘90年度의 漁場開發은 新規漁場의 開發보다는 漁場의 生産性 및 品質의 向上과 漁業秩序 確立을 위하여 既存漁場의 整理와 整備에 注力할 計劃이다.

漁場開發 方向에 있어서는 多數漁民의 所得增大를 위해 김, 미역, 굴, 피조개, 바지락 등과 같이 養殖技術이 普遍화된 品種과 共同管理가 容易한 品種은 漁村契 所得源으로만 開發토록 하고, 眞珠조개, 魚類養殖, 새우 등과 같이 高度의 技術과 많은 資本을 必要로 하는 品種에 대하여는 開發能力을 갖춘 漁村契와 一般漁民에게 開發토록 하고 있다.

그러나, 김, 미역, 굴, 피조개와 같이 生産過剩 우리가 있는 品種에 대하여는 過多生産에 따른 養殖漁民의 被害를 防止하기 위하여 全國單位로 漁場開發 및 生産을 調節해 나가고 있으며, 魚類, 眞珠조개, 새우 등 高所得 新品種의 漁場 開發을 擴大하여 養殖品種을 多樣化해 나갈 方針이다.

2. 增養殖事業 支援

‘90年度에는 總 事業費 54億원을 投資하여 島嶼, 僻地 등 低所得漁村契의 所得源開發을 위해 主要貝類, 새꼬막 養殖 등 220헥타의 漁場을 開發하고 異常暖冬과 갯병被害 發生時的 被害에 對備하여 김冷凍網 3,000冊을 支援할 計劃이다.

또한 高級魚種의 增産을 促進하기 위하여 魚類養殖場 43個所를 開發

하고 養殖漁業의 基盤構築을 위하여 魚類種苗培養場 3個所 및 飼料貯藏庫 6個所를 支援하여 施設할 計劃이다.

〈表 105〉 水産増養殖事業 支援計劃

	事業量	事業費	支 援 率	事業對象者
計	220헥타 3,000柵 52個所	千圓 5,422,500		
○ 養殖漁場開發	220헥타 3,000柵 43個所	4,522,500		
- 主要貝類	115헥타	126,500	國庫21%、地方費9% 融資60%、自擔10%	漁村契
- 새 꼬 막	105헥타	126,000	"	"
- 김 냉 동 망	3,000柵	120,000	"	水協, 漁村契, 引養殖漁民
- 魚類 養 殖	43個所	4,150,000	融資80%、自擔20%	漁村契, 漁民協業 體, 漁民
	大型 40	4,000,000		
	小型 3	150,000		
○ 養殖基盤施設	9個所	900,000		
- 魚類種苗 培 養 場	3個所	300,000	融資80%、自擔20%	水協, 漁村契 漁民協業體, 漁民
- 飼料貯藏庫	6個所	600,000	"	水協, 漁村契, 漁民協業體

資料：水産廳 増殖課

3. 養殖漁場管理 指導

養殖漁場의 效率의인 管理와 不實管理漁場의 防止를 위하여 養殖漁業 權을 品種別, 養殖時期別로 區分 每年 定期的으로 정밀實態調査를 實施 하여 不實管理漁業權은 關係法規에 의거 強力措置하여 漁業秩序를 確立 하여 나가고 있으며 漁場性을 勘案한 適正施設 指導와 함께 主要養殖品 種 主産團地에 대한 漁場에 찰을 強化하여 被害豫防指導와 被害發生時 迅速한 對處로 被害를 最小化하여 나갈 計劃이다.

또한 漁業秩序確立 및 單位生産性 向上을 위하여 施設時期에는 關係 機關 合同指導團束을 實施하여 不實管理 漁場정비와 함께 不法漁業을 強力團束하여 나가는 한편, 先進示範漁場 見學行事를 開催하므로써 當 該漁場의 不法, 不實管理漁場 정비조치는 물론 隣近漁場으로 同 漁場整 備效果를 波及시켜 漁民의 意識提高를 통한 漁場秩序確立을 圖謀하여 나갈 計劃이다.

第 3 節 內水面漁業 開發

1. 內水面資源造成

大單位水面 等 遊休內水面에 대한 水産資源을 造成하기 위하여 404百 萬원을 投入 잉어, 떡붕어, 향어, 송어의 稚魚(體長 5 ~ 7Cm) 21.5百 萬마리를 昭陽湖, 衣岩湖 및 陝川湖에 放養할 計劃이다.

魚種別로 보면 一般魚種인 잉어, 떡붕어는 10.4百萬마리를, 開發魚種 인 송어, 향어는 11.1 百萬마리를 放養할 計劃이며, 水面別로는 昭陽湖에

冷水性魚種인 송어 4.1百萬마리, 衣岩湖에 잉어, 떡붕어, 향어 6.7百萬마리, 그리고 陝川湖에는 잉어, 떡붕어, 향어 10.7百萬마리를 放養하여 內水面資源造成을 積極 推進할 計劃이다.

〈表 106〉 內水面 雜魚 放養 計劃

單位：百萬마리, 百萬원

	'71 ~ '89		'90	
	物 量	金 額	數 量	金 額
計	695	7,393	21.5	404
○ 一 般 魚 種	624	5,966	10.4	150
- 잉어, 떡붕어				
○ 開 発 魚 種	71	1,427	11.1	254
- 송 어	27	769	4.1	125
- 향 어	44	658	7	129

資料：水産廳 資源造成課

2. 內水面 潛在力 調査

內水面의 綜合的인 利用方案을 樹立, 計劃的인 開發을 推進코자 '89 ~ '90년까지 全國의 江, 河川, 湖沼, 貯水池, 養魚場 등을 對象으로 內水面 潛在力 調査를 實施할 것이며, 同 調査를 마친후 資料를 聚合, 分析, 整理하여 '91上半期에 報告書を 発行할 計劃이다.

3. 內水面漁業 技術開發 및 消費促進

全國의 均衡있는 內水面漁業振興과 地域特性에 알맞는 內水面漁業 開發을 위하여 '90년에는 江原道에 7億원을 투자하여 內水面開發 試驗場을

여건이 좋은 春城郡으로 移轉하여 現代式施設을 갖춰 養魚技術을 개발, 보급토록 할 계획이다.

또한 3個 國立內水面 研究所와 8個 道立內水面 開發試驗場에서는 수과 송어 및 鱒라피어 등의 性轉換技術과 遺傳育種技術 및 種苗生産技術을 시험, 개발중에 있다.

한편 淡水魚는 수산물식량화 및 어민소득증대를 위한 量産体制는 확립 되어 있으나 需要량과 消費形態의 한계로 인하여 供給超過 우려가 있어 담수어 直売場設置·運營, 새로운 요리법 및 가공품개발, 시식회 및 강습회 개최 등 지속적인 消費促進活動을 추진하여 나갈 계획이다.

第 4 節 沿岸漁場保全管理

生活下水 및 工團廢水, 廢棄物, 油類 등 各種 汚染物質에 의한 水質汚染과 公有水面 埋立·干拓으로부터 沿岸漁場을 保全하기 위하여 主要沿岸漁場 및 工團周邊水域의 環境汚染調査를 強化하고, 淸淨海域 및 水産資源保全地域 管理에 徹底를 기하는 한편, 沿岸漁場의 底質改善 및 各種 汚物收去 등 積極的인 環境淨化事業을 實施하고, 關係部處와 協調하여 汚染行爲規制, 團束, 汚廢水處理場 擴充, 制度改善 등 沿岸漁場 汚染防止對策을 樹立, 推進할 計劃이다.

1. 沿岸漁場環境調査 및 保全水域管理

主要沿岸 및 臨海工團 周邊水域에 183個 地點, 水産資源保全水域에 140個地點을 選定하여 一般汚染度와 重金屬含量 調査를 實施하는 한편,

清淨海域에 대해서도 161個 觀測點을 選定하여 海水 및 貝類에 對한 衛生調査를 實施하여 汚染防止 基礎資料로 活用할 計劃이다.

또한, 海域에 指定된 水産資源保全地域의 公有水面 埋立, 干拓, 鑛物採掘 等の 行爲를 強力히 抑制하는 한편, 保全地域周邊에 對해서는 工場設置 및 家畜放牧을 禁止시켜 保全地域의 清淨度 維持는 勿論 漁場의 生産性を 提高시켜 나갈 計劃이다.

2. 沿岸漁場環境淨化

養殖漁場 및 共同漁場과 養殖種苗採苗場의 漁場底質改善, 汚物除去, 漁場放置物 除去, 害敵生物 驅除 等を 通하여 漁場被害를 豫防하고 生産性を 增大시키기 위하여 '90년에는 國庫 500百萬圓을 支援하여 8,050ha의 漁場을 淨化하는 한편 效率的인 沿岸漁場環境淨化를 위해 汚染尤甚海域 優先淨化 및 淨化裝備 等도 研究, 開發해 나갈 計劃이다.

3. 赤潮被害豫防 및 漁場被害對策

여름철 高水溫期에 海水 富營養化와 더불어 赤潮가 자주 發生되고 있는 仁川, 木浦, 麗水, 統營 沿岸을 中心으로 58個의 觀測地點을 選定, 赤潮生物分布 및 發生環境 等を 調査하고 漁村指導員의 機動配置, 漁民赤潮監視員 地域別 配置, 試驗船 機動配置 및 關係機關合同 航空豫察 等 赤潮豫察 및 監視活動을 強化하고 赤潮發生時 迅速한 豫報體制를 構築하여 被害를 積極的으로 豫防할 것이며, 汚染도가 甚한 鎮海灣海域에 對하여는 食酸素水塊의 生成기구 및 變動調査를 實施하여 對備策을 講究해 나갈 計劃이다.

한편, 沿岸漁場汚染源인 廢水, 廢棄物, 기름 등의 海洋流入防止를 위하여 臨海都市의 下水 및 糞尿, 工團廢水 등 各種 汚染物質 處理施設을 擴充하고, 汚染物質의 海洋投棄行爲를 強力히 規制, 團束함과 同時에 汚染事故發生時 汚染源의 早期除去 및 被害救濟對策을 講究토록 하는 등 關聯部處와 積極 協調해 나갈 計劃이다.

第5節 漁業秩序 確立

1. 不法漁業 團束

每年 不法漁業 根絶對策을 樹立 推進하여 왔으나, 不法漁業의 實態에 是 큰 變化가 없는 등 漁業秩序가 아직도 確立되지 못하고, 더구나 一部 養殖場이나 共同漁場에서는 強·竊盜行爲까지 發生하고 있어, 이들 海上 不法行爲를 內務部, 法務部 등 關係機關의 協調下에 民生治安 確保 次元에서 根絶시키기 위하여 強力한 團束을 實施할 計劃이다.

主要對策으로서는 漁民에 對한 教育, 弘報를 持續的으로 實施하여 漁民의 自律的인 漁業秩序 確立運動을 誘導해 나가고, 不法漁業 豫防 및 再發防止 指導를 위하여 小型漁船 建造現場을 定期點檢하고, 不法漁業者에 對한 各種支援을 排除함과 同時에 不法漁獲物에 對한 委販을 徹底히 禁止시킬 計劃이다. 특히 沿近海 魚貝類의 産卵期 및 成育期(5월, 10월)에는 水産廳 및 市·道 合同으로 全國 一齊 團束을 實施하고 있으며 平常時에도 水産廳 및 市·道에 不法漁業 機動團束班을 編成·運營하여 尤其地域 및 周邊海域을 中心으로 한 集中團束을 持續的으로 實施하여 不法漁業 早期 根絶에 最善을 다할 計劃이다. 또한 이의 效率的인 推進

을 위하여 全國 沿岸市·郡의 指導團東 專擔係 新設을 積極 推進하고 小型快速艇을 建造하여 全沿岸 市·郡에 配置, 活用토록 하겠으며 老朽되었거나 절대수가 不足한 市·道 指導船을 追加 確保하는 등 指導團東 機能과 裝備을 補強한 計劃이며 아울러 不法漁業者에 대한 處罰을 強化하기 위하여 今年에 改正된 水産業法에 犯法者에 대한 罰則을 大幅 強化토록 하였다.

2. 安全操業指導

海上에서의 安全操業指導를 위하여 東海大和堆 오징어 盛漁期(6. 15 ~ 12. 31), 黃海, 東中國海 병어盛漁期(3. 1 ~ 7. 31), 西海 홍어盛漁期(10. 1 ~ 다음해 4. 30)에는 500톤급 以上 大型指導船을 配置하여 漁撈保護 및 操業紛爭 豫防指導를 기할 것이며, 특히 遠海漁場에는 1,300톤급의 福祉母船을 出動시켜 操業漁船에 油類, 食水, 機關附屬品 등의 船用品을 供給하고 應急患者에 대한 治療를 擔當할 醫師를 乘船시킬 計劃이다.

또한 主要 港口 39個所(出入港統制所 15個所, 合同申告所 24個所)에 水協의 漁船安全點檢要員 96명을 配置하여 出入港 漁船에 대한 安全點檢을 實施하고, 東·西海漁撈保護本部에 乘船指導員 各 10명을 配置하여 操業現場에서의 安全操業指導業務를 遂行하도록 할 것이다.

地區別水協 및 業種別水協 主管下에 沿近海漁船의 船主 및 船長, 機關長, 通信長 등 95千名에게 年1회의 安全操業教育을 實施할 計劃이다.

3. 漁業無線局 運營

漁業無線局은 出漁中인 漁船의 安全操業指導業務와 漁業活動支援 및 間諜船, 疑訝船舶發見報告 等 海上安保機能의 一部를 支援하고 있다.

'90년의 重點運營方針은 越線被拉 및 海難事故 豫防指導活動의 強化를 위하여 接敵海域에서 操業하는 漁船과 遭難漁船의 位置를 徹底히 確認하여 軍, 警 有關機關과 緊密한 協調體制를 維持함으로써 事故 發生을 未然에 防止하는 한편 遠海操業漁船의 通信 疏通難 解消을 위해 電波通達距離가 良好한 超短波 無電機 設置를 積極 勸獎하는데 力點을 두고 있다.

第 3 章 沿近海漁業의 構造調整

第 1 節 基本方向

沿近海漁業은 漁船勢力의 增大에도 불구하고, '80年以來 漁業生産이 150萬톤 水準에서 停滯되고 있으며, 單位生産性도 低下하는 등 沿近海 漁業資源의 限界性을 보이고 있어, 漁民所得 低下와 더불어 不法漁業의 要因이 되고 있을 뿐만 아니라, 國際 競爭力弱화로 對應能力이 不足한 心경에 있어, 沿岸資源造成事業의 擴大와 並行하여 資源水準에 適合한 漁船勢力을 維持하는 施策이 緊실이 要請되고 있다.

따라서, 現在 推進中에 있는 人工魚礁施設事業 및 種苗生産放流 등 漁業資源造成事業의 擴大 推進과 아울러, 水産資源 保全地域 등의 保護 管理와 漁場淨化事業의 擴大 등 沿岸漁場保全과 不法漁業의 根絶을 위한 對策에 대하여도 集中的인 努力을 기울여 나갈 計劃이다.

이와 並行하여 漁業競爭力이 低下된 不實漁業 및 漁船勢力이 過多한 漁業은 年次的으로 漁船을 整備하여 資源水準에 맞는 適正한 漁船勢力을 維持함과 아울러 個別漁船에 대해서는 그 規模나 設備 및 裝備를 現代化함으로써 漁業의 生産性向上 등 漁業競爭力을 높여나가기 위한 漁

業構造 調整對策을 積極 推進해 나갈 計劃으로 있다.

第 2 節 推進計劃

沿近海漁業 構造調整은 全体漁船勢力을 資源에 適合한 水準으로 整備하여 單位 漁船의 經濟性 및 競爭力을 높이는 한편, 資源의 合理的 利用管理를 위한 制度의 整備에 重點을 두고 推進하고자 하며, 그 推進方案으로는 漁船勢力이 過多한 漁業과, 細網을 使用하여 資源에 미치는 影響이 큰 漁業, 競爭力이 低下된 不實漁業을 對象으로 하여 年次的으로 漁船勢力을 減縮하여 資源을 回復시킴으로써 單位生産性 向上 및 經濟性을 提高하는 등 市場開放化에 對備, 能動的으로 對処하고 이와 더불어 大型漁船을 中心으로 遠距離操業에 필요한 冷凍施設 등 設備와 船舶構造改善을 통한 外延漁場 利用 및 海外漁場 進出을 積極 支援하여 利用漁場을 擴大해 나갈 計劃이다.

沿近海漁業 構造調整事業의 今後 推進計劃은 漁業資源 및 漁業經營 實態調査와 不實漁業許可의 整備 등 事前準備를 '90 ~ '91년까지 實施하고 이와 더불어 同 事業의 效率의인 推進을 위하여 '91年度에 事業推進 基礎調査를 研究機關 등에 用役調査를 의뢰하여 그 結果를 가지고 '92년부터 豫算을 確保, 漁船減隻事業 등 實質的인 漁業構造調整事業을 段階的으로 推進할 計劃이다.

第 4 章 遠洋漁場の 持続的 開発

第 1 節 漁業協力の 強化

1. 沿岸國과의 協力

200海里的 定着과 公海操業의 規制強化 등 國際漁業環境 變化에 對處하여 既存 漁場의 持続的인 確保와 새로운 漁場의 開發, 蘇聯·中國 등 特殊地域 進出을 위하여 美國과 蘇聯, 호주, 뉴질랜드, 파푸아뉴기니아 등 大洋洲, 수리남, 알젠틴 등 南美, 소말리아 케냐 등 아프리카 地域에 漁業交涉團을 各各 派遣할 計劃이며, 兩國漁業 協力增進을 위하여 蘇聯, 알젠틴 등 5個國 水産責任者를 招請할 計劃이다. 또한 開發途上 沿岸國과의 技術支援事業으로 수리남 등 24個國으로부터 27名의 研修生을 招請하여 漁撈技術과 漁船機關에 대하여 訓練시키고 수리남 등에 우리나라 水産專門家를 派遣하여 水産技術을 指導할 豫定이다.

우리나라와 漁業協力を 통하여 兩國間 漁業協定 締結이 이루어진 12個國중 뉴질랜드와는 協定延長을, 투발루, 키리바티, 룩, 호주, 불란서, 솔로

문과는 부족약정 更新을 위해 兩國間 會議과 FAO 등 우리나라가 既 加入한 世界水産機構 및 參加를 필요로 하는 國際會議에 參加할 計劃이다.

第 2 節 既存漁場의 確保

國際的인 200海里 時代에 접어들면서 主要 沿岸國들의 漁業資源 自國化 政策과 國際水産機構의 資源管理 規制強化로 많은 制約을 받고 있으나 각종 國際會議과 民官交涉團을 통하여 積極 對処함으로써 '89년에는 前年 對比 20%의 成長을 가져왔으며 '90년에도 820千톤을 生産할 計劃이다.

1. 참치 漁業

참치 漁業은 延繩과 旋網 漁業으로 區分되고 延繩 漁業은 날개 다랭이를 漁獲, 통조림 原料로 供給하는 海外基地式 操業方法과 횃감용으로 供給하는 獨航式 方法으로 區分된다.

한편, '89년에는 참치 獨航 漁船 36隻을 新規 增隻 對象으로 確定하여 示達한 바 있으며, 이 중 10隻은 國內 횃감 消費 專用으로 國內 市場 開發에 拍車を 가하여 國民所得 增大에 따른 횃감 供給 不足分에 充當하고자 하였다.

참치 延繩 漁業의 漁場은 對象 魚種인 참치가 高度 回游性 魚種으로 3大洋의 公海 漁場과 南太平洋의 키리바티 등 沿岸國의 入漁를 繼續 推進하여 既存 漁場의 確保에 最善을 다하고 있으며, 참치 旋網 漁業의 경우는 南太平洋의 마이크로 네시아와 파푸아 뉴기니아 水域 및 公海上에서

가나랭이를 主 漁獲 對象으로 하고 있으며 開發側面에서 增隻해 나가고 있다.

2. 오징어 漁業

우리나라 오징어 供給源은 沿近海와 南西大西洋, 뉴질랜드水域, 北太平洋 海域이며 1985年 南西大西洋 漁場이 開發되면서 오징어 채낚기 漁船이 크게 늘어나 1990年の 채낚기 漁船은 南西大西洋 49隻, 뉴질랜드水域 46隻에 달하며 오징어를 主 漁獲하는 트롤漁船도 크게 늘어나 南西大西洋 33隻, 뉴질랜드 水域 10隻이 操業하게 되었고, 빨강오징어를 主 漁獲하는 北太平洋 流刺網도 157隻에 달한다.

이와 같이 오징어를 主 漁獲하는 遠洋漁船 勢力이 크게 伸張한 要因은 오징어가 우리 國民의 嗜好食品이며 所得水準 向上에 따라 需要 또한 크게 늘어난 데 起因한 것으로 分析되며 年間 供給量은 1989年の 경우 28萬톤에 달하고 1990年은 約 30萬톤 水準에 이를 것으로 推定된다. 이러한 오징어 漁業의 海域別 出漁計劃 및 展望은 다음과 같다.

가. 南西大西洋

南西大西洋 오징어 채낚기船은 1985年 처음으로 20隻이 出漁하여 10千톤을 漁獲한 以來 漁船隻數 및 生産量이 急激한 伸張勢를 보이고 있으며 1989년에는 채낚기船 55隻 트롤漁船 14隻이 操業하여 145千톤을 漁獲하였으나 1990년에는 포클랜드 州政府과 英國政府가 오징어 資源 評價時까지 채낚기船 增隻抑制을 要請하여 채낚기船 4隻을 減隻하고 트롤船 19隻을 增隻하여 出漁시켰으나 漁況 不振으로 '89年 生産量에 미치지 못할 것으로 展望된다.

나. 뉴질랜드 水域

뉴질랜드 水域의 오징어 漁業은 1978년부터 出漁하여 1989년에는 채 낚기船 17隻, 트롤漁船 9隻이 17千톤을 漁獲하였으나 1990년에는 北洋 流刺網 漁船을 中心으로 뉴지水域 出漁를 希望하여 채낚기船 29隻, 트롤船 1隻이 追加로 出漁하였으며, 出漁時 뉴질랜드 오징어 漁獲쿼타를 總 40,375톤 確保하였다.

그러나 今年 漁期에는 漁況이 매우 不振하여 新規 出漁에도 불구하고 全体 生産量이 前年 水準에 그칠 것으로 展望된다.

다. 北太平洋

北太平洋 오징어는 빨강오징어로 주로 加工原料로 供給되어 調味 加工品의 消費底邊 擴大에 寄與하고 있으며 1989년에는 總 157隻이 出漁하여 112千톤을 漁獲하였으나 '89.9月 美國과의 流刺網 漁業 自律規制 合意에 따라 月別 操業 漁場의 制限 等으로 生産量은 前年보다 적은 105千톤으로 推定하고 있다.

한편 流刺網 漁業 規制와 관련 同 漁場의 確保를 위하여 채낚기 漁業의 試驗 操業도 積極 推進할 計劃이다.

3. 트롤 漁業

트롤漁業은 遠洋漁業중 比重이 가장 큰 業種으로서 遠洋生産量의 55%를 차지하고 있는 代表的인 業種이며 漁業別로 보면 다음과 같다.

가. 北洋 트롤

北洋트롤漁業은 명태, 가자미류를 主 對象으로 베링公海 및 美·蘇 經濟水域 그리고 北海道 周邊 水域에서 操業을 하고 있으며, 특히 '88年

度 부터는 美國의 對外國 漁獲쿼타량이 終熄됨에 따라 公海漁業에 置重하고 있으며 '90年度에는 總 178千톤 (共同事業 190千톤 包含)을 生産할 計劃이다.

그러나 沿岸國인 美國과 蘇聯이 베링公海 操業을 規制할 움직임이 可視化되고 있어 公海操業權 維持를 위하여 關係機關, 學界, 研究機關, 業界, 專門家로 北洋漁業對策委員會를 構成하여 綜合的으로 對処해 나갈 計劃이다.

나. 太平洋 기지트를

'77年 美·蘇의 200海里 經濟水域 宣布에 따라 同 水域 操業船 一部가 뉴질랜드 水域으로 漁場을 移動, 操業中 '78年 兩國間的 漁業協定 締結로 쿼타 操業하여 왔으나 資源의 自國化 政策에 따라 外國에 대한 쿼타 量을 削減하고 自國漁民에게 쿼타割當을 增大하여 '91年度부터는 쿼타 操業이 어려울 것으로 보여지고 있다. 따라서 個別入漁를 擴大하는 한편, '86년부터 進出한 인도네시아 水域등과 連繫하여 操業할 수 있도록 하여 既存 漁場의 確保에 積極的으로 對処할 計劃이다.

다. 大西洋 트롤

'66年 以來 進出하여온 大西洋 트롤漁業은 꾸준히 發展하여 '70年代에는 100余隻으로 成長하였으나 沿岸國의 200海里 宣布와 操業規制 強化로 最近에 와서는 40余隻으로 減少되었으며, 中西大西洋의 資源減少 등으로 經營難이 加重되어 '80年代 중반에는 南西大西洋을 비롯하여 NAFO 水域, 인도네시아 등 新漁場으로 進出하여 다소 活氣를 찾고 있다. 그러나 公海操業도 隣接國의 規制 움직임이 漸增되고 있어 多角的인 交渉을 통하여 操業漁場의 既得權 確保와 새로운 漁場 進出擴大에

努力한 計劃이다.

라. 印度洋 트롤

'80年代에 새로운 漁場確保 次元에서 進出한 中東漁場인 파키스탄, 오만 漁場은 그동안 關聯國의 規制에도 불구하고 兩國間 民間交涉에 의거 持續적으로 操業을 維持하여 오고 있다. 그러나 關聯國도 資源 保護를 目的으로 外國漁船의 入漁禁止 또는 漁獲量 制限 등으로 操業規制가 強化되어 새로운 漁場의 開發 必要性이 대두되면서 '80年代 後半期에 들어와 隣近 소말리아, 모잠비크, 인도, 버마 등에 進出하여 生産增大에 寄與하고 있다.

마. 中南美 새우트롤

'69年度에 수리남 파라마리보를 中心으로 하여 出漁한 새우트롤漁業은 가이아나, 佛領가이아나, 브라질 등에 進出, 새로운 所得源으로 脚光을 받아 왔으나 '77年 가이아나의 200海里 水域 宣布, '81年以後 佛領 가이아나의 쿼타 削減 및 漁獲物 揚陸 條件附 許可와 '88年 9月以後 브라질의 外國漁船 入漁規制 등으로 同漁場에서 撤収後 현재는 수리남 水域에서만 操業하여 오고 있다.

그러나 최근 수리남은 外國 進出會社에 대한 法人稅 賦課를 강력히 要求하고 있고 資源의 減少 등으로 漁業經營이 어려워 兩國間 協力を 통한 法人稅 賦課의 撤回 또는 留保를 위한 二重課稅 防止協定 등을 推進, 操業經營이 改善되도록 努力하고 있으며 今年에는 70隻이 操業하여 1,500톤을 生産한 計劃이다.

第 3 節 新漁場 開發

海外漁場の 持続的 確保를 위해 漁業協力에 의한 漁場 開發과 公海漁場 및 新漁法에 의한 漁場開發을 積極 推進할 計劃이다.

'90年度에는 漁業協力에 의한 漁場 開發로 印度, 모잠비크, 콜롬비아, 예멘, 기네漁場に 6個社 8隻을 出漁시킬 計劃이며 湄湄經濟水域 및 隣接 公海水域에 4個社 5隻을 出漁시켜 오징어채낚기 漁場을 開發하고, 新漁法에 의한 漁場開發을 위하여 아프리카 중서부 公海水域에 1個社 1隻을 出漁시켜 돛 立延繩 試驗操業을 推進할 計劃이다.

특히 政府의 對北方 政策의 一環으로 推進하고 있는 特殊地域漁場の 積極的인 開發을 위하여 蘇聯 水域進出은 '89年度에 이어 '90年度에도 繼續 擴大시켜 北太平洋 水域 大型 操業船의 代替漁場 確保 및 우리나라 朋友 需要의 새로운 供給源을 安定的으로 確保해 나갈 計劃이다.

그리고 中國水域進出은 앞으로 우리나라 沿近海漁場 擴張側面에서 推進하되 新規進出은 沿近海 漁船에 한하여 許容 할 方針이다.

第 5 章 漁業基盤施設の 擴充

第 1 節 漁港建設 促進

1. 漁港開發

'90年 漁港開發 方向은 外廓施設 完成 爲主에 두고 推進하고 있다. 1·3種漁港은 540億원의 事業費로 忠南의 安興港 等 25個港에 對한 建設 事業과 釜山의 多大浦港 等 5個港에 對한 補修·補強事業을 推進하고, 2種漁港은 80個港에 78億원의 事業費를 投資할 計劃이다.

〈表 107〉

漁港開發計劃

	投資港數 (個港)	物 量 (M)	事 業 費 (億 元)		
			計	國 費	地方費
計	110	7,230	618	579	39
1·3 種漁港	30	5,269	540	540	-
2 種 漁 港	80	1,961	78	39	39

資料：水産廳 漁港課

2. 漁港調查事業

颱風·暴風으로 인한 漁港施設被害 最小化 對策의 一環으로 漁港構造物 基礎地盤의 力學的 性質을 檢討·分析하여 安全斷面으로 確定하기 爲하여 於靑島港 地質調査를 實施하고 各港別 港勢에 適合한 適正規模의 接岸施設(物揚場)規模 判斷을 爲하여 安興港 等 31個港에 對한 接岸施設 所要規模를 調査한 豫定이다.

또한, 波浪 또는 潮流에 의한 防波堤 計劃區間의 地盤洗掘, 海岸浸蝕, 土沙의 港內流入에 따른 埋沒現象 等이 發生하고 있는 沙銅港에 對한 對策講究 및 合理的인 外廓施設 配置計劃을 講究하고자 數値모델 實驗을 推進하고 있으며, 關聯市·道知事가 1·3種漁港으로 港種變更을 要請한 茅項港(忠南 泰安) 等 4個港에 對한 指定妥當性 調査를 實施한 計劃이다.

3. 制度改善

漁港修築事業은 지금까지는 漁船收容 및 待避目的으로 基本施設 爲主의 漁港을 建設하여 왔으나 그동안 高度産業社會로의 發展에 따른 漁業 與件變化에 相應하는 漁港建設의 必要性이 擡頭되고 있으며 漁村地域을 漁港中心의 定住生活圈으로 開發하기 爲해서 現行 漁港法을 改正, 漁港建設에 對한 制度改善을 推進한 計劃이며 具體的인 改善方向은

첫째, 漁港機能施設의 範圍를 擴大하고 漁民에 對한 厚生福祉 및 住民環境整備施設을 大幅 新設하며

둘째, 漁港開發의 活性化를 爲하여 民資誘致方案을 講究하고

셋째, 主要施設計劃을 樹立한 때는 事전에 住民 또는 利害關係人의

意見を 取敢하는 行政節次를 確立함으로써 漁港建設事業에 住民의 參與를 擴大할 計劃이다.

넷째, 漁港區域內에서 一部 公有水面管理 또는 埋立業務와 重複되는 分野를 調整하고

다섯째, 漁港管理業務의 效率性を 提高하기 爲하여 漁港管理体系를 合理的으로 調整하고 漁港施設 使用料의 範圍를 設定할 計劃이다.

第 2 節 漁撈施設 現代化

1. 漁船建造

가. 老朽漁船代替

'90年度 老朽漁船代替事業은 6,329百萬원을 投入, '89年보다 100톤이 많은 1,800톤을 合成樹脂(FRP) 漁船으로 代替할 計劃이다.

老朽漁船代替事業 支援對象은 船齡이 木船은 16年以上, 鋼船 및 合成樹脂(FRP)漁船은 21年 以上이며 支援規模는 多數 零細漁民에게 高쿠 惠澤이 갈 수 있도록 8분未滿의 漁船을 代替 建造하는 境遇에 總建造費의 20%는 補助, 60%는 融資, 20%는 自擔으로 하고 融資支援條件은 2年 据置 6年償還에 年利 8%로 支援하고 있으며 老朽漁船일지라도 漁業許可나 漁業 鑑札이 없는 漁船이나 登錄 및 檢査를 未畢한 漁船은 支援對象에서 除外하고 있다.

나. 經濟性漁船 普及

合成樹脂(FRP)漁船은 腐蝕性이 없어 壽命이 길고 木船에 比하여

強度가 强할 뿐만 아니라 斷熱性이 良好하며 維持管理費 및 運營費가 節約되는 등 여러가지 利点이 있어 同漁船의 普及擴大를 위하여 '90년에는 1,600분을 建造支援할 計劃이다. 支援對象은 40분未滿의 小型漁船에 한하여 農漁村發展基金으로 總建造費의 80%를 3年据置 10년 償還에 年利 5%로 融資 支援하고 있다. 아울러 同漁船의 代替에 따른 漁民便宜 圖謀을 위하여 合成樹脂(FRP)漁船에 대한 性能向上 및 試驗研究를 통하여 標準漁船型 28種을 開發하였으며 '90년에도 2種은 開發할 計劃이다.

다. 計劃造船(漁船)事業

國民投資基金에 의한 計劃造船事業은 '77~'89년까지 310,108百萬원을 投入, 841隻 102,318분을 建造支援하여 40분이상 老朽漁船代替를 통한 漁民所得 向上과 國際競爭力 強化에 寄與하였으나 '88.9.9 産業政策審議會 議決에 의한 國民投資基金 改編方案에 따라 '92년부터 廢止토록 되어 있다. '90年度 計劃造船事業 配定資金 150億원은 '89年度(第14次)事業의 所要資金으로 全額 使用됨으로써 '90年度 新規事業 施行이 困難한 實情이며, 앞으로 '91年度에 配定이 豫想되는 90億원을 마지막으로 國民投資基金에 의한 計劃造船事業은 中斷된 實情이다. 따라서 漁船의 現代化에 必要한 計劃造船 事業은 政府豫算事業으로 繼續 推進될 수 있도록 努力할 方針이다.

2. 漁船設備 등 改良支援

가. 漁船機關代替

安全操業과 操業能率 向上은 물론 燃料節約을 위하여 燒球 및 陸上用

機關 등의 低效率機關과 老朽機關을 性能이 優秀한 燃料節約型 船舶用 機關으로 代替하여 漁民所得向上에 寄與하기 위하여 施行하는 事業으로 '90年度에는 '89年보다 22千馬力이 增加된 44千馬力을 確保하고 支援 對象도 500馬力까지 擴大하여 多數漁民에게 高우 惠澤이 가도록 하였고 零細漁民을 優先支援하기 위하여 低馬力順으로 選定하였으며 總事業費의 80%는 融資, 20%는 自擔으로 하고 融資支援條件은 1年据置 4年償還

<表 108>

漁撈施設事業計劃

單位：百萬圓

	物 量	事 業 費				備 考
		計	補助	融資	自擔	
計		27,457	1,266	20,699	5,492	
○ 漁船建造	3,400隻	12,729	1,266	8,917	2,546	
- 老朽漁船代替	1,800	6,329	1,266	3,797	1,266	
- 經濟性漁船普及	1,600	6,400		5,120	1,280	
○ 低效率機關 代替	44,000馬力	7,040		5,632	1,408	
○ 漁船裝備 및 設備改良	-	6,375		5,100	1,275	
- 設備改良	-	1,279		1,023	256	
- 無電機	100臺	150		120	30	
- 레이더	70	280		224	56	
- 로란	180	288		230	58	
- 魚群探知機	200	400		320	80	
- 오징어自動釣上機	1,530	3,978		3,183	795	
○ 漁船用機材生産支援	5個社	1,313	-	1,050	263	

資料：水産廳 漁船課

에 年利는 5%이다.

나. 漁船裝備 및 設備改良

'89년까지 漁船裝備만 支援하였으나 '90년부터는 漁船의 機械化·自動화를 위한 漁撈設備의 新規設置 및 改良과 船員 居住 및 操業環境 改善을 위한 船體 改良 등을 新規로 支援하여 支援對象 範圍를 擴大하였고 支援資金도 '89年度の 14億원에서 64億원 水準으로 大幅 擴大하였으며 總事業費의 80%는 融資, 20%는 自增으로 하고 融資支援條件은 1年据置 4年 償還에 年利는 5%이다.

다. 漁船用機資材 生産支援

漁船用機資材 生産業체에 대한 支援으로 優秀한 漁船用品의 生産과 圓滑한 需給을 圖謀하기 위하여 1個業体當 3億원의 限度內에서 支援한 計劃이며 融資支援條件은 1年償還, 年利 8%이다.

第 6 章 水産物價格安定과 食糧化

第 1 節 流通構造 改善

1. 産地 流通改善

産地 水協의 共同販賣物量을 '89년의 1,703千톤에서 '90년에는 1,950千톤으로 擴大하고 김, 미역, 톳 등의 委販 脆弱品目에 대하여도 組合과 漁村契間의 共同收集, 販賣事業을 大幅 擴大하여 '89년의 4,460톤에서 '90년에는 7,270톤으로 늘려나갈 計劃이다.

또한 産地 流通施設 擴充과 委販機能 強化를 위하여 2個組合에 魚代金 支給 電算施設을 追加로 設置하고 全國 8個 組合에 休憩室, 沐浴湯, 公衆便所 등 漁民便宜 施設을 擴充함으로써 漁獲物의 迅速한 處理과 對 漁民 서비스 改善을 圖謀한 計劃이다. 더욱이 今年度에는 農漁村 發展 基金 9億원을 支援하여 仁川, 靈津 등 5個 水協委販場 廢水處理施設을 設置함으로써 깨끗하고 衛生的인 流通環境을 造成하여 新鮮한 水産物을 供給할 計劃이다.

2. 消費地 流通改善

産地 水産物の 大都市 消費地 直出荷를 誘導하여 消費者에게 값싸고 新鮮한 水産物을 供給하기 위하여 水協의 内陸地 系統出荷 物量을 145 千톤으로 擴大할 計劃이며 또한 産地和 消費地間의 直去來 規模를 36 千톤으로 늘려나가고, 특히 정어리, 굴, 홍합 등 多獲性 魚種의 直去來 物量을 積極 擴大해 나갈 計劃이다.

그리고 水協 内陸地 共販場의 運營을 活性化시키기 위해 有力 仲買人 新規確保, 優秀 仲買人에 대한 優待, 支援方案 講究 등 仲買人의 持續的 育成方案을 講究하고 全國의 14個 水産部類 都売市場의 公益性 提高를 위하여 販路底邊 擴大와 公正去來秩序 確立을 重点 推進할 計劃이다.

3. 水産物 規格化 推進

水産物の 規格化 및 包裝 改善으로 商品性を 提高하고 水産物 標準 去來單位를 定着시키기 위하여 '90年度에는 새우젓의 1個 品目에 農安基金 35億원을 支援하여 13,937톤의 水産物에 대한 規格出荷 事業을 推進할 計劃이다.

<表 109>

規格出荷 事業計劃

單位 : 톤, 百萬元

	出 荷 組 合	規格出荷計劃		農安基金支援
		物 量	金 額	金 額
計		13,937	29,342	3,500
새우젓	강화, 인천, 신안	941	963	594
마른멸치	완도, 진도, 삼천포, 권현망, 여수	8,612	19,840	2,037
꽃게	웅진, 진도	382	766	459
굴	웅진, 갈수하식	3,758	7,572	285
멸치젓	경주, 완도	244	201	125

資料 : 水産廳 漁政課.

第 2 節 價格安定對策

'90年度 農水產物價格安定基金에 의한 水產物 價格安定事業은 總 運用額 5,650億원의 20.8%인 1,173億원을 水產分野에 投入, 이 중 1,138億원을 價格安定 分野에 支援할 計劃이다.

<表 110> 農安基金(水產部門) 運用計劃 單位: 百萬圓

	'89 支援實績	'90 運用計劃	增△減
計	94,160	117,298	23,138
政府 備蓄	15,560	33,098	17,538
民間價格安定	75,100	80,700	5,600
○ 收買支援	33,800	36,200	2,400
- 冷凍保管	23,000	23,000	-
(水 協)	(15,000)	(15,000)	-
(韓 冷)	(8,000)	(8,000)	-
- 凍조림加工	6,000	8,000	2,000
- 煉製品加工	2,500	2,500	-
- 鮫 加工	1,000	1,000	-
- 鱈미역 加工	1,300	1,300	-
- 乾魚脯 加工	-	400	400
○ 輸出促進	13,300	11,500	△ 1,800
- 冷凍水產物	3,900	4,000	100
- 活鮮魚·貝類	1,000	1,500	500
- 水產凍조림	8,000	6,000	△ 2,000
- 乾魚脯	400	-	△ 400
○ 生産者(團體) 出荷 調節	8,000	8,000	-
○ 水協委販場 出荷 促進	20,000	25,000	5,000
規格 出荷	3,500	3,500	-

資料: 水產廳 漁政課

註: '89 政府備蓄 運用計劃 規模는 18,871百萬圓임.

1. 政府 備蓄事業

지난해 보다 14億원이 늘어난 331億원의 農安基金을 支援하여 김, 冷凍오징어 등 8個 品目を 主生産時期에 産地水協을 통해 生産漁民으로부터 直接 收買하여 盛需期와 端境期에 放出, 價格 安定을 도모할 計劃이다.

특히 今年에는 水産物 輸入 開放化에 能動的으로 對処하고 安定的 價格 保障으로 漁民 所得 增大와 國民生活 安定을 위해 生産比重이 높고 物價管理에 寄與도가 높은 갈치, 고등어, 조기 등 3個 冷凍魚類 品目を 新規로 備蓄事業 對象品目에 追加하고 收買物量도 지난해 3,488톤 보다 大幅 늘어난 11,400톤을 收買 備蓄할 計劃이며 事業 品目에 대한 生産 및 價格動向을 銳意 注視, 需給 變動에 따라 伸縮性 있게 對処해 나갈 計劃이다.

〈表 111〉

政府 備蓄事業 計劃

單位：톤, 百萬元

	收買物量	基金支援	事業時期	
			收買	販賣
計	11,400	33,098		
김	400 (200萬束)	6,897	1 ~ 3月	5 ~ 11月
갈치	2,000	1,456	3 ~ 4月	7 ~ 11月
마른멸치	300 (10萬상자)	1,702	8 ~ 10月	12 ~ 4月
마른오징어	200 (267千송)	2,739	11 ~ 12月	12 ~ 4月
冷凍조기	2,000	11,715	2 ~ 4月	9 ~ 12月
冷凍갈치	1,000	1,875	8 ~ 10月	12 ~ 4月
冷凍고등어	3,000	1,368	8 ~ 10月	12 ~ 4月
冷凍오징어	2,500	5,346	9 ~ 11月	12 ~ 4月

資料：水産廳 漁政課

2. 民間 價格安定事業

지난해 보다 56億원이 늘어난 農安基金 807億원을 水協과 民間에게 支援하여 總 202千톤을 收買 目標로 價格安定事業을 遂行해 나갈 計劃이다.

이 중 冷凍保管과 凍조림·凍製品·간미역·乾魚脯 등 加工部門의 收買 支援 事業에 362億원을 支援하고 活鮮魚·貝類, 水産凍조림, 冷凍水産物 등 輸出促進 事業에 115億원, 水協의 生産者(團體) 出荷 調節 사업에 80億을 支援하여 價格調節 事業을 遂行케하고 水協 委販場 出荷促進 資金으로 50億원을 增額, 250億원을 支援하여 委販事業을 圓滑히 하도록 할 計劃이다.

특히 금년에는 收買支援 強化를 위해 건어포 輸出促進 事業을 加工 事業으로 轉換하고 수산통조림 輸出促進資金 20億원을 加工部分에 轉換 支援할 計劃이다.

또한 事業의 效率性を 도모하기 위하여 收買支援 事業資金의 貸出實行을 産地水協으로 變更할 計劃이며 限定된 財源을 가급적 모든 事業者에게 惠澤이 돌아갈 수 있도록 支援 限度와 事業者 選定對象을 制限하도록 하는 한편, 民間價格安定 事業에 대하여도 價格安定이 時急한 品目에 대하여 신속히 對処해 나갈 計劃이다.

3. 需給 및 價格管理 強化

오징어, 명태, 조기, 김 등 4個 品目を 需給管理 중점 對策品目으로 指定하여 집중 管理하고 內需 供給 安定을 위하여 美國, 蘇聯과의 共同 事業 物量을 적극 確保하도록 하는 한편 外國과의 合作事業을 통한 內需 搬入을 促進토록 할 計劃이다.

盛需期 水産物 盛需品の 價格 安定을 위하여 설날, 추석, 越冬期 期間

中에는 特別 對策을 樹立하여 盛需品の 需給과 物價 安定을 도모해 나갈 計劃이며, 消費者 20個 品目에 대한 品目別 擔當官 指定과 物價實務 對策會議체를 構成, 運營하는 한편, 현재의 不足이 豫想되는 水産物은 制限의인 輸入을 통하여 供給을 擴大함으로써 價格安定과 國民生活에 기여토록 할 計劃이다.

第 3 節 食生活 推進

1. 加工製品 生産 및 支援

水産物은 國民 所得向上에 따라 쇠고기, 돼지고기 등 肉類에 比하여 核酸과 不飽和 脂肪酸이 多量 含有된 健康食品으로 認識되고 있으며, 食生活 패턴 變化로 水産物 消費形態도 從來의 副食用 鮮魚消費에서 即席, 便利, 營養爲主의 加工製品 爲主로 그 需要가 變化되어 가고 있다.

이와같은 趨勢에 따라 優良 加工製品을 消費者에게 大量 供給할 수 있도록 하기 위하여 '90年度에도 加工施設 擴充에 48億원, 煉製品·동조림·冷凍品·調味加工品·海藻加工品 生産業체에 運營資金 95億원을 支援하고 있다.

'90年度에는 製品生産 目標를 900千톤으로 樹立하고 다음과 같은 施策을 積極 推進해 나갈 것이다.

첫째, 加工用 原料의 安定的 供給을 위하여 原料의 鮮度維持 및 系列化를 기하고, 특히 煉製品 原料의 圓滑한 供給 및 品質 高級化를 위하여 船上과 陸上 煉肉의 生産을 擴大해 나갈 것이다.

둘째, 加工品の 品質向上을 위한 自體品質 管理體制를 確立토록 指導

하고 包裝材質 向上 및 單位 包裝制를 誘導하고 海外 技術情報
를 蒐集, 業界에 提供할 것이다.

셋째, 新製品 開發을 위하여 정어리, 고등어 등을 素材로 한 醱酵液
製品, 調理冷凍食品加工 및 即席, 嗜好食品 開發 研究를 계속
實施할 것이다.

2. 消費促進

水産物의 消費擴大를 위하여 TV, 라디오, 新聞, 雜誌 등 各種 言論媒
체를 最大限 活用하여 정어리, 고등어, 김, 굴, 미역, 오징어 등 多獲性
水産物을 비롯한 모든 水産物은 成人病 豫防은 물론 無公害 健康食品임
을 集中 弘報하는 同時에 民間團體 및 業界로 하여금 自律的으로 有料
弘報를 擴大토록 誘導하고 있다.

또한 새로운 料理法 開發普及을 위하여 서울을 비롯한 地方 主要 消
費都市에서 料理講習, 展示, 試食會를 開催하고 料理冊과 리후렛 및 판
프렛을 製作하여 關聯機關, 團體 및 消費者들에게 配布할 計劃이다.

第 4 節 水産物 檢査

1990年度 水産物檢査 目標量을 30萬톤으로 정하고 이의 目標量 達成
과 輸出對邦國에서의 我國 水産物에 對한 信賴性 提高를 爲하여 品質向
上에 力點을 두고 檢査指標을 “信賴받는 檢査業務 確行”으로 하였으며
이에 對한 細部方針으로는

첫째, “檢査判定の 標準化”로서 輸出檢査品目중 大量的이거나 品質判

定에 있어 検査員間 客觀性이 결여되기 쉬운 品目에 對하여 検査標準品 査定會를 年中 4회로 區分 開催하여 検査標準品을 設定, 検査判定의 同一性을 維持함으로써 對外的으로 公信力을 높이는 한편 生産, 加工業界를 參與시켜 優秀製品 生産을 誘導해 나갈 것이며,

둘째, “検査員의 資質向上”으로서 食品의 一般性分 및 細菌, 重金屬 등 有害性分에 對한 分析教育을 自体 또는 專門機關에 委託 實施하였으며, 冷凍品 및 통조림품과 같은 高次加工品을 위주로 検査員을 優秀한 加工業체에 派遣시켜 直接 實技訓練을 實施하고 全検査員이 國家技術資格(水産製造技士 1, 2級)을 取得할 수 있도록 勉學의 雰圍氣를 造成하는 등 検査員의 資質을 向上시켜 業界를 啓導해 나가겠으며,

셋째, “検査의 科學化”로서 分析検査의 持續的인 活性化와 裝備補強, 先進國의 検査制度 및 技法을 研究, 檢討하는 등 検査의 科學化에 重點을 두어 날로 強化되고 있는 輸出對邦國의 食品의 安全性 規制에 對해 나가겠으며

넷째, “製品生産의 指導 強化”로서 單純加工品이거나 製造, 加工施設 및 技術이 比較的 落後된 業체 또는 不合格品 発生業체를 위주로 処理加工 技術 및 包裝 등에 對한 製品生産指導를 實施함으로써 品質의 向上을 기하고 國內外 市場情報를 入手, 業界에 提供하여 輸出業務에 도움이 되도록 하겠으며 또한 加工業체의 衛生管理 指導에도 注力할 것이다.

그 밖에 主要 業務로서 外貨獲得用 原料 輸入推薦 및 事後管理는 高價品目으로서 市中에 不法流出된 素地가 있거나 生産漁民과 直結되는 등 問題點이 예상되는 品目에 대하여는 事前 推薦品目으로 指定하여 原料 輸入에서부터 製品輸出에 이르기까지 特別 管理함으로써 健全한 輸出入 秩序를 確立해 나가는 데 가일층 분발할 것이다.

第 5 節 輸出入 對策

1. 輸 出

'90年度 水産物 輸出目標 1,720百萬\$를 達成하기 위하여 主要 輸出品 目에 대한 輸出節次 簡素化 및 適正輸出 指導價格 維持 등 輸出制度 改善, 補充을 통해 輸出隘路要因을 持續적으로 打開하여 나가는 한편, 輸出支援資金의 供給擴大를 통한 原料收買의 圓滑化, 北方 및 東歐市場의 積極 開發 및 海外 動向 把握과 民間 輸出促進團 派遣活動 支援을 통한 輸出市場의 開發을 推進하고, 高次 加工品 開發 및 輸出品目的 多樣化와 品質向上을 통한 高附加價値 輸出品目的 開發指導에 力點을 두고 推進할 計劃이다. 또한 輸出品의 對外弘報와 主 輸出對邦國과의 協商을 통한 輸入關稅引下 및 直·間接 輸入規制 등 交易障壁이 除去 또는 緩和 되도록 對処해 나갈 計劃이다.

2. 輸 入

우리나라의 經濟的 地位向上으로 인하여 先進國과 同等한 役割分擔 要求가 增大되었고, '89. 10 GATT/BOP 援用 中斷 決定에 따라 '97年 까지 段階的으로 水産物 輸入開放의 擴大가 不可避하여 美國, EC 등 主要 交易 相對國과의 通商摩擦이 高潮되고 있으며, 특히 水産物은 輸入 開放率이 낮아 主要 開放 對象으로 指摘되고 있는 바, 今後 輸入 開放 擴大는 沿近海 漁業의 構造的 脆弱性을 最大限 勘案, 生産漁民에 影響

이 적은 品目부터 生産者 團體와 緊密히 協議하여 段階的으로 開放코자 하며, 먼저 第1段階('89~'91)로 95個 品目を '89. 4. 8 既豫示했으며, 第2段階('92~'94)는 '91. 3月까지 豫示, 그리고 第3段階('95~'97)는 '94. 3月까지 豫示하도록 되어 있다. 이에 따라 第2段階 水産物 輸入 自由化 豫示 및 補完對策 樹立을 보다 效率的으로 推進하기 위하여 水産物 輸入自由化 豫示 및 補完對策 審議委員會 및 實務作業班을 構成하여 輸入自由化 豫示品目 選定 및 補完對策을 樹立中에 있으며, '91年 2月까지는 이를 確定하고 3月에는 豫示함과 아울러 GATT 理事會에도 通報할 計劃이다. 특히 補完對策에 대해서는 '90.4.7 公布된 農漁村發展 特別措置法에 의하여 政府의 보다 效率性 있는 直·間接 支援對策이 마련 될 計劃이다.

第 7 章 水産研究強化와 技術開發普及

第 1 節 水産研究 및 技術開發

1. 增養殖 技術

가. 種苗生産試驗

水産種苗의 大量生産을 通한 沿岸資源 增強과 地域特性的의 養殖用 種苗生産 技術開發 및 安定的 供給을 위하여 魚類 5種(넙치, 참돔, 감성돔, 조피볼락, 송어), 軟体類 3種(진복, 소라, 진주조개), 甲殼類 3種(보리새우, 대하, 꽃게), 其他 3種(보라성게, 북쪽말뚝성게, 김 패각사상체), 넙치와 참돔受精卵 等 總 16品種 37,400千尾를 量産할 計劃이며, 탁자볼락 等 9種에 對한 種苗生産 技術開發試驗을 實施할 計劃이다.

나. 魚類養殖 技術開發試驗

넙치의 遺傳育種을 위한 研究로서 染色體工學 및 性轉換 技法에 의한 100% 넙치 암컷의 生産, 遺傳學的 性轉換 試圖 및 雜種形成과 選擇 交配를 通한 넙치의 優良品種開發을 위한 基礎試驗을 實施할 것이며,

海産魚類의 陸上飼育 技術開發을 위하여 循環濾過 養殖技術 開發試驗과 陸上水槽 飼育技術의 安定 및 養殖對象 品種의 多樣化 趨勢에 能動的 對處를 위하여 鱖의 成長段階別 適正 飼育技術의 確立은 물론 자주복 陸上水槽飼育 基礎試驗을 遂行한 計劃이다.

그리고, 魚類養殖場 環境調査와 참돔, 자주복, 조피볼락 飼育試驗도 實施한 計劃이다.

한편, 海産魚 配合飼料 開發試驗으로 조피볼락 飼料의 適正蛋白質含量 究明과 畜産 및 水産 加工 副産物을 利用한 鱖 配合飼料의 開發試驗도 實施한 計劃이다.

다. 貝藻類 育種學의 研究

참굴 3倍體 生産技術 確立으로 浮游幼生の 発達段階別 成長度 및 生存率을 調査하고 室内 附着試驗과 附着稚貝의 野外 移殖으로 참굴의 正常稚貝와 3倍體 稚貝의 成長度 및 生存率의 比較試驗을 실시하고 있다.

전복 3倍體 生産을 실시하여 孵化率, 正常 発生率 및 3倍體 誘導率의 調査에 着手하였다.

다시마의 品種 改良을 위한 優良品種의 純糶分離 및 交雜 育種의 기초 研究와 自生 다시마의 生態學的 特性 및 遺傳 형질을 把握하기 위한 기초 調査로서 地域別 分布調査 및 自生 다시마 形質 特性 調査 등을 실시하고 있다.

라. 有用 貝藻類 増産試驗

陸上의 垂直 空間을 多面積으로 利用할 수 있는 多段式 전복 陸上 飼育施設 開發로 高所得 養殖技術을 普及하기 위해 多段式 飼育 水槽設計 및 水槽形態別 成長度 및 生存率 調査에 착수하였으며, 가리비 養殖을

위한 천연종고 생산 및 養殖技術開發을 위해 環境調査, 幼生調査 및 採苗試驗을 실시하고 있다.

양식미역의 病害 發生 原因을 확실히 구명하기 위해 원인 生物인 harpacticoida의 種類別 出現量, 越冬, 生態調査 및 種類別 室內 培養試驗을 實施하고 있으며, 김의 부착생물 驅除試驗 및 김 品質改良試驗을 계속 실시하고 있다.

또 養殖 開發 試驗으로 技術開發에 의한 增産方案을 講究하고 있다.

마. 淺海 有用生物 養殖技術 開發試驗

貝藻類 이외의 淺海有用生物 養殖技術 開發을 위하여 털게의 생식, 생태구명 및 털게사육, 養殖에 관한 基礎 調査를 계속 實施하고, 성게 종류를 분류하여 沿岸漁場 資源조성 및 生産을 增大하기 위해 성게 분류 효과 試驗 및 棲息 生物相 調査에 착수하였다.

바. 海産魚病 研究

海産魚病에 대한 疾病對策 技術開發의 일환으로 螢光抗体法을 利用한 방어의 類結節症 迅速診斷 技術과 血液學的, 血清化學的 檢査를 통한 疝치疾病 早期診斷 技術 開發을 遂行할 것이며, 陸上 疝치 養殖場에서 年中 被害가 많은 潰瘍症의 正確한 原因究明과 豫防 및 治療對策에 對한 研究를 遂行함과 아울러 難治性 傳染病인 바이러스 疾病 研究를 위해 魚類 株化細胞培養 研究도 着手할 것이다.

사. 淡水魚 試驗研究

잉어類의 2種의 淡水魚類의 優良種苗 生産 普及을 實施한 것이며, 연어의 資源造成과 回歸率 向上을 위하여 연어稚魚 放流와 잉어, 틸라피

아, 메기 등에 對한 遺傳育種試驗, 養殖技術開發 및 魚病研究 등을 實施할 計劃이다.

그리고, '89 ~ '90년까지 調査한 全國市·道別 內水面 一般現況, 水質, 養殖業 實態 및 開發可能性 등에 對한 實態를 綜合하여 內水面 潛在力 調査 報告書를 發刊할 計劃이다.

2. 漁業技術

漁船漁業의 持續的 發展을 위하여 '90年度에는 新漁法 研究와 漁業의 機械化 및 漁具資材 開發에 重點을 두고 研究할 計劃이다.

즉, 尖端漁法 研究를 위하여 音響, 火光, 氣泡를 利用한 魚群制御 技術을 開發함과 동시에 資源의 合理的 利用을 위한 選擇的 漁法 研究의 일환으로 봉장어 통발에 대한 漁獲 選擇성과 未成熟魚의 適正 脫出口 크기를 究明할 計劃이다.

또한, 2·3次 産業의 發達로 날로 深化되고 있는 人力難을 解決하고, 高齡화된 人力의 勞動力을 節減하기 위하여 우리나라 沿近海 刺網漁船 實情에 알맞은 油壓式 揚網機를 開發함과 동시에 '89年度에 開發한 끝납시용 揚繩機의 實用化 試驗을 實施하여 業界에 普及할 計劃이다.

한편, 西海의 古群山群島 및 원산도 沿岸에서 생산하고 있는 꽃새우 對象 漁具漁法을 他 資源 및 海底面環境에 影響을 적게주는 漁具漁法으로 改善하기 위한 試驗도 실시한 計劃이다.

3. 水産物 利用 加工技術

가. 加工技術 開發試驗

多獲性 魚種인 정어리 및 고등어를 利用한 製品加工 技術開發을 비롯하여 主要 水産物의 아미노산 및 海藻類의 食餌性 纖維素 含量 調査試驗을 實施中에 있다.

정어리 製品 加工技術 開發에 있어서는 '87 ~ '88년에 速成醱酵 液化物의 加工條件究明과 量産化 試驗을 實施하였고, '89년에는 여기에서 얻어진 醱酵液化物을 使用한 粉末製品을 試圖하였으며, '90년에는 粉末에 따른 問題點 解決과, 便利性和 保全性을 附與할 수 있는 顆粒狀 製品加工試驗을 實施中에 있다.

한편, 기히 開發한 정어리 改良煉肉을 使用하여 정어리 버거(burger), 만두 등의 製品開發과 고등어를 利用한 調理冷凍食品의 加工試驗도 實施中에 있다.

또한 水産物의 營養價値와 利用에 따른 科學的 基礎 資料 提供을 爲하여 主要 水産物에 對한 아미노酸 含量調査와 海藻類의 食餌性 纖維素(dietary fiber)의 含量 調査試驗도 實施中에 있다.

나. 魚貝類 衛生에 關한 研究

冷凍 貝類의 對美 輸出에 따른 韓·美 貝類 衛生協定の 履行을 爲하여 輸出用 貝類生産 指定海域 4個所(20,614ha)에 對한 細菌 및 殺蟲劑 汚染調査와 貝類 冷凍加工 工場의 加工用水에 對한 細菌 汚染度 調査를 繼續 實施하고 있다.

또한 水産物의 公衆保健上的 安全性 問題와 關聯하여 貝類 毒素試驗과 魚貝類의 流通에 따른 비브리오 敗血菌의 消長에 關한 研究도 推進

한 것이며, 정어리의 速成醱酵과 關聯하여 醱酵에 關與하는 微生物의 形質改善을 爲한 研究도 '89년에 이어 繼續 實施中에 있다.

第 2 節 漁場環境 및 資源調查

1. 漁場環境 調查

陸地로부터의 産業廢水 및 都市下水, 廢棄物, 油類 등 各種 汚染物質에 의한 水質汚染과 公有水面 埋立·干拓에 따른 沿岸漁場의 環境變化를 把握하기 위하여, 全國 主要 沿岸 臨海工團 周邊海域에 대한 環境汚染 調查를 強化하고, 水産資源 保全地域의 效率의 管理를 위한 水質 및 資源動態 調查, 그리고 赤潮監視, 赤潮發生 機構研究, 有毒性 플랑크톤의 分布 및 生態研究, 貧酸素 水塊의 形成機構 및 變動에 관한 研究를 重點 推進한 計劃이다.

가. 沿岸漁場 및 水産資源 保全地域 環境調查

全國 主要 沿岸海域 및 水産資源 保全地域의 255個 調査點에 대하여 一般 水質汚染度 調查를 年 4回 實施하고 海水, 水産物 및 底質에 대한 重金屬 汚染 調查를 光陽灣의 10個 調査點에 대하여는 年 2回 實施하여 環境保全을 위한 基礎資料로 活用할 計劃이다.

나. 赤潮調查

赤潮 被害를 事前豫防하고 그 對策을 講究코자 鎮海灣을 비롯한 慶南 沿岸과 麗水沿岸, 木浦沿岸, 仁川沿岸의 38個 調査點에 대하여 年 9回

監視調査를 實施하고, 赤潮發生機構 및 有毒性 플랑크톤의 分布 및 生態調査를 年 6回 實施하여 今後 赤潮發生防止 및 國民 健康被害를 事前 豫防하기 위한 科學的 基礎資料로 活用할 計劃이다.

다. 貧酸素 水塊調査

南海岸 一部 半閉鎖性 內灣에서 形成되어 各種 棲息生物에 致命的인 被害를 입히고 있는 貧酸素 水塊의 形成機構와 그 變動狀況을 精密把握 하고 水産物의 被害를 極小化하기 위하여 貧酸素 水塊의 常習 發生海域인 鎮海灣에 대하여 年 16回 以上 溶存酸素의 變動狀況 追跡 및 化學的 特性調査를 實施하여 水産物의 持續的 最大 生産을 위한 基礎資料로 活用할 計劃이다.

2. 漁業資源調査

가. 沿近海 漁業

沿近海漁業資源을 合理的으로 利用하고 管理하기 위하여 沿近海 主要 漁業(13個漁業)의 對象資源에 대한 漁獲量 變動調査, 生物學的 調査 및 魚卵, 稚魚 調査를 實施하여 資源의 動態 및 生態에 관한 研究를 하고 있으며, 迅速·正確한 資源動態 把握을 위해 科學魚探에 의한 직접조사도 실시하고 있다.

한편, 고래자원의 評價 및 管理를 위하여 고래자원 目視調査를 실시하고 있으며 魚群의 移動狀況과 漁況의 展望을 分析하여 週間 및 月間 漁況豫測을 실시하고 있다.

나. 遠洋漁業

遠洋漁場에서의 我國의 權益을 保護하고 持續적이고 效率적인 漁業資源의 利用 및 管理를 爲하여 遠洋主要漁業(트롤 등 7個 漁業) 및 魚種(황다랭이 등 10個種)에 對한 資源變動 및 生物特性調査, 漁業資源概觀作成 및 資源管理 基礎研究를 實施함으로써 魚種別 資源變動把握 및 資源狀態를 評價하고 아울러 電氣泳動法에 依한 主要 魚種의 系統群 調査를 實施하고 있다. 이들로부터 分析된 結果는 韓·美 漁業資源專門家會議 및 大西양 다랭이 保存委員會 등 16個 國際漁業會議과 遠洋漁業 政策資料 및 操業能率 向上 資料로서 提供될 것이다. 또한 北太平洋 公海 漁場을 安定的으로 確保하기 爲하여 試驗調査船 부산 851號에 約 50日 동안 韓·美 研究陣이 合同 乘船하여 北太平洋 漁業生物의 分布 移動과 海洋環境과의 關係를 究明하고, 現地漁船의 操業動態를 把握하여 漁業情報資料를 漁船에 提供함으로써 漁獲增産에 寄與함과 아울러 연어 및 海洋哺乳動物의 混獲狀態 및 環境과의 關係를 밝혀서 公海上의 國際的 紛爭에 對処할 基礎資料를 確保할 計劃이다.

第3節 研究機能強化

1. 水産研究團地 建設과 機能補強

가. 水産研究團地 建設

慶南 梁山郡 機張邑 侍郎里에 '90년까지 完工計劃으로 推進중인 水産研究團地造成事業은 '86 ~ '89까지 11,387百萬원의 豫算을 投入하여 水産振興院 本館 및 研究棟(3,389坪), 漁具漁法研究棟, 厚生棟 및 機械室

(996坪)을 完工하였으며, 水産技術訓練所 本館 및 生活館(1,184坪), 汚
 廢水處理施設(300톤/日), 水産振興院 管理舍(98坪) 一部工事, 區內道路
 · 造景 一部工事 및 其他 附帶施設(海水取水施設, 海岸警戒울타리 및
 電話架設 等)을 完成하였다.

'90年度는 水産研究團地 造成工事의 完工을 目標로 倉庫棟(213坪),
 回流水槽棟(51坪), 區內郵遞局(22坪), 水産振興院 管理舍 및 區內道路·
 造景工事 完成 等の 工事를 '90. 3. 2 着工 '90. 9. 21 竣工豫定으로 推進
 中에 있으며, 同 施設이 完工되는 '90. 9월 以後에는 명실공히 水産研究
 團地로서의 機能을 發揮, 우리나라 水産業發展의 中樞의인 役割을 遂行
 할 것이다

나. 機構 및 機能補強

漁村指導機能 強化를 위해 指導課 및 漁村指導所를 擴大하고, 水産業
 의 與件變化에 따른 水産政策開發에 效率의으로 對処하기 위해 水産工
 學 및 經濟分野 研究機能을 強化하고자 國立水産振興院 機構를 現在 2
 部, 10課(科), 2 研究室, 12 研究所, 20 指導所, 10 培養場에서 2部, 11課
 (科), 3研究室, 12 研究所, 39 指導所, 10 培養場으로 大幅 擴大하고, 院
 長職級을 2級에서 1級으로 上向 調整하는 한편, 機構擴大에 따른 漁村
 指導要員 82名, 水産工學研究室 및 經濟研究室 運營要員 22名과 韓·美
 流刺網漁業 協定에 따른 遠洋漁船 指導團東要員 17名 等 121名을 增員
 할 計劃으로 國立水産振興院 職制改正을 推進하고 있다.

2. 研究員 資質向上과 試驗研究 裝備補強

가. 研究員 資質向上

2,000年代를 向한 尖端 水産技術開發을 위하여 遺傳育種, 海洋遠隔探査 等은 內實化하고 研究員의 國內·外 研修, 專門家交流, 海外研究所와의 情報交流를 繼續 擴大해 나갈 計劃으로 '90년에는 日本, 프랑스, 美國 等に 20名의 研修生을 派遣하고, 佛蘭西, 日本 等に 專門家 6名을 派遣 및 招請하는 한편 國內研修도 繼續 擴大해 나갈 計劃이다.

또한 第22次 韓·日 農林水産技術協力委員會 合意事項 및 韓·佛姊妹 結緣事業을 通하여 日本에서는 海産魚類養殖 및 바이러스 疾病, 연어人工孵化放流, 放射能 測定 및 水産資源 再生産 技術研修를, 佛蘭西에서는 養殖品種의 遺傳學 및 科學 魚探에 대한 研修를 實施할 計劃이다.

나. 試驗研究 裝備補強

沿岸漁場의 海洋環境 및 漁業資源調査 등 水産試驗研究事業의 效率的인 推進을 위하여 國立水産振興院에서 保有하고 있는 試驗船 20隻중 老朽船 2隻과 用途 不適合船 3隻을 代替할 計劃으로, 最新調査裝備를 搭載한 中型試驗船(300톤級) 1隻을 建造中에 있으며, 餘他 試驗船도 年次別로 代替해 나갈 計劃이다.

그리고 試驗研究裝備를 每年 歲出豫算에 反映하여 試驗研究事業에 必要한 裝備를 購入, 補強해 나갈 計劃이다.

3. 水産研究財團 基金造成 및 運用

'90年度 基本財産 566,000千원에 對한 利子收益 67,860千원과 '89年度

移越金 696千원을 財源으로 하여 '90年度 研究財團事業 豫算을 68,556千원으로 確定, 이를 試驗研究事業에 26,510千원, 水産技術指導普及 事業에 11,398千원, 職員 子女學資金으로 16,000千원을 支援할 計劃이며, 其他 經常運營費로 10,648千원을 執行하고 剩餘金 4,000千원을 資本積立金으로 하여 '91年度 基本財産을 570,000千원으로 늘릴 計劃이다.

'90年度 研究財團事業의 細部計劃으로는 電算專門人力 活用に 의한 各種 水産, 海洋統計資料와 圖書目錄을 電算化하고 國立水産振興院 職員資質向上을 爲한 語學教育 및 專門家 招請, 活用 等の 水産試驗研究事業과 指導員 資質向上을 爲한 海外研修, 漁村指導所 水産關係 專門圖書購入 및 指導에 關한 심포지움 開催 등 水産技術指導 普及事業을 推進할 計劃이며 國立水産振興院 職員의 子女에 對한 學資金으로도 支援할 計劃이다.

第 4 節 産學協同

'90. 3. 22 中央水産産學協同審議會 定期會議을 開催하여 任期 滿了된 6個分野 13名の 兼職研究官을 任用하였고 (兼職研究官 總16名), 中央審議會 專門委員(3個 分野 3名)과 各道 審議會 委嘱職委員(6個道 7名)을 委嘱하였다.

또한 各道審議會에 接受된 13個 補助研究課題중 "海洋底棲性 汚染指標生物을 利用한 11川沿岸 海域의 環境汚染評價"外 2個課題를 選定하여 研究를 進行하고 있으며, '90年 水産系 專門大學生 現場實習 産業체로 4個所를 指定하여 專門大學生 17名을 現場實習한 수 있도록 하였다.

〈表 112〉

産學協同 補助研究課題

單位：千圓

課 題 名	所要豫算	研究責任者
3 個 課 題	20,000	
海洋底棲性 汚染指標生物을 利用한 仁川沿岸 産域의 環境汚染評價	7,000	仁 荷 大 홍재상
貝桁網 漁具漁法の 開發에 關한 研究	7,000	群山水專 조봉근
漁民後繼者 育成과 漁村指導事業 振興에 關한 研究	6,000	釜山水大 공용식

資料：國立水産振興院

第 5 節 技術指導普及

1. 技術指導 및 弘報

國立水産振興院에서는 20個 漁村指導所와 19個 市·郡駐在 漁村指導 公務員 250名이 全國의 全 漁村契를 巡廻하며 全 養殖品種에 대하여 漁業循期에 副應한 適期技術指導를 通하여 安定的 生産을 圖謀함은 물론 이에 병행하여 漁場의 生産性を 回復하고 保全하기 위하여 密殖防止 등 漁業秩序 確立과 適正 漁場管理에 力點을 두고 漁民指導에 臨한 것이다.

가. 增養殖漁業指導

海産類 8種, 貝類 15種, 魚類 8種, 其他 水産動物 6種 등 37種을 대상으로 海況과 作況을 週期的으로 觀測·調査하여 養殖施設時期과 方法을

指導하고 潮間觀測, 幼生調査를 실시하여 採苗適期の 豫報로 種苗의 安定的 확보에서부터 本 養成管理와 適期出荷 等に 重點管理指導하여 所得増大 및 安定生産에 기여하겠으며, 최근 急増하고 있는 高所得 品種인 魚類養殖에 대한 指導는 種苗生産技術指導에서부터 適正量의 稚魚確保에 의한 馴致方法, 먹이 投餌要領과 高水溫期 疾病發生의 初期診斷과 治療對策 등 漁場管理에 중점을 두어 生存率을 높이는 등 現地巡廻指導強化와 養殖漁民 教育을 통하여 安定生産指導에 臨할 것이다.

나. 漁業秩序 確立

主要養殖品種別 漁業秩序 確立을 위하여 適正施設을 위한 漁場整理를 漁民 스스로 할 수 있도록 施設時期前에 漁民集体教育 등 意識改革과 不法 및 不實管理 養殖漁業權에 관하여는 漁場豫察을 통해 적발, 市·郡에 通報하는 등 有關機關과 協助를 강화하여 漁業秩序 確立에 중점을 두고 指導할 계획이다.

다. 示範漁場 運營

地域적으로 養殖이 가능하지만 아직 普遍化 되지 않는 品種에 대하여는 새로운 漁村所得事業으로의 擴大普及과 定着化를 위하여 전복垂下式, 굴養殖, 참모자반養殖 등 35個所의 示範漁場을 運營할 計劃이다.

라. 第1種 共同漁場 및 其他

沿岸 第1種 共同漁場에서의 生産増大를 위해 資源造成事業을 적극적으로 誘導하고 赤潮 등 災害의 豫防과 被害의 最小化를 위하여 赤潮發生 憂慮地域 54個所에 豫察班을 配置하고, 아울러 颱風, 暴風 등에 의한 被害의 豫防을 위하여 전국적으로 35個 督勵班을 編成·運營할 계획

이다.

마. 技術弘報

漁村指導事業의 효율적 수행을 위하여 時宜的으로 要望되는 事業品種에 대하여 비디오製作과 水産技術誌 3種을 發刊하는 등 漁民의 要望에 副應하고 水産情報의 迅速한 傳達을 위하여 海·漁況豫報와 養殖豫報를 발간하는 등 新聞, 雜誌와 라디오, TV 등을 통한 弘報活動을 더욱 강화할 계획이다.

2. 漁民教育 및 漁民後繼者 指導

營漁技術向上 및 資源保護 등 漁民意識 啓導를 통한 健全漁村育成을 목표로 全國 20個 漁村指導所에서 水協과 合同으로 漁民 5萬여명에게 水産施策과 集体教育을 실시함과 동시에 굴, 피조개, 김, 미역, 우렁챙이, 魚類 등 主要養殖 品種에 대하여는 地域別 漁業循期에 맞추어 採苗, 種苗培養, 漁場管理 등에 관하여 3萬7千여명을 대상으로 現地巡廻 技術教育을 推進할 계획이다.

이를 위하여 全國의 漁村指導所長을 대상으로 教官教育을 실시하고, 지역별 主要品種에 대한 漁民懇談會, 漁民相談 등을 병행할 계획이다.

한편 科學營漁 實踐을 통한 福祉 漁村建設旗手 養成으로 技術波及의 據點確保 및 漁村指導者 育成을 위해 總 4,417명의 漁民後繼者를 每月 1~2 회 이상 現地事業場을 巡廻訪問하여 現場中心의 指導를 실시함으로써 事業推進能力을 提高시키고, 漁村 指導所 主管으로 有關機關과 協助下에 後繼者指導 評價會議을 開催하여 事業推進上의 問題點 討議, 優

秀事例 発表 등을 통한 相互 漁業情報交換을 실시토록 할 계획이다.

이밖에도 全國 137個 地域別 自生組織 協議會를 대상으로 分期別 懇談會를 開催하여 營漁事例発表, 技術誌 및 刊行物 配付, 先進地 見學, 親善體育大會 支援 등으로 漁民後繼者 自生活動을 指導할 계획이다.

3. 漁村指導機能 強化

漁村指導機能을 強化하기 위하여 國立水産振興院 指導課의 擴大改編을 推進하고 沿岸 市·郡에 現在의 20個 漁村指導所를 39個所로 大幅増設하며, 指導人力(技能職 20名 포함) 増員 등을 통하여 密度있는 漁村現場 指導體制를 早期構築하는 등의 漁村指導分野 職制改正을 關係機關과 協議, 推進中이다.

그리고 魚類, 전복, 內水面養殖 分野에 대한 새 技術 및 專門知識習得을 위하여 漁村指導公務員 20名에게 國立水産振興院 傘下 水産種苗培養場, 內水面研究所 등에서 種苗生産 時期別로 1個月間의 現場教育을 실시하고, 海外先進水産技術習得과 情報交換을 위하여 漁村指導公務員 7名에게 日本研修를 推進하는 등 對漁民 技術指導의 專門性을 더욱 強化해 나갈 것이다.

한편 漁村指導所 地域內에서 德望과 營漁經驗이 豊富한 漁村指導者를 発掘하여 漁村指導事業에 自進參與토록 하기 위하여 自願漁村指導者 200名을 委嘱, 運營함으로써 이들의 漁場을 開放하여 體驗事例 傳播 등을 통한 보다 效率的인 漁村指導事業을 推進해 나갈 계획이다.

또한 高興漁村指導所 増築을 비롯하여 車輛 5臺 및 顯微鏡등 漁村指導裝備 11種 40點을 追加確保하는 등 漁村指導基盤을 점차적으로 強化해 나갈 것이다.

第6節 水産技術 訓練

1. 公務員 職務教育

水産關係 公務員의 業務遂行 能力을 提高하고 先進技術의 擴大普及을 爲해 基本教育 7回 390名, 專門教育 10回 470名의 教育을 實施할 計劃이다.

基本教育課程에 있어서는 補修教育을 持續的으로 實施하고 少數職列의 統合教育으로 教育死角地帶을 解消하며 特히 漁村指導職 公務員을 대상으로 한 漁村指導實務者班을 新設하여 漁村指導의 專門技術 水準을 向上시켜 水産物의 安定的 生産 및 豊요로운 漁村建設에 寄與하고자 한다. 한편 專門教育課程은 水産資源保護와 育成을 爲한 資源保護管理者班, 內水面魚類分野의 開發需要에 따른 內水面魚類養殖班, 漁家經營指導을 爲한 水産經營班을 設定·運營하여 漁業發展에 副應하고자 하며 特히 農林水産部 所屬 漁家經濟調査員을 對象으로 漁家經濟調査班을 新設하여 水産業에 대한 基本的인 事項을 教育시킴으로써 水産業 및 水産經濟에 대한 理解提高로 보다 正確한 統計資料의 生産을 誘導하고, 水産行政의 事務自動化에 對備한 電算實務者班의 新設은 水産行政의 能率向上에 이바지하게 될 것이다. 또한 政策開發班에서는 “多獲性 水産物 消費 擴大方案”을 主題로 세미나를 開催하여 多獲性 水産物에 대한 利用化方案, 食糧化 弘報方案, 品質改善 및 輸出增大方案을 摸索코자 한다.

2. 漁民教育

漁民教育은 漁民後繼者, 漁民, 漁船員教育課程으로 區分하며 이들 중 漁民後繼者 教育課程은 '90 漁民後繼者를 對象으로 漁船漁業과 水産養殖分野로 區分, 專門教育을 實施하여 漁村定着基盤을 造成하고 '81~'89 漁民後繼者중 教育希望者을 選定하여 海面魚類, 貝類, 內水面魚類養殖分野에 經營教育을 實施할 計劃이다. 特히 經營教育에 있어 高所得品種에 대한 現地養殖場에서의 合宿教育을 實施하며, 또한 養殖綜合班을 新設하여 模範養殖場을 巡廻하면서 實用技術을 習得하고 事業經營의 比較分析 및 見聞을 넓혀 養殖技術에 대한 經驗의 情報活用으로 事業經營에 效率을 기할 수 있도록 할 것이다.

漁民教育課程은 漁村契 幹部를 대상으로 不法漁業 根絶에 대한 重要性을 널리 認識시켜 全漁民의 不法漁業 根絶에 대한 共感帶을 造成할 수 있는 要員을 養成할 計劃이며 漁船員教育課程에서는 100톤以上 漁船의 海洋汚染防止管理人 400名에 대한 海洋汚染防止管理班 教育和 沿近海 및 遠洋漁船 新規船員에 對한 素養教育을 實施할 計劃이다.

第 8 章 漁村開發과 漁民支援 強化

第 1 節 漁村綜合開發

政府는 지난해에 이어 '90年度에도 國庫 3,150百萬元(70%)과 地方費 1,350百萬元(30%)을 總 4,500百萬元을 投入하여 開發 潛在力과 協業事業 遂行能力은 있으나 自体開發 能力이 없어서 開發이 이루어지지 않고 있는 低所得 漁村 15個所를 選定하여 個所當 300百萬元을 支援함으로써 漁村構造改善과 漁村 定住圈 基盤을 造成할 計劃이다.

支援事業은 漁村當 2~6個의 漁民希望事業을 選定하여 道知事(市長·

<表 113>

漁村 綜合開發事業 計劃

區 分	計	京畿	江原	忠南	全北	全南	慶北	慶南	濟州
個 所	15	1	2	2	1	3	2	3	1
事 業 費	4,500	300	600	600	300	900	600	900	300
- 國 庫	3,150	210	420	420	210	630	420	630	210
- 地方費	1,350	90	180	180	90	270	180	270	90

資料：水産廳 協同組合課

郡守) 責任下에 推進토록 하고 있으며, 細部事業은 防波堤, 物揚場, 船着場, 所得源道路, 人工魚礁 等の 生産基盤施設事業과 陸上養殖場, 種苗培養場, 共同作業場 等の 所得増大事業, 漁民會館, 上水道, 街路燈, 沐浴場 等の 漁民福祉事業으로 區分하여 施行할 計劃이다.

第 2 節 漁民福祉會館 建立

'90年度에는 漁船員 및 漁民의 厚生福祉 增進을 爲하여 全國 5個 一線水協의 中心漁港에 現代的 施設을 갖춘 漁民福祉會館 建立을 爲하여 1,350百萬원의 事業費(補助金)를 確保하여 市·道知事로 하여금 委任執行토록 하였다.

<表 114> 漁民福祉會館 建立計劃

區 分	'89	'90	'90 / '89(%)
事業量(個所)	1	5	500.0
事業費(百萬원)	412	1,350	327.6
事業主体	水協中央會	市·道知事	-

資料 : 水産廳 協同組合課

第 3 節 漁民後繼者 育成

政府는 '90年度에도 農漁村發展基金 15億원을 투입하여 漁村에 定着하여 漁業에 従事할 意慾과 事業推進能力이 있는 35歲 以下の 漁村에 살고

있는 靑少年과 水産系 大學 및 專門大學의 卒業者 또는 卒業豫定者중에서 學校長이 推薦하는 者 150名을 選定, 1人當 10百萬元씩의 長期低利 資金을 支援하여 漁船購入, 漁船建造, 漁船 改補修, 養殖施設物 設置, 稚魚·稚貝購入資金으로 使用, 漁業을 經營하면서 漁村에 定着하고 福祉漁村 建設의 旗手로 活用토록 한 計劃이다.

또한 對象者 150名 全員에 대하여 漁船漁業과 水産養殖에 관한 專門 技術教育을 實施하고 '89 以前 後繼者중 教育을 希望하는 280名에 대하여도 補修教育을 實施한 計劃이다.

<表 115>

漁民後繼者 育成 支援 計劃

單位：名百萬元

年度 漁業別	合 計			'81 ~ '89			'90		
	人員	%	金額	人員	%	金額	人員	%	金額
計	4,417	100	34,348	4,297	100	32,848	150	100	1,500
漁 船 漁 業	2,689	60	21,973	2,602	61	21,103	87	58	870
增養殖漁業	1,714	39	12,105	1,652	38	11,485	62	41	620
水産物加工	44	1	270	43	1	260	1	1	10

資料：水産廳 協同組合課

第4節 漁業外 所得源 擴充

政府는 '90年에도 國庫 23百萬元, 財政融資金 30百萬元, 自擔 22百萬元 總 75百萬元을 投入하여 賦存資源을 利用한 수 있고 遊休勞動力이 豊富하며 共同作業場이 없는 漁村契중 共同作業場을 希望하는 漁村契 3

個所를 選定하여 個所當 施設費 25百萬元으로 漁村契 共同作業場을 施設할 計劃이며 事業費중 財政融資金의 償還期間은 3年据置 5年償還이고 金利는 年8%이다.

<表 116> 共同作業場 施設計劃

事業量	單價	事業費			
		計	補助	融資	自擔
3 個所	25百萬元	75 (100%)	23 (30)	30 (40)	22 (30)

資料：水産廳 協同組合課

또한, 政府는 '90년에 처음으로 漁村觀光開發事業을 着手할 計劃이다. 同事業은 農漁村發展基金 355百萬元 (60%), 地方費 178百萬元 (30%), 自擔 59百萬元 (10%) 등 總 592百萬元을 投入하여 漁村에 觀光資源이 賦存

<表 117> 漁村觀光開發事業計劃

單位：百萬元

單位事業名	事業量	單價	事業費			
			計	國庫	地方費	融資
計	9 件		592 (100%)	355 (60)	178 (30)	59 (10)
活魚場(畷引)	5 個所	80	403	242	121	40
休憩所	1 "	40	40	24	12	4
宿泊施設	1 "	45	45	27	14	4
觀光遊覽船	2 隻	52	104	62	31	11

資料：水産廳 協同組合課

되어 있고 協業事業 能力과 自擔能力이 있는 漁村契에 活魚場(梨鱒) 5個所, 休憩所 1個所, 宿泊施設 1個所, 觀光遊覽船 2隻을 施設토록 支援한 計劃이며 融資金의 償還期間은 3年据置 7年 償還이며 金利率은 年8%이다.

第5節 水産資金 供給擴大

1. 營漁資金

營漁資金은 漁民所得을 增大하기 위하여 低利로 支援되는 政策資金으로서 '90年度에는 營漁資金의 支援規模를 大幅 擴大하는 한편 營漁資金 運用制度를 劃期的으로 改善하여 시행키로 하였다.

'90年度 營漁資金 支援規模는 前年度보다 1,200億원이 增額된 6,000億 원으로 沿近海漁業에 5,190億원, 遠洋漁業에 810億원을 供給한 計劃이며 營漁資金 貸出의 公正性 確保를 위해 漁村契別로 漁村契員 相互間의 協議에 의하여 貸出時期, 貸出順位, 貸出限度를 自律的으로 決定토록 하였으며, 零細漁民과 災害漁民을 重點支援하기 위하여 漁業經營規模에 따라 營漁資金 所要額의 100%에서 60%까지 差等支援토록 하는 한편, 風水害로 因하여 被害를 본 漁民에게는 既貸出 限度에 불구하고 漁業經營에 必要한 資金을 追加支援할 수 있도록 하여, 被害漁民의 生産活動을 迅速히 再開할 수 있도록 하였다.

또한 300萬원 이하의 少額 貸出時에는, 從前의 2人 立保를 1人 立保로 하고, 300萬원 이상 貸出時에는 農林水産業者 信用保證貸出을 活用할 수 있도록 漁村契長 및 組合長이 積極 支援토록 함으로써 擔保物件의 不足 및 保證人을 구하지 못해 어려움을 겪고 있는 漁民이 없도록 漁民便益

爲主의 貸出制度를 마련하였다.

〈表 118〉

營漁資金 供給計劃

單位：億圓

		'89	'90	增(△)減
所 要 額		8,146	9,110	964
供 給 額		4,800	6,000	1,200
供 給 率(%)		(59)	(66)	(7)
調 達	財 政 資 金	648	766	118
	韓 銀 借 入 金	2,076	2,617	541
	水 協 自 體 資 金	2,076	2,617	541
運 用	沿 近 海 漁 業	4,210	5,190	980
	遠 洋 漁 業	590	810	220

資料：水產廳 協同組合課

2. 水產振興財政資金

'90년도 水產振興財政資金 85億원은 營漁資金 等 運營資金을 支援받

〈表 119〉

水產振興財政資金 運用計劃

單位：百萬圓

	'89	'90(P)	增(△)減	內 譯
計	8,500	8,500	-	
水產物製造加工	6,500	6,500	-	水產物 製造加工 · 冷凍冷藏加工 3,000 · 湯조림加工 2,700
漁 網 生 產	2,000	2,000	-	· 調味加工 300 · 海藻加工 500

資料：水產廳 協同組合課

지 못하는 水産加工業체 및 漁網生産 業체 등에 支援하여 漁業과 水産 製造業의 均衡發展을 圖謀할 計劃이다.

3. 農漁村發展基金

政府는 農漁村의 發展과 農水産業의 構造改善 事業을 推進하기 爲하 여 農漁村 發展 特別措置法을 制定·公布('90. 4. 7)하고 水産振興基金, 農業機械化促進基金, 農漁村地域開發基金, 農漁民後繼者育成基金 等を 統合하여 農漁村發展基金을 設置하고 水産部門에 288億원을 投資하여 水産業의 構造調整事業과 輸入開放業種에 對한 重點支援으로 水産業을 競爭力있는 産業으로 育成할 計劃이다.

<表 120>

農漁村發展基金運營規模

單位：百萬元

事 業 別	事 業 規 模	
	物 量	金 額
計		28,797
○ 水産業構造調整 (施設性)		18,065 (12,675)
- 經濟性漁船 建造(FRP)	1,200隻	5,120
- 水産物処理加工施設	9個所	4,800
· 冷凍·冷蔵施設 新設	3個所	3,600
· 冷凍·冷蔵施設 改補修	6個所	1,200
- 漁村觀光開發	2隻 7個所	355
· 觀光遊覽船	2隻	62
· 休憩所	2個所	48

事 業 別	事 業 規 模	
	物 量	金 額
· 宿泊施設	2 個所	54
· 活魚場	3 個所	191
- 委販場廢水處理施設	5 個所	900
- 漁民後繼者 支援 (運 轉 性)	150 名	1,500 (5,390)
- 魚肉煉製品 加工	30 名	3,000
- 漁船用機資材生産	9 個社	1,250
· 機資材 生産	5 個社	1,050
· 漁網 生産	4 個社	200
- 輸出水産物運送	30 隻	1,140
○ 輸入開放補完對策費		10,732
- 漁船裝備 및 設備改良	51 隻	5,100
- 漁船機關代替	44,000HP	5,632

資料：水産廳 協同組合課

第 6 節 漁民金融負擔輕減

1. 漁家負債 特別措置

農漁家の 金融負擔을 緩和함으로써 農漁業의 經營費를 節減하고 農漁家の 負債 償還負擔을 輕減코자 '89. 12. 30 "農漁家負債輕減에 關한 特別措置法"이 制定·公布되어 政府에서는 그 惠澤이 迅速히 漁民에게

돌아갈 수 있도록 施行指針을 樹立, 施行하였다. 이번 負債輕減 特別措置 對象이 되는 漁家は 耕地面積 2.0ha未滿에 準하는 漁家로서 零細漁家와 中·小規模漁家로 區分 支援된다. 零細漁家は 漁船이 없거나 無動力船 使用漁家, 10톤未滿 動力船 使用漁家 및 小規模 養殖漁家(垂下·延繩 : 3.0ha, 撒布·投石 : 10.0ha未滿)이며 中·小規模漁家로는 20톤未滿 動力船을 使用하거나 中規模養殖(垂下·延繩 : 6.0ha, 撒布·投石 : 20ha未滿)漁家が 包含된다. 負債輕減 特別措置 對象資金 및 支援內譯을 보면 '89末 現在 漁家が 保有하고 있는 既存 負債로서 水協에서 借入한 當初 貸出期間이 2年以上인 中長期 水産資金은 家口當 400萬원 範圍內에서 利子를 減免(年 8% → 0~3%)하고 償還期間도 5年置置 5年均分 償還도록 延長하고 있다. 또한 水協에서 借入한 相互金融資金에 대하여도 家口當 200萬원 範圍內에서 利子를 減免(年14 → 0~5%)하고 償還期間

〈表 121〉 負債輕減 對象資金 및 '90 利子減免 內譯

單位 : 百萬원

區 分	件 數	輕減對象資金	金利引下	利子輕減額
計	58,013	70,308		7,099
- 零細漁家	55,153	64,987		6,769
- 中·小規模漁家	2,860	5,321		330
中長期資金	35,361	42,562		3,293
- 零細漁家	33,571	38,826	年8% → 0%	3,106
- 中·小規模漁家	1,790	3,736	年8% → 3%	187
相互金融資金	22,652	27,746		3,806
- 零細漁家	21,582	26,161	年14% → 0%	3,663
- 中·小規模漁家	1,070	1,585	年14% → 5%	143

資料 : 水産廳 協同組合課

註 : '90. 5. 25 現在입.

을 3年据置 7年均分 償還토록 措置하고 있다.

이와같은 漁家負債輕減 特別措置에 따라 漁家の 既存負債 70,308百萬 원의 利子減免으로 '90년에 7,099百萬원의 利子負擔이 줄게 되었고 償還 期間 延長 措置 期間中(10年間) 約 480億원의 利子負擔을 덜게 되었다.

2. 各種水産資金 利差補填

가. 營漁資金利差補填

'86.3 農漁村綜合對策의 推進으로 營漁資金 貸出金利를 10%에서 8%로 引下한 바 있으나, 漁業 生産活動에 필수적인 營漁資金에 대한 金利를 '89. 4. 28 農漁村發展綜合對策의 一環으로 沿近海部門에 限하여 8%에서 5%로 追加引下하게 함으로써 '90年度에 總 22,209百萬원의 漁民 負擔 輕減이 豫想된다.

나. 漁家負債輕減利差補填

'87. 3 農漁家負債輕減對策에 따라 計劃造船(近海部門) 및 水産開發(金融部門) 資金 金利引下와 耕地面積 0.5ha未滿에 準하는 零細漁家の 中長期資金을 3%의 低利資金으로 代替하였고, '87.12 農漁村經濟活性化 綜合對策에 依據 '87. 3월에 支援한 私債代替用 特別 相互金融資金의 支援金利를 14%에서 10%로 引下함으로써 '90年度에 總 2,838百萬원의 漁民의 金融負擔을 덜어주고 있다.

다. 水産被害漁民 約定利子補助

'88年度에 發生한 突風, 暴風 및 集中豪雨로 水産施設에 50%以上 被害를 입은 漁家가 被害發生日 現在 貸出받아 使用中인 營漁資金에 대하

여 1~2年間 利子免除 및 償還期間을 延長토록 措置함에 따라 '90年度에 61百萬원의 漁民의 利子 負擔이 줄게 되었다.

〈表 122〉 各種 特別對策別 金利引下 및 '90 利差補填額

單位：百萬元

特別對策別	金利引下	利差補填額	對象期間
計		25,108	
'86. 3 農漁村綜合對策			
- 營漁資金 金利引下	10 → 8%	5,697	'89.1~'89.12
'87. 3 農漁家負債輕減對策			
- 計劃造船(近海)	11.0 → 8%	1,781	'89.1~'89.12
- 水産開發(金融)	12.5 → 8%	842	'89.1~'89.12
- 借款資金(IBRD)	9.9 → 8%	6	'89.1~'89.12
- 零細漁家 中長期資金 低利代替	8~12.5 → 3%	75	'89.1~'89.12
'87.12 農漁村經濟活性化 綜合對策			
- 私債代替 相互金融資金	14 → 10%	134	'89.1~'89.12
'89. 4 農漁村發展綜合對策			
- 營漁資金 金利引下(沿近海)	8 → 5%	16,512	'89.1 ~ '90.6
'88水産被害漁民約定利子補助	8 → 0%	61	1 ~ 2 年間

資料：水産廳 協同組合課

第7節 漁船 및 船員 共濟制度 支援

漁船의 絶對多數를 차지하면서도 共濟加入이 低調한 20톤未滿 小型漁船의 共濟 加入率을 提高하기 위하여 既存의 漁船普通共濟 보다 共濟料가 低廉한 “小型漁船 全損 擔保共濟”를 '90年度에 新設하여 小型漁船의 沈沒, 全破 等 全損事故에 對備한 災害補償制度를 開發할 計劃이다.

이와함께 增加하고 있는 共濟業務를 迅速·正確히 處理하고자 優先 漁船 普通共濟를 電算化하여 共濟證券發給 等 共濟加入者의 便宜 提供과 共濟業務의 簡素化를 期하고자 한다.

또한 船員特殊共濟의 共濟料 割引·割増制度중 過去 3年間의 共濟金 支給實績에 따른 現行 割引率 15~60% 및 割増率 15~195%를 3分の 1 水準으로 下向 調整할 計劃이다. 이와함께 少額診療費를 船主가 負擔하는 少額診療費 船主負擔 割引制度 現行 5~100千원을 船主가 負擔할 때 共濟料의 2~20%를 割引하여 주던 것을 200千원까지로 擴大하여 共濟料의 10%를 割引토록 單一化하여 少額診療費 請求에 따른 漁民의 不便 解消와 水協의 共濟金 支給業務를 改善할 計劃으로 있다. 이와함께 船員共濟 加入者의 共濟料 負擔輕減을 위하여 實施하여 오고 있는 船員共濟料 國庫補助率은 加入率이 低調하고 共濟料 負擔能力이 脆弱한 50톤 未滿 小型 漁船員의 加入率을 提高하기 위해 現行 25~40%를 30~50%로 引上토록 積極 推進하고 있다.

<表 123>

漁船 및 船員共濟 加入計劃

單位：百萬원

區 分		'89	'90	'90/'89(%)
漁 船	加入漁船(隻)	7,239	8,000	110.5
	契 約 高	458,701	480,000	104.6
	共 濟 料	8,583	8,640	100.7
船 員	加入人員(名)	46,629	48,000	102.9
	契 約 高	560,119	630,000	112.5
	共 濟 料	6,932	9,154	132.1
	(國庫補助)	(1,114)	(724)	(65.0)

資料：水協中央會 共濟部

第8節 養殖共済制度 導入

海況異変에 따라 赤潮, 異常水溫, 病害等の 被害가 자주 發生되어 養殖漁家에 被害를 주고 있으나, 風水害對策法에 의하여 復舊費를 支援받지 못하는 養殖漁家の 經營安定을 圖謀하기 위하여 '86~'89에 걸쳐 韓國農村經濟研究院에서 研究한 試驗事業 設計書를 基本으로 하여 圖上演習을 實施함으로써 施行錯誤 없는 完全한 制度導入을 推進하고자 '90년에는 圖上演習 基本設計書의 確定, 共済業務 關係者の 教育訓練, 裝備 및 機資材準備等 圖上演習實施을 위한 事前準備를 徹底히 해나갈 計劃이다.

統計로 본 水産業 動向

1. 國 民 經 濟 主 要 指 標
2. 農 林 漁 業 附 加 價 值
3. 產 業 構 造
4. 總 人 口 中 漁 家 人 口
5. 漁 船 勢 力
6. 水 產 物 生 產
7. 水 產 物 需 給
8. 水 產 物 輸 出
9. 漁 家 所 得
10. 漁 業 粗 收 入 及 經 營 費
11. 漁 家 負 債

여백

1. 國民經濟 主要指標

	國民總生產		1人當 GNP		디플레이터		成長寄與率(85不變%)	
	經常 (10億圓)	經常 (億\$)	經常 (千圓)	經常 (\$)	GNP 85=100	農林漁業 85=100	農 林 漁 業	礦工業
71	3,416.7	95	104	289	12.6	13.0	9.7	29.0
72	4,191.2	107	125	319	14.7	15.4	12.7	38.2
73	5,376.3	135	158	396	16.7	17.3	14.2	37.3
74	7,597.4	188	219	542	21.8	22.7	19.5	37.6
75	10,135.8	209	288	594	27.3	29.6	14.4	40.6
76	13,912.7	287	389	803	33.1	34.8	17.5	37.1
77	17,806.6	368	490	1,012	38.6	41.3	6.4	36.6
78	24,001.6	515	651	1,396	47.4	56.7	△21.4	51.6
79	30,801.8	615	823	1,644	56.7	63.6	16.9	36.5
80	36,749.7	605	968	1,592	70.3	74.1	△11.1	7.4
81	45,528.1	668	1,181	1,734	82.2	84.9	35.3	46.3
82	52,182.3	713	1,334	1,824	88.0	85.0	16.4	24.7
83	61,722.3	795	1,554	2,002	92.4	85.7	9.7	35.3
84	70,083.9	870	1,739	2,158	96.0	94.1	△2.4	54.9
85	78,088.4	897	1,910	2,194	100.0	100.0	7.4	32.6
86	90,598.8	1,028	2,207	2,505	102.8	99.1	4.7	45.3
87	106,024.5	1,289	2,557	3,110	106.4	122.4	△6.5	47.1
88	126,230.5	1,728	3,336	4,968	118.0	123.4	7.5	36.9
89(p)	141,066.3	2,101	3,336	4,968	118.0	123.8	△1.0	18.3

資料：1) 國民計定(BOK)

2) 調査統計月報(BOK)

註：1) 서비스業은 國民計定(BOK)上 都小売 및 飲食宿泊業, 運輸倉庫 및 通信業, 金融 保險 不動産 및 社會서비스業, 社會 및 個人서비스業, (共濟)金融制度서비스, 政府서비스生産者, 民間非營利 서비스生産者, 輸入稅가 包含되고 海外純受取要素 所得은 除外됨 (以下같은)

2. 農林漁業附加價值

'85不變市場價格

	農林漁業	漁		業	
			沿 近 海	養 殖	遠 洋
70	10(應刊) 6,943.2	462.0	357.4	52.9	51.7
72	7,326.8	546.6	425.8	44.6	76.2
73	7,862.1	655.5	492.9	62.8	99.8
74	8,373.7	749.1	543.0	86.2	119.9
75	8,697.1	729.3	503.3	80.3	145.7
76	9,545.6	738.3	478.5	82.1	177.7
77	9,811.3	742.7	463.8	102.6	176.3
78	8,845.5	710.8	472.8	68.0	170.0
79	9,460.2	768.9	531.2	88.6	149.1
80	7,656.8	794.3	578.4	71.6	144.3
81	8,749.8	904.1	636.8	100.9	166.3
82	9,401.2	913.2	642.9	101.9	168.4
83	10,128.5	893.6	608.4	114.8	178.4
84	9,977.2	916.5	593.8	154.8	167.9
85	10,351.8	973.3	596.2	173.0	204.1
86	10,829.6	1,104.9	644.2	222.8	237.9
87	10,097.5	1,090.4	622.4	207.4	260.5
88	10,902.6	1,085.9	603.3	237.2	245.4
89(p)	10,825.3	1,158.8	603.0	260.6	295.2

資料：國民計定(BOK)

註：1) 沿近海：一般 + 內水面漁撈

2) 養殖：淺海養殖 + 內水面養殖 + 水協指導事業서비스

3. 産業構造

	國內總生産	農 林 漁 業			鑛工業	建設 및 電氣 가스 水道事業	서어비 스業	
		農 業	林 業	漁 業				
	85不變%							
70	2,767.9	26.6	23.3	1.7	1.6	22.5	6.5	44.3
72	4,209.6	26.8	23.7	1.4	1.7	23.5	5.6	44.1
73	5,420.3	25.0	21.4	1.5	2.2	26.2	5.8	43.0
74	7,669.4	24.8	22.0	1.4	1.5	27.1	5.5	42.5
75	10,302.2	25.0	22.0	1.3	1.6	27.5	6.0	41.6
76	14,101.0	23.6	21.0	1.2	1.5	28.7	5.9	41.8
77	18,074.1	22.4	19.4	1.2	1.8	28.9	7.0	41.7
78	24,327.1	20.6	18.0	1.1	1.6	29.4	9.0	41.0
79	31,323.1	19.2	16.6	0.9	1.6	29.9	10.2	40.7
80	38,041.1	14.9	12.7	1.0	1.2	31.0	10.4	43.7
81	47,482.8	14.7	12.7	0.8	1.2	30.4	10.0	45.0
82	54,442.8	14.7	12.7	0.8	1.2	30.4	10.0	45.0
83	63,832.8	13.6	11.5	0.9	1.2	31.0	10.6	44.8
84	72,644.3	12.9	11.0	0.9	1.1	31.8	10.7	44.6
85	80,846.9	12.8	10.9	0.7	1.2	31.3	10.5	45.4
86	93,425.8	11.5	9.5	0.6	1.4	32.6	10.2	45.7
87	108,428.3	10.5	8.6	0.6	1.3	33.0	10.4	46.1
88	127,962.7	10.5	8.8	0.5	1.2	33.2	10.7	45.5
89(P)	142,266.8	10.2	8.4	0.5	1.3	31.9	12.1	45.8

資料 : 1) 國民計定(BOK)

註 : 本表의 産業構造率은 國內總生産(GDP)을 基準으로 算出한 것임.

4. 總人口와 漁家人口

	總人口		漁家人口			漁業家口		
	千名	增加率 %	千名	構成比 %	增減率 %	千名	構成比 %	家口當人口 名
65	28,705	2.58	1,277	4.4	5.5	215	4.4	5.94
70	32,241	2.21	1,165	3.6	△ 12.1	195	3.3	5.97
71	32,883	1.99	-	-	-	-	-	-
72	33,505	1.89	1,062	3.2	-	182	-	5.84
73	34,103	1.78	979	2.9	△ 7.8	171	-	5.73
74	34,692	1.73	914	2.6	△ 6.6	160	-	5.71
75	35,281	1.70	894	2.5	△ 2.2	154	2.3	5.81
76	35,849	1.61	880	2.5	△ 1.6	153	-	5.75
77	36,412	1.57	871	2.4	△ 1.0	153	-	5.69
78	36,969	1.53	827	2.2	△ 5.1	152	-	5.44
79	37,534	1.53	791	2.1	△ 4.4	147	-	5.38
80	38,124	1.57	844	2.2	6.7	157	2.0	5.38
81	38,723	1.57	776	2.0	△ 8.1	150	-	5.17
82	39,326	1.56	755	1.9	△ 2.7	146	-	5.17
83	39,929	1.46	739	1.9	△ 2.1	147	-	5.03
84	40,513	1.34	716	1.8	△ 3.1	147	-	4.87
85	40,806	0.93	689	1.7	△ 3.8	145	1.5	4.75
86	41,184	0.93	666	1.6	△ 3.3	144	-	4.63
87	41,575	0.96	635	1.5	△ 4.7	141	-	4.50
88	41,975	0.97	602	1.4	△ 5.2	138	-	4.36
89	42,380	0.96	561	1.3	△ 6.8	134	-	4.19

資料：1) 韓國統計月報(EPB), 2) 農林水產統計年報(MAFF)

註：總人口는 年央人口(7.1基準), 其他는 年末基準人口를 말함.

5. 漁船勢力

	計			動力船			無動力船	
	隻數	噸數	隻當平均噸數	隻數	噸數	馬力	隻數	噸數
	千隻	千G/T	G/T			千HP		
65	51.1	203	3.98	7.6	120	261	43.5	84
70	68.4	358	5.24	14.1	268	676	54.3	90
71	68.3	393	5.75	14.7	307	816	53.6	85
72	67.7	452	6.68	14.7	367	968	52.9	85
73	68.6	511	7.45	16.5	432	1,134	52.1	79
74	68.0	602	8.85	18.0	526	1,418	50.0	76
75	67.7	648	9.57	19.7	581	1,587	48.0	67
76	65.8	662	10.06	22.7	605	1,676	43.1	57
77	66.5	683	10.26	29.8	636	1,866	36.7	46
78	70.3	756	10.75	34.0	713	2,187	36.3	43
79	74.6	753	10.10	47.1	721	2,334	27.5	32
80	77.6	771	9.94	51.1	740	2,462	26.5	30
81	80.5	782	9.71	59.7	757	2,585	20.8	24
82	86.5	808	9.33	67.1	785	2,797	19.4	23
83	88.5	828	9.35	69.3	806	2,973	19.3	22
84	90.4	852	9.42	71.6	830	3,213	18.8	22
85	90.9	858	9.43	71.8	836	3,353	19.1	22
86	93.0	884	9.50	73.9	862	3,607	19.1	22
87	94.2	912	9.69	74.8	890	4,027	19.3	22
88	99.0	948	9.57	78.4	925	4,701	20.6	23
89	98.5	963	9.77	78.3	941	5,037	20.2	22

資料：農林水産統計年報(MAFF)

6. 水産物生産

	計	沿岸	近海	遠洋	養殖	内水面
	千 M/T					
65	637	365	189	9	74	-
70	935	455	271	90	119	-
71	1,074	474	293	159	147	1
72	1,344	616	343	224	160	1
73	1,686	712	352	361	260	1
74	2,026	883	384	418	340	1
75	2,135	819	390	566	351	9
76	2,407	839	418	724	411	15
77	2,421	812	496	596	491	26
78	2,354	838	526	566	391	33
79	2,422	879	535	486	481	41
80	2,410	803	569	458	541	39
81	2,812	879	650	542	701	40
82	2,644	822	653	528	596	45
83	2,793	773	714	615	644	47
84	2,910	804	720	658	678	50
85	3,103	838	657	767	788	53
86	3,660	891	835	930	947	57
87	3,332	850	676	883	866	57
88	3,209	757	755	774	887	36
89	3,319	765	745	930	848	31
90(P)	3,450	840	755	820	970	65

資料：農林水産統計年報(MAFF)

7. 水産物 需給

	供給			計	消費			1人當消費
	生産	輸入	在庫		國內消費	輸出	移越	
				千M/T				kg
72	1,344	-	-	1,344	1,090	254	-	21.3
73	1,686	-	-	1,686	1,326	360	-	28.7
74	2,026	-	-	2,026	1,641	385	-	27.8
75	2,135	-	-	2,135	1,562	573	-	29.9
76	2,407	-	-	2,407	1,644	763	-	29.8
77	2,421	15	-	2,436	1,655	771	-	29.5
78	2,354	54	-	2,408	1,711	697	-	25.9
79	2,422	55	-	2,477	1,689	788	-	25.9
80	2,410	41	68	2,519	1,746	696	77	27.0
81	2,812	48	77	2,937	2,096	731	110	33.2
82	2,644	61	110	2,815	2,007	721	87	31.6
83	2,793	66	87	2,946	2,147	699	100	38.1
84	2,910	84	100	3,094	2,245	764	85	37.7
85	3,103	91	85	3,279	2,318	867	94	37.2
86	3,660	127	94	3,881	2,543	1,236	102	41.9
87	3,332	422	102	3,856	2,407	1,272	177	37.1
88	3,209	452	177	3,838	2,336	1,303	199	33.6
89(推定)	3,319	404	199	3,922	2,526	1,120	276	36.0
90(P)	3,450	424	276	4,150	2,785	1,065	300	39.1

資料：農林水産 統計年報(MAFF)

註：1人當消費量は 韓國農村經濟研究院の“食品需給表”資料이며 純食品基準임.

8. 水産物 輸出

	計	活鮮魚	冷凍品	海藻鹽辛品	惣菜等	遠洋魚類	其他水産物	漁網類
	百萬 \$							
65	27	7	2	9	1	2	6	3
70	91	11	6	17	-	38	11	7
71	115	18	8	12	2	55	11	9
72	152	27	13	12	5	68	17	10
73	260	50	32	38	8	80	34	18
74	291	61	35	24	10	90	40	31
75	429	62	58	32	10	183	54	30
76	598	76	81	75	15	262	55	34
77	703	90	109	40	34	313	68	49
78	752	112	120	51	42	295	70	62
79	936	119	123	61	26	457	70	80
80	871	128	103	27	28	352	63	112
81	1,051	153	115	56	38	428	66	119
82	947	151	131	122	51	329	78	85
83	908	145	134	83	55	315	95	81
84	956	155	124	83	61	354	104	78
85	970	155	124	97	55	328	132	79
86	1,384	253	165	108	72	465	219	102
87	1,731	369	234	128	95	571	223	111
88	2,047	476	260	150	137	618	270	136
89	1,821	391	252	167	114	540	226	131
90(P)	1,720	360	150	190	100	560	240	120

資料：農林水産 統計年報(MAFF)

9. 漁家所得

源泉別

	漁家所得	漁業所得		漁業外所得			漁業外所得構成比	
		漁業粗収入	漁業經營費	兼業所得	事業外所得	所得		
	千円						%	
75	847.1	508.3	-	-	338.8	-	-	40.0
80	2,596.0	1,756.2	3,090.1	1,337.9	843.8	392.4	451.4	32.5
81	3,042.4	1,978.5	3,475.2	1,496.7	1,063.9	523.9	540.0	35.0
82	3,278.8	1,959.7	3,513.1	1,553.4	1,319.1	607.2	711.9	40.3
83	4,109.1	2,570.0	5,415.0	2,845.0	1,539.1	771.4	767.7	37.5
84	4,507.9	2,581.8	5,589.1	3,007.3	1,926.1	1,051.0	875.1	42.7
85	4,868.7	2,815.2	6,047.0	3,231.8	2,053.5	1,045.0	1,008.5	42.2
86	5,402.0	3,219.3	7,155.2	3,935.9	2,182.6	1,010.8	1,171.8	40.4
87	6,165.6	3,419.7	7,577.2	4,157.5	2,745.9	1,320.4	1,425.5	44.5
88	6,821.0	3,450.8	7,881.5	4,430.8	3,370.2	1,596.5	1,773.7	49.4
89	8,079.0	4,151.8	8,863.2	4,711.4	3,927.2	1,783.8	2,143.4	48.6

資料：漁家經濟調查結果報告(MIAFF)

○ 漁業形態別

	全 國	漁 船 非 使用家口	無動力船 使用家口	動力 船 使用家口	養 殖 業 家 口
	千円				
75	847.1	-	-	-	-
80	2,596.0	1,980.1	2,119.9	3,352.6	2,794.1
81	3,042.4	2,652.1	2,776.7	3,901.3	2,944.3
82	3,278.8	2,669.5	3,132.3	4,280.3	3,182.5
83	4,109.1	3,018.7	3,320.6	7,395.3	3,642.7
84	4,507.9	3,500.1	3,772.8	7,237.5	4,181.6
85	4,868.7	4,071.7	3,874.6	7,704.4	4,429.7
86	5,402.0	4,529.4	4,132.4	9,240.8	4,643.9
87	6,165.6	5,162.6	4,827.8	9,382.8	5,774.0
88	6,821.0	5,644.8	5,161.0	9,954.8	6,707.5
89	8,079.0	7,231.7	5,953.3	9,478.8	7,557.0

資料：漁家經濟調查結果報告(MIAFF)

10. 漁業粗收入 및 經營費

漁業粗收入

	計	漁業收入			在庫增減	
		漁撈	養殖	水産加工		
	千圓					
77	1,797.4	1,798.3	1,574.3	224.0	-	△ 0.9
80	3,090.1	3,092.4	2,133.1	848.0	111.3	△ 2.3
81	3,475.2	3,471.9	2,449.9	880.9	141.1	3.3
82	3,513.1	3,507.7	2,625.7	802.4	79.6	5.4
83	5,415.1	5,396.3	4,333.0	938.2	125.1	18.8
84	5,589.1	5,586.8	4,196.2	1,226.3	164.3	2.3
85	6,047.0	6,035.2	4,587.7	1,211.2	236.3	11.8
86	7,155.2	7,161.3	5,538.0	1,367.9	255.4	△ 6.0
87	7,577.2	7,568.2	5,888.6	1,535.3	144.3	9.0
88	7,881.6	7,890.1	6,041.7	1,746.9	101.5	△ 8.5
89	8,863.2	8,855.8	5,191.4	3,061.1	603.3	7.4

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

經營費

	計	漁業支出			減價 償却費	在庫生産 資材增減
		漁撈	養殖	水産加工		
	千圓					
77	907.0	855.0	829.6	25.4	-	52.0
80	1,337.9	1,224.8	984.9	221.4	18.5	114.4
81	1,496.7	1,352.7	1,099.8	223.8	29.1	137.5
82	1,553.4	1,401.3	1,137.9	256.1	7.3	156.8
83	2,845.0	2,706.8	2,336.8	349.0	21.0	146.1
84	3,007.3	2,847.2	2,467.4	336.8	43.0	172.2
85	3,231.8	3,030.6	2,591.9	362.2	76.5	197.7
86	3,935.9	3,662.9	3,117.8	473.2	71.9	276.6
87	4,157.5	3,882.1	3,316.2	505.5	60.4	256.1
88	4,430.8	4,124.7	3,415.7	619.6	89.4	303.9
89	4,711.4	4,371.8	2,307.3	1,717.6	346.9	352.8

資料：漁家經濟調查結果報告(MAFF)

11. 漁家負債

○ 用途別

	計	生産性			家計	其他
			漁業	兼業		
	千円					
79	355.8	-	-	-	-	-
80	563.7	362.5	310.9	51.6	177.8	23.4
81	587.6	359.8	308.7	51.1	207.0	20.8
82	1,337.3	888.9	798.5	90.4	401.8	46.6
83	2,040.2	1,406.8	1,263.3	143.5	574.4	59.0
84	2,361.2	1,658.1	1,455.2	202.9	648.1	55.0
85	3,377.7	2,500.5	2,053.6	446.9	803.7	73.5
86	3,548.9	2,544.9	2,150.2	394.7	910.6	93.3
87	4,064.4	2,740.3	2,309.2	431.1	1,169.7	154.4
88	3,818.2	2,683.3	2,219.8	463.5	969.9	165.0
89	5,276.0	4,131.0	3,057.0	1,074.0	868.0	277.0

資料：漁家経済調査結果報告(MAFF)

○ 借入処別

	計	制度金融			私債			
			水協	農畜協	其他	農漁家	其他	
	千円							
83	2,040.2	1,127.7	858.6	193.7	70.4	917.5	527.7	389.8
84	2,361.2	1,249.4	932.5	234.2	82.7	1,111.8	715.1	396.7
85	3,377.7	2,156.5	1,491.1	513.0	152.4	1,221.2	908.4	312.8
86	3,548.9	2,296.5	1,568.9	567.5	160.1	1,252.4	905.9	346.5
87	4,064.4	2,800.3	1,857.9	727.9	214.5	1,264.1	821.8	442.3
88	3,818.2	2,735.9	1,764.9	745.5	225.5	1,082.3	654.4	427.9
89	5,276.0	3,966.0	1,931.0	1,715.0	320.0	1,310.0	834.0	476.0

資料：漁家経済調査結果報告(MAFF)

여백

1990年度 水産業 動向에 관한 年次報告書

1990 年 9 月 일 印刷

1990 年 9 月 일 發行

編輯：水産廳企劃管理官室

發行：大韓民國水産廳

印刷：株式會社 大苑社

☎ 739-3911~4

< 非賣品 >